

まちづくりに関する市民アンケート調査 結果【クロス集計】

■アンケート実施状況

調査期間： 令和5年2月20日～令和5年3月6日（15日間） ※締切遅延分も集計
 対象者： 市内にお住まいの満18歳以上の方々から無作為に3,000人を抽出
 実施方法： 郵送で配布し、回答用紙の返信またはWEB回答で回収
 配布数： 2,000 通
 回答数： 683 通 （郵送：602通、WEB：81通）
 回収率： 34.2 %

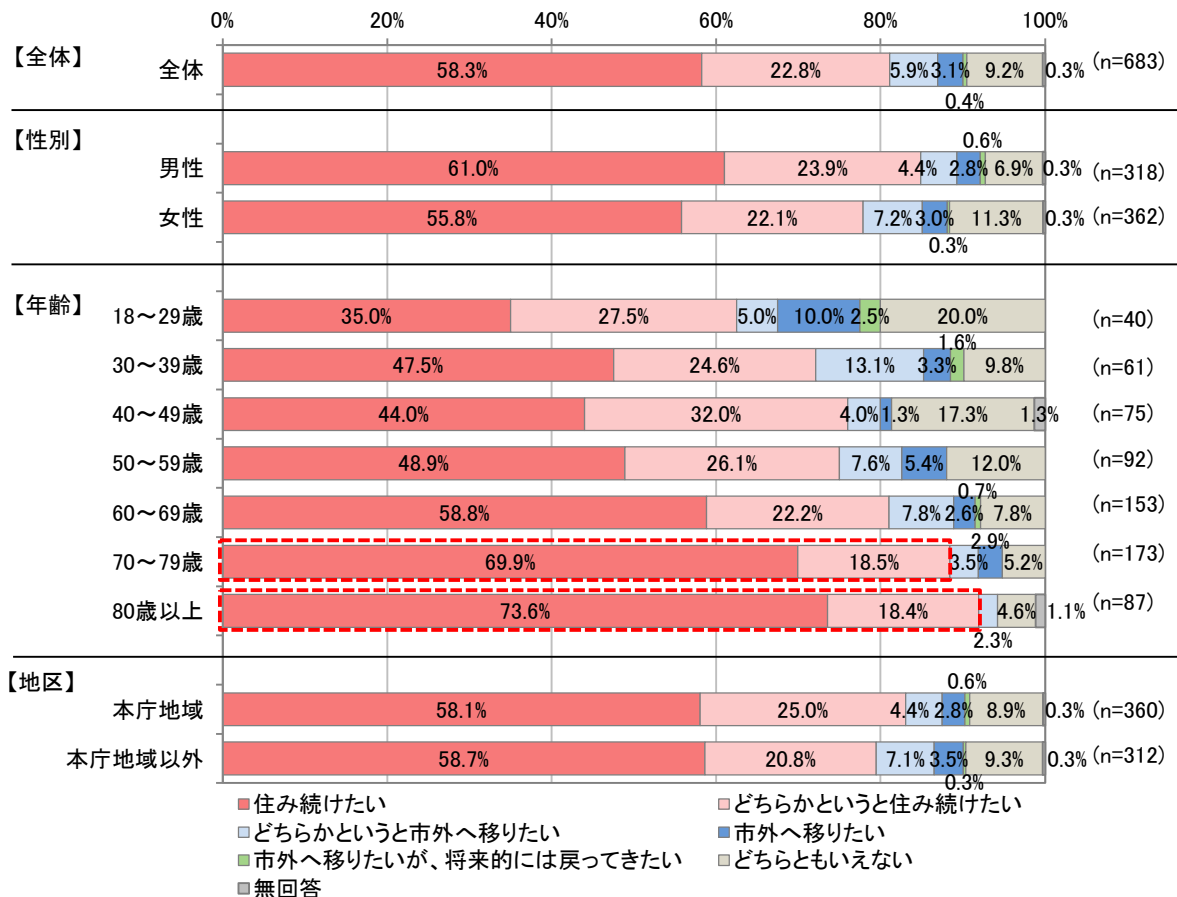
※回答数が少ない場合も参考値として掲載

1. 新発田市への住み心地や愛着について、おたずねします

問1. 今後も新発田市に住み続けたいと思いますか。

今後の居留意向について、年齢別でみると、70代以上は「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせた割合が全体と比べて高い。
男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 住み続けたい	398
2. どちらかというに住み続けたい	156
3. どちらかという和市外へ移りたい	40
4. 市外へ移りたい	21
5. 市外へ移りたいが、将来的には戻ってきたい	3
6. どちらともいえない	63
無回答	2
合計	683

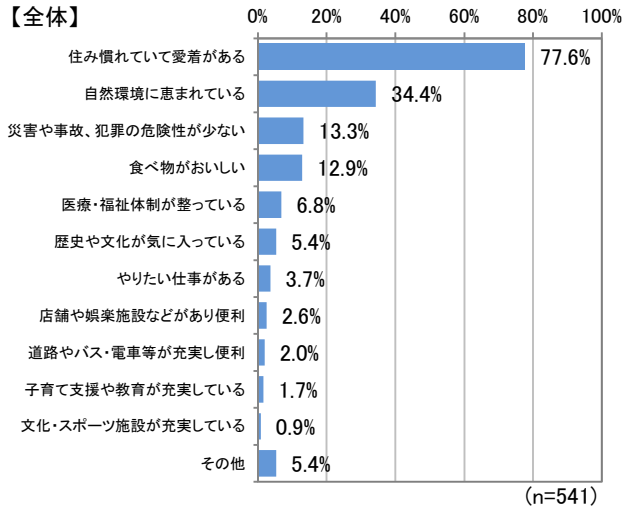


問2. 住み続けたい理由をお答えください。(2つまで選択)

(問1. で「1.住み続けたい」「2.どちらかという住み続けたい」と答えた方)

今後も新発田市に住み続けたい理由について、男女別、年齢別、地区別はいずれも、全体と比べて目立った違いはみられない。

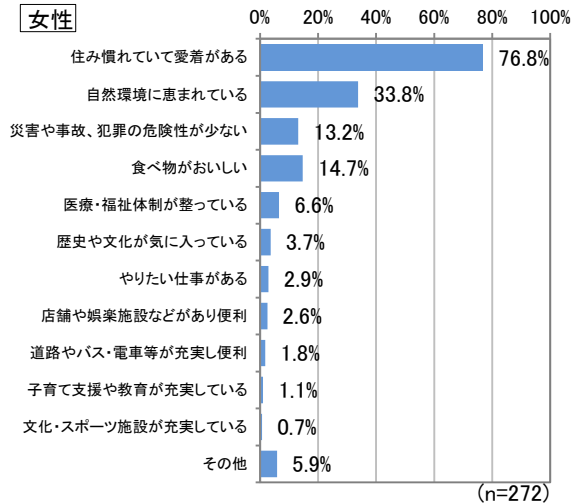
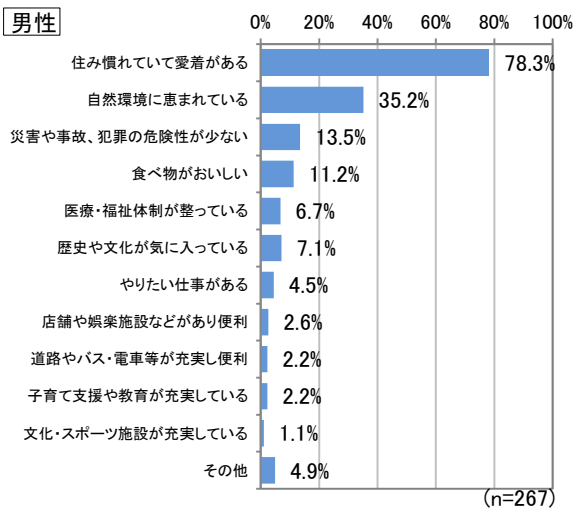
	(件)
1. 住み慣れていて愛着があるから	420
2. 自然環境に恵まれているから	186
3. 災害や事故、犯罪の危険性が少ないから	72
4. 食べ物がおいしいから	70
5. 医療・福祉体制が整っているから	37
6. 歴史や文化が気に入っているから	29
7. やりたい仕事があるから	20
8. 店舗や娯楽施設などがあり便利だから	14
9. 道路やバス・電車等が充実し便利だから	11
10. 子育て支援や教育が充実しているから	9
11. 文化・スポーツ施設が充実しているから	5
12. その他	29
無回答	1
合計	903
無効	13



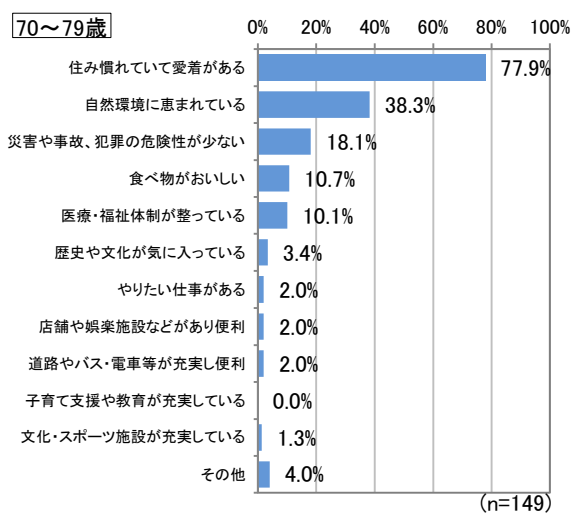
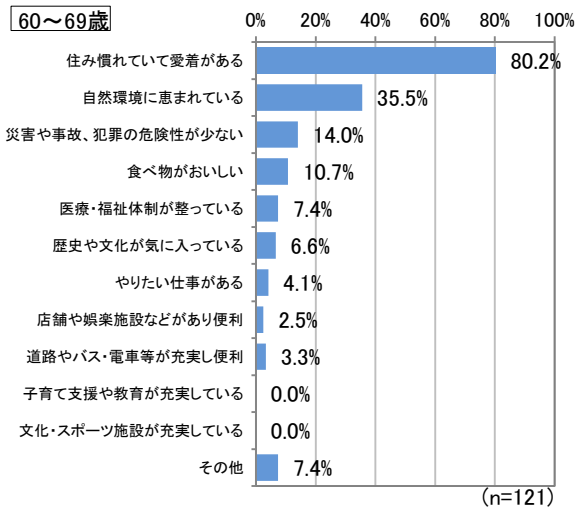
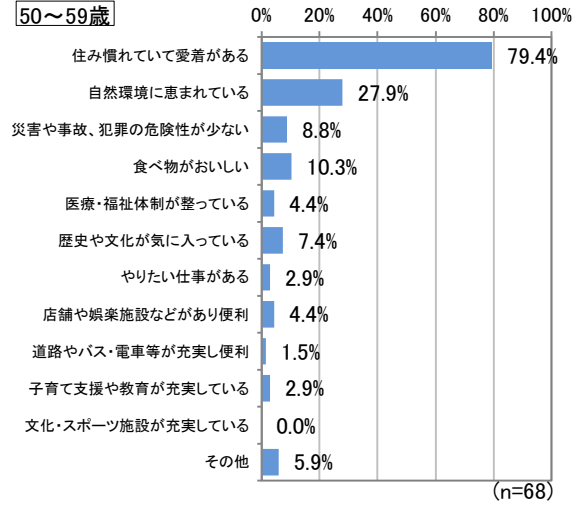
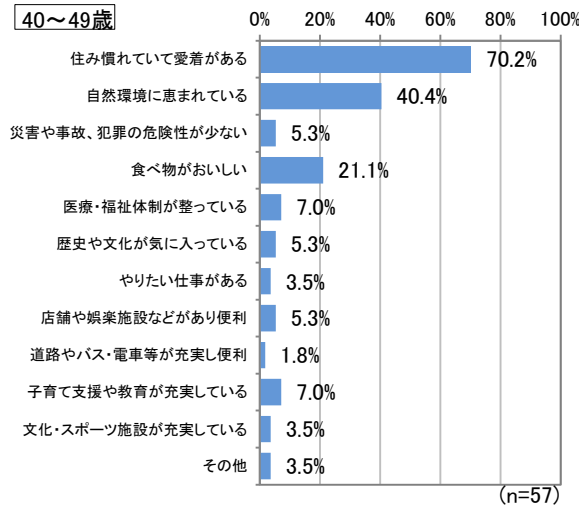
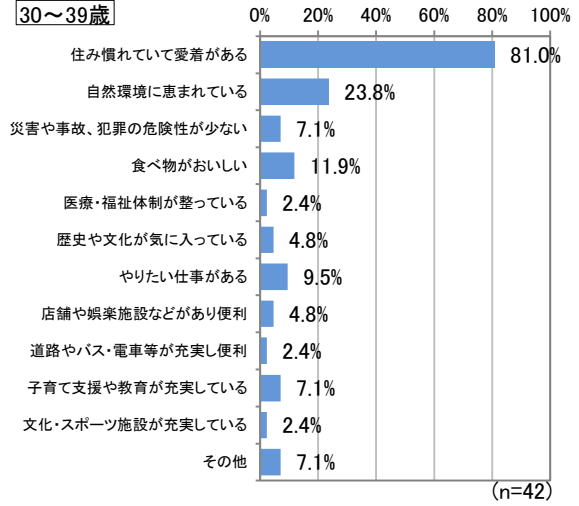
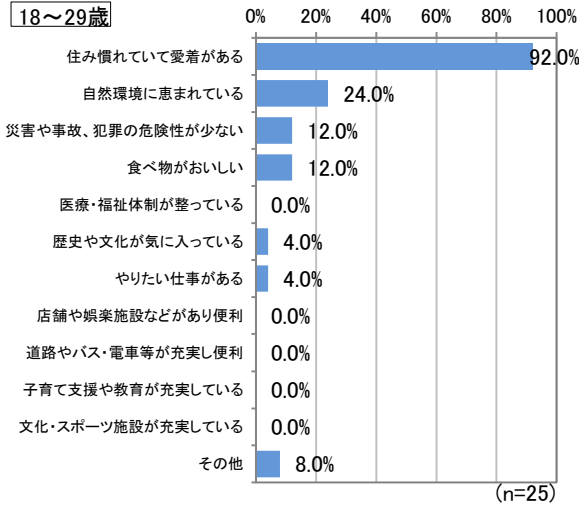
その他

- ・ 家や土地があるから(7)
- ・ 生まれ育った地だから(6)
- ・ 家族がいるから(2)
- ・ 人付き合いが良いから(2)
- ・ 高齢のため(2)
- ・ 経済的な余裕がないから(2) など

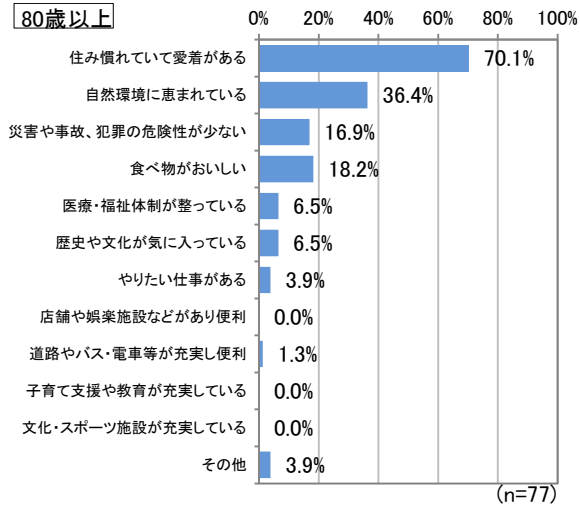
【性別】



【年齢】

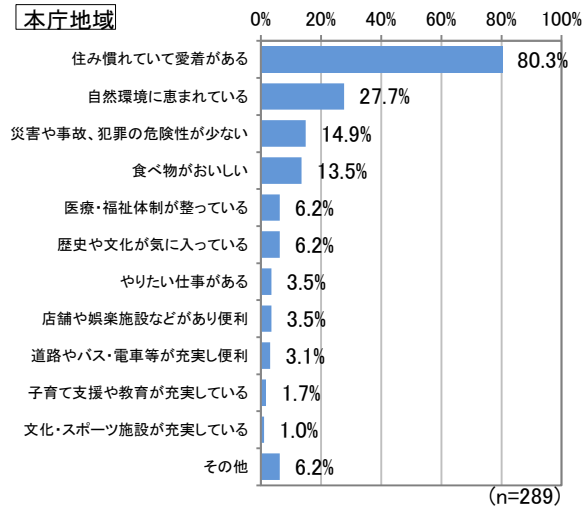


80歳以上

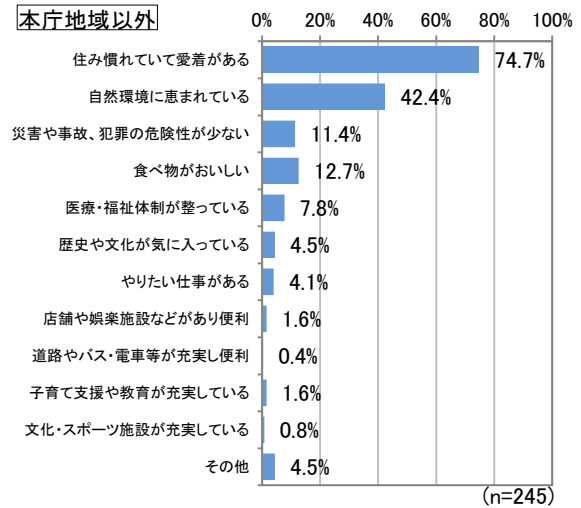


【地区】

本庁地域



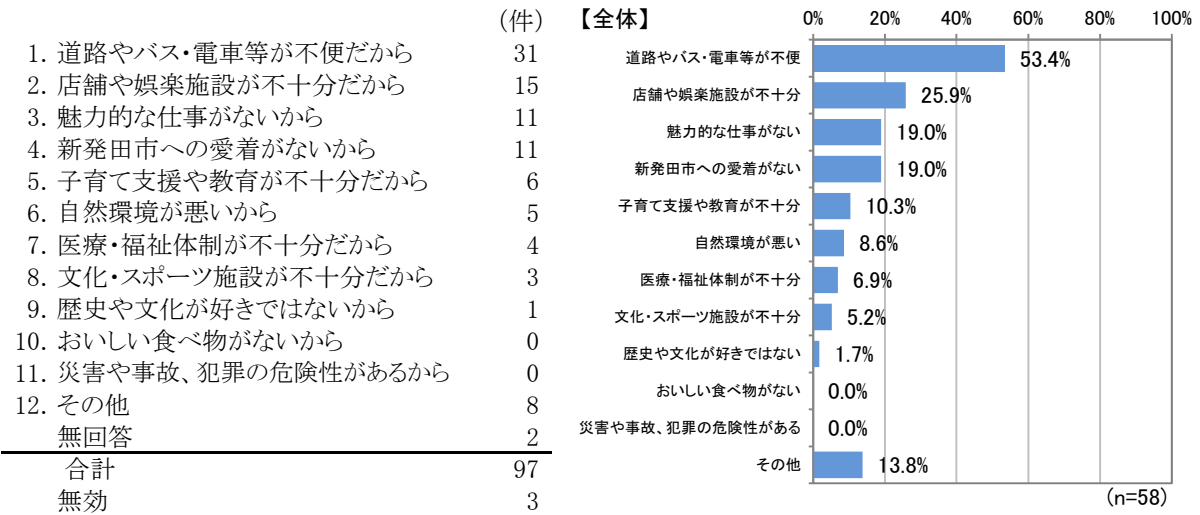
本庁地域以外



問3. 市外へ移りたい理由をお答えください。(2つまで選択)

(問1. で「3.どちらかというとも市外へ移りたい」「4.市外へ移りたい」と答えた方)

市外へ移りたい理由について、男女別でみると、男性は「道路やバス・電車等が不便」に次いで、「新発田市への愛着がない」が約27%、「子育て支援や教育が不十分」が約23%となっている。
 地区別でみると、本庁地域は「道路やバス・電車等が不便」に次いで、「魅力的な仕事がない」が約33%であり、本庁地域以外は「道路やバス・電車等が不便」に次いで、「店舗や娯楽施設が不十分」と「新発田市への愛着がない」がともに約25%となっている。

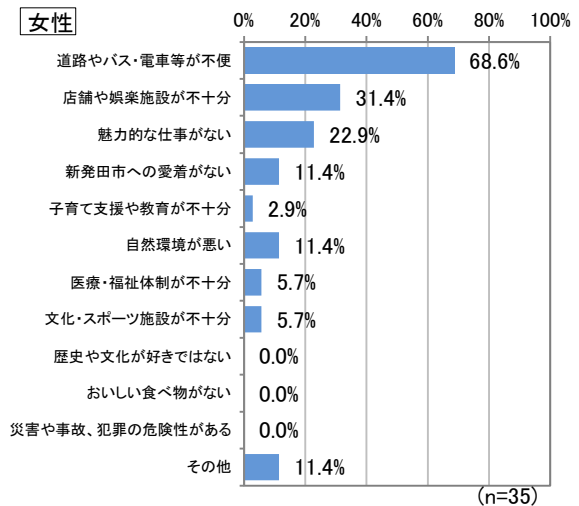
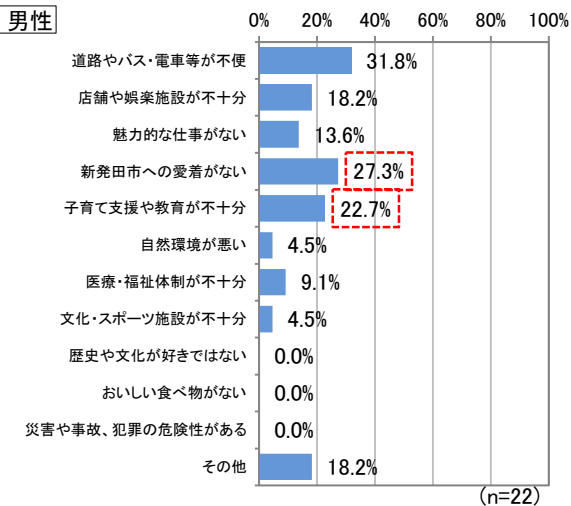


その他

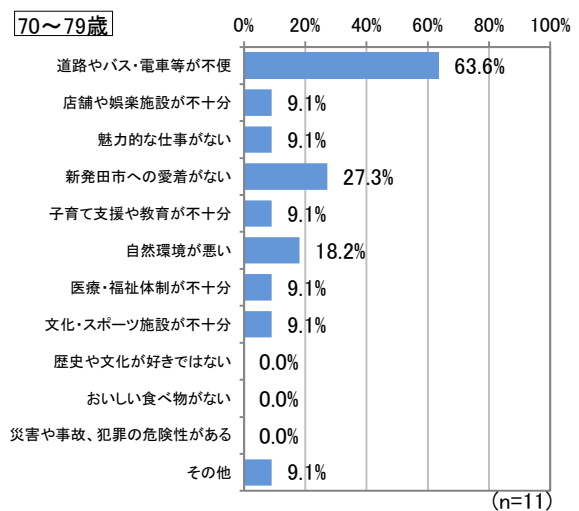
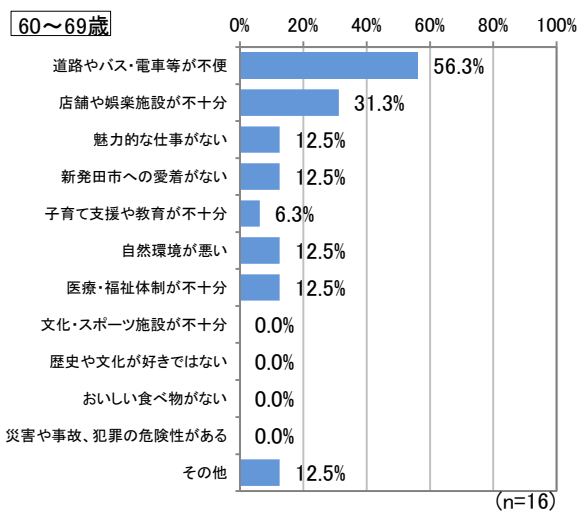
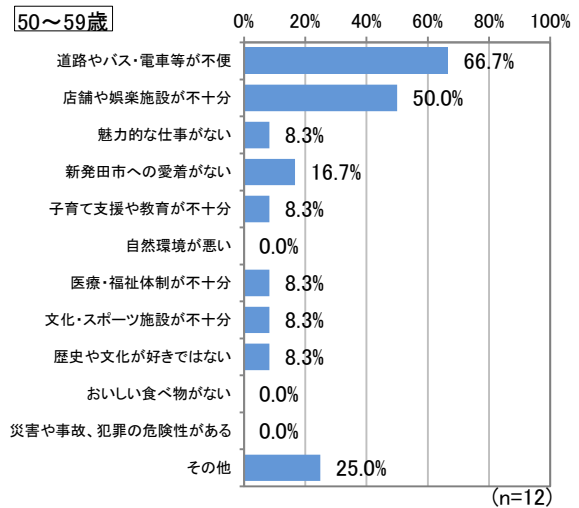
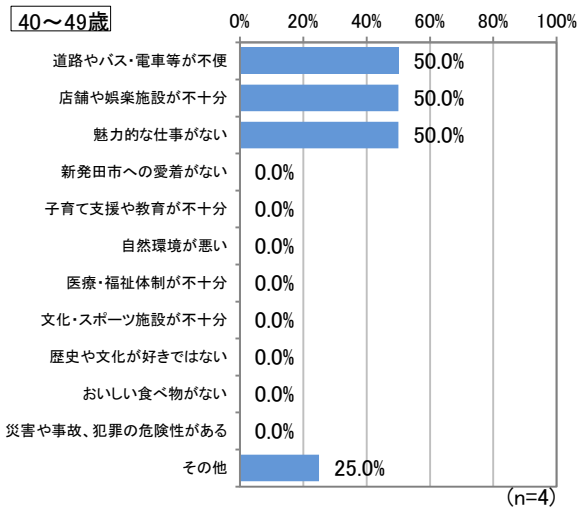
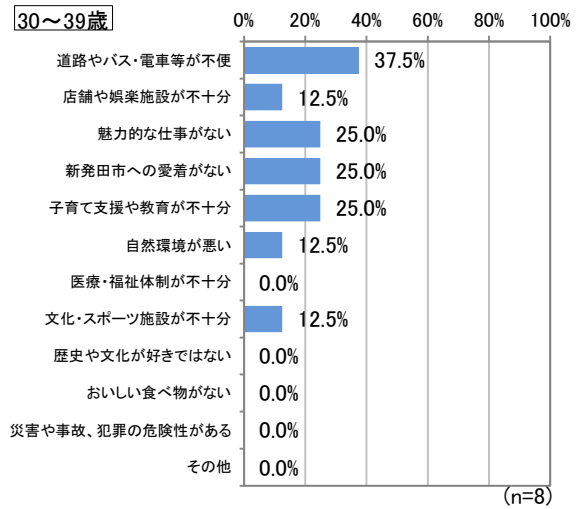
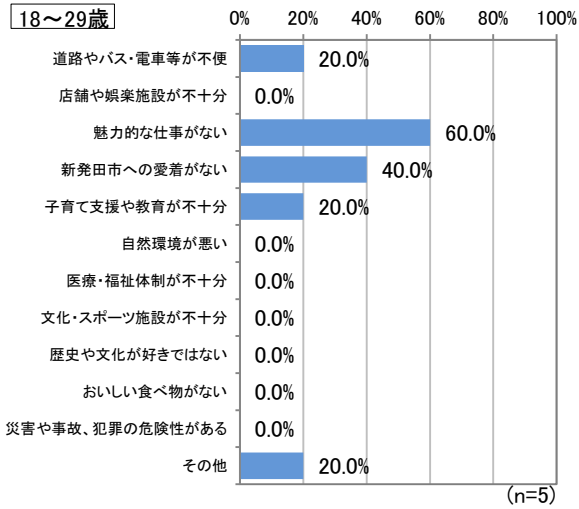
- ・ 除雪の対応が悪い(2)
- ・ 税金、公共交通料金が高い
- ・ 思いやりや交流がない
- ・ 若者に住みやすい環境ではない

など

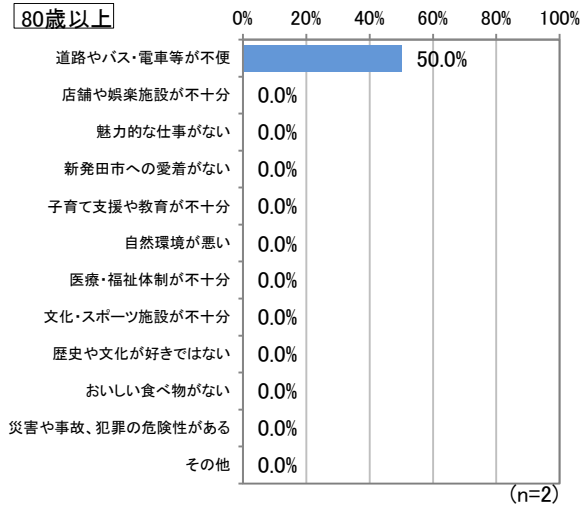
【性別】



【年齢】

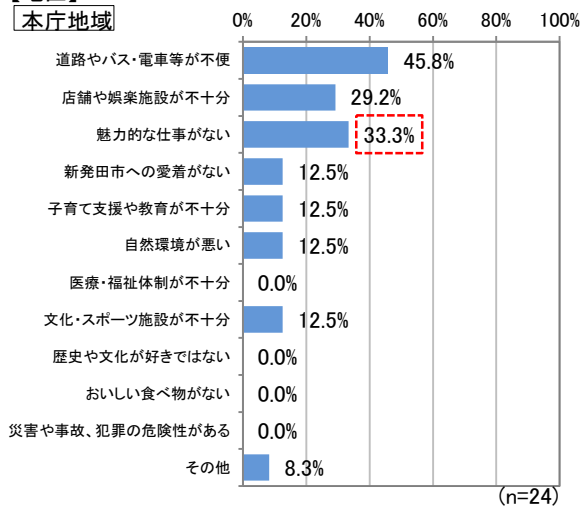


80歳以上

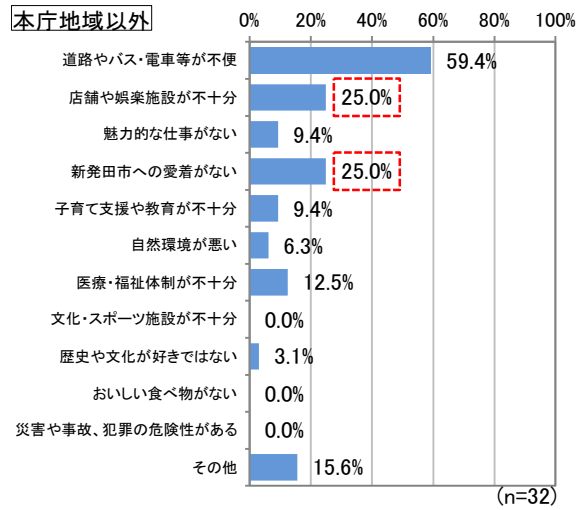


【地区】

本庁地域

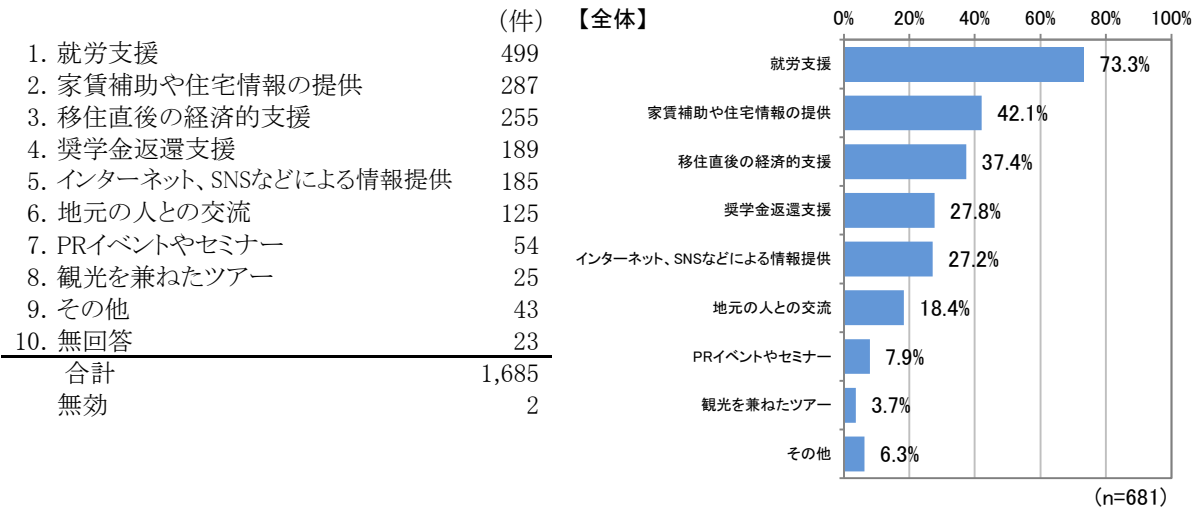


本庁地域以外



問4. 若い方が就職や進学等で地元を離れた場合、将来的に地元に戻るためにはどのような支援策が必要であると思いますか。（3つまで選択）

若い方が将来的に地元に戻るための施策について、男女別でみると、男性は「就労支援」に次いで、「移住直後の経済的支援」が約44%となっている。
 年齢別でみると、40代は「就労支援」に次いで「奨学金返還支援」が約43%。80歳以上は「就労支援」に次いで「移住直後の経済的支援」が約32%、「地元の人との交流」が約31%となっている。
 地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

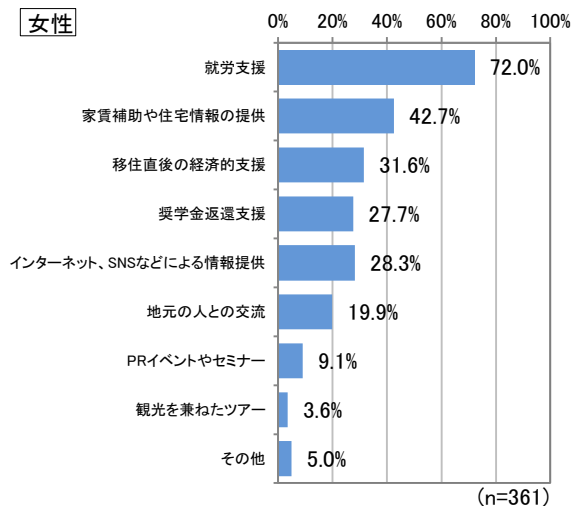
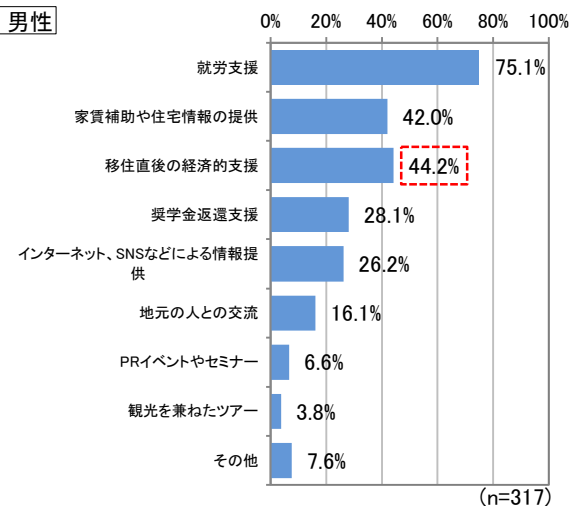


その他

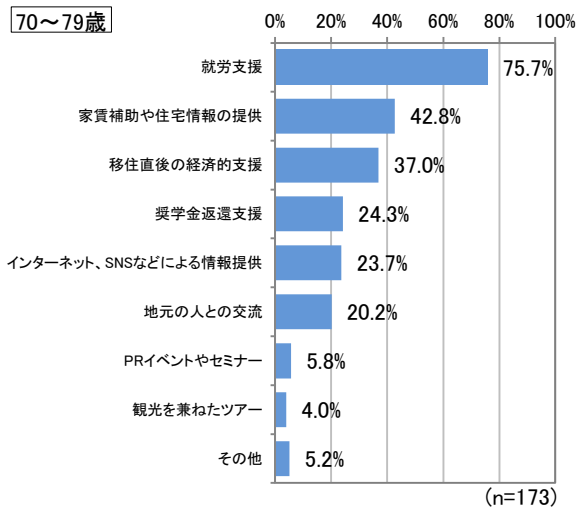
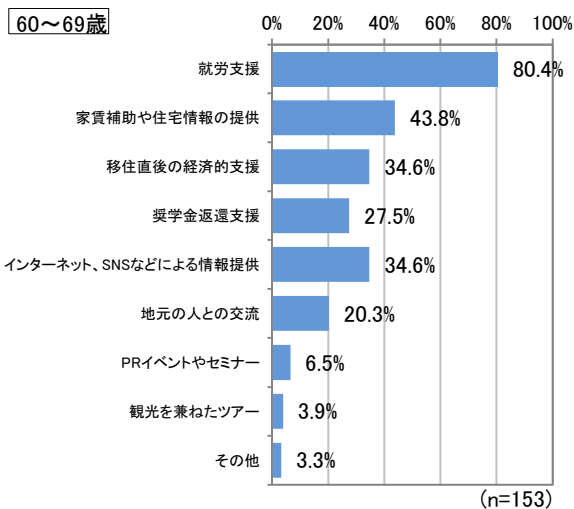
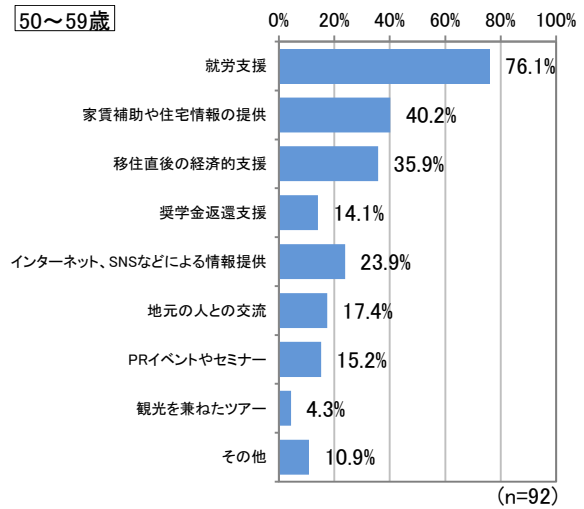
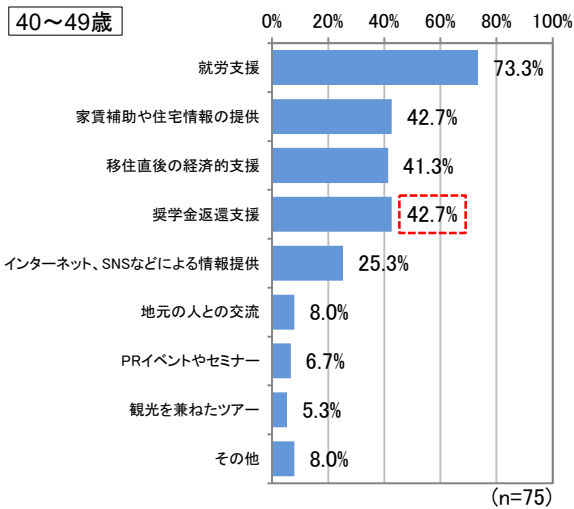
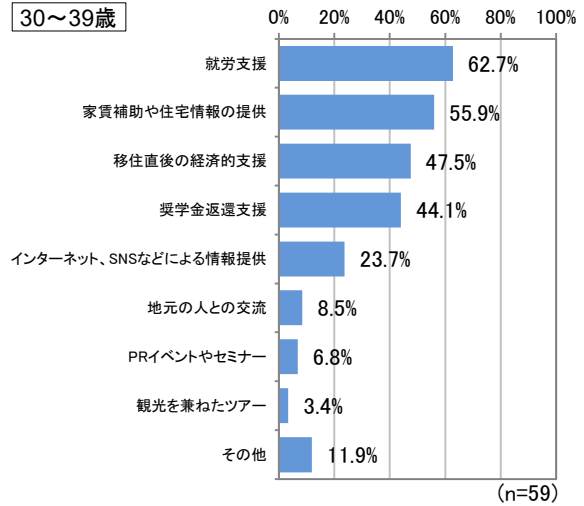
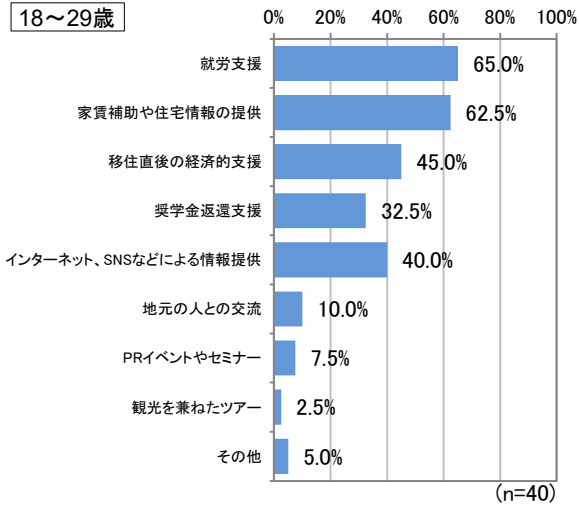
- ・就職先や賃金など就労環境の充実(17)
- ・子育て支援(9)
- ・地域の魅力や郷土愛の向上(5)
- ・教育環境の充実(3)
- ・医療・福祉施設など都市施設の充実(3)

など

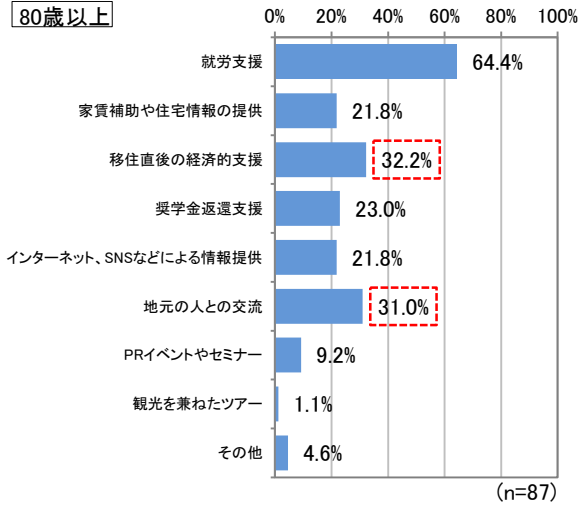
【性別】



【年齢】

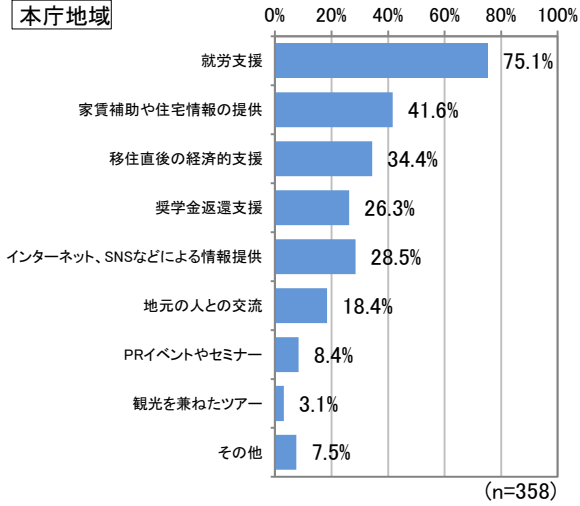


80歳以上

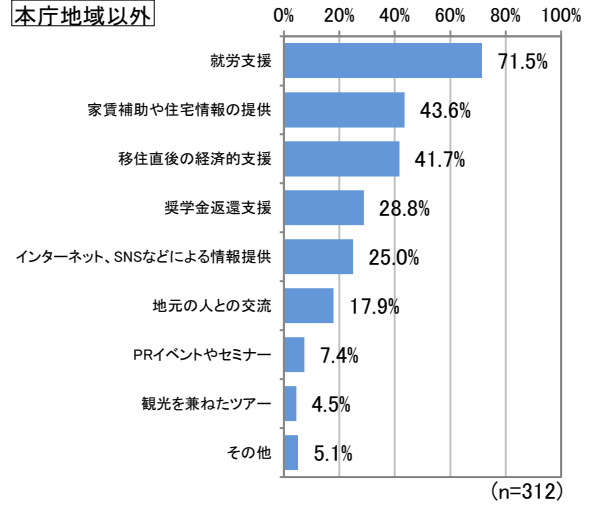


【地区】

本庁地域



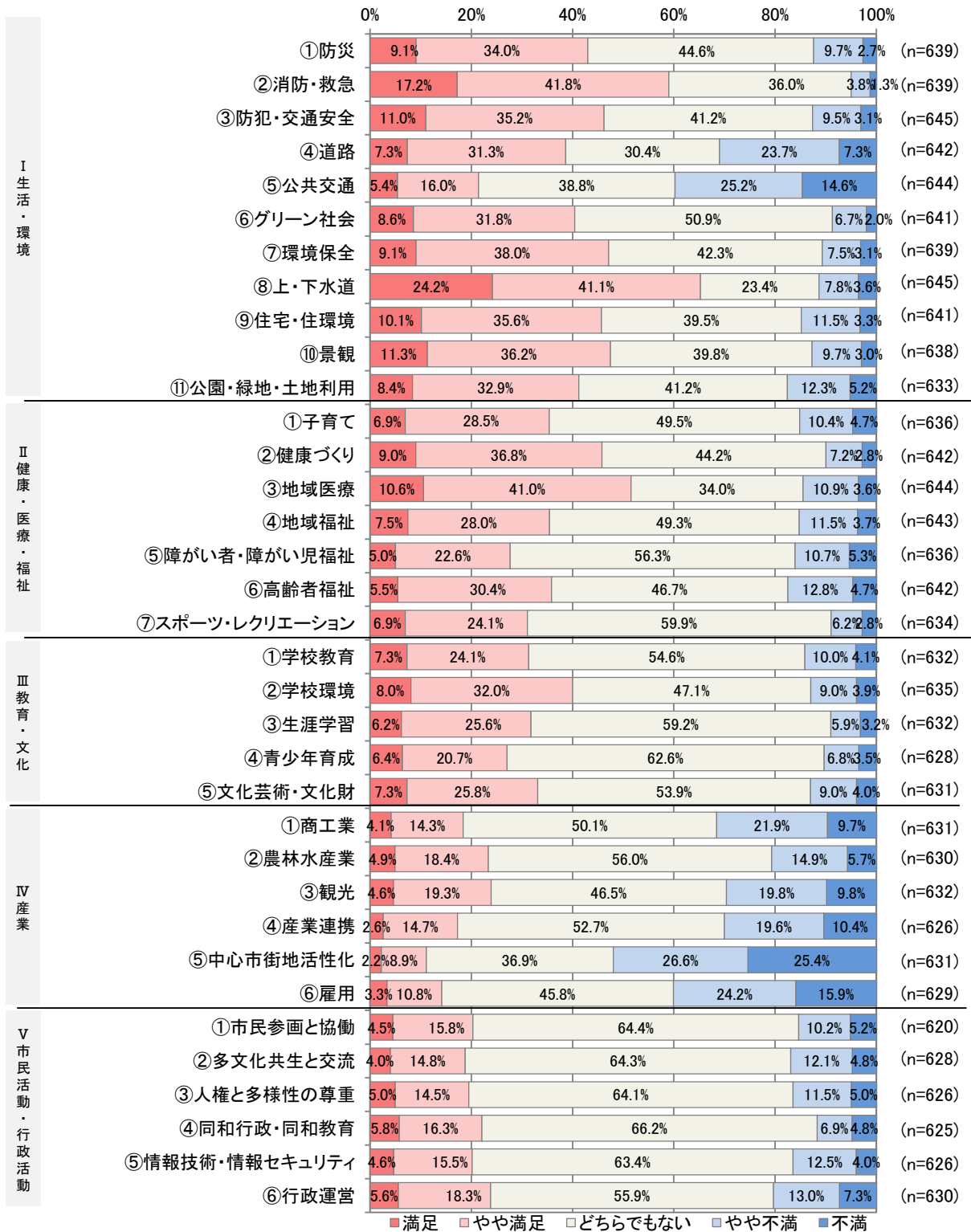
本庁地域以外



2. 新発田市の取組に対する満足度と重要度について、おたずねします

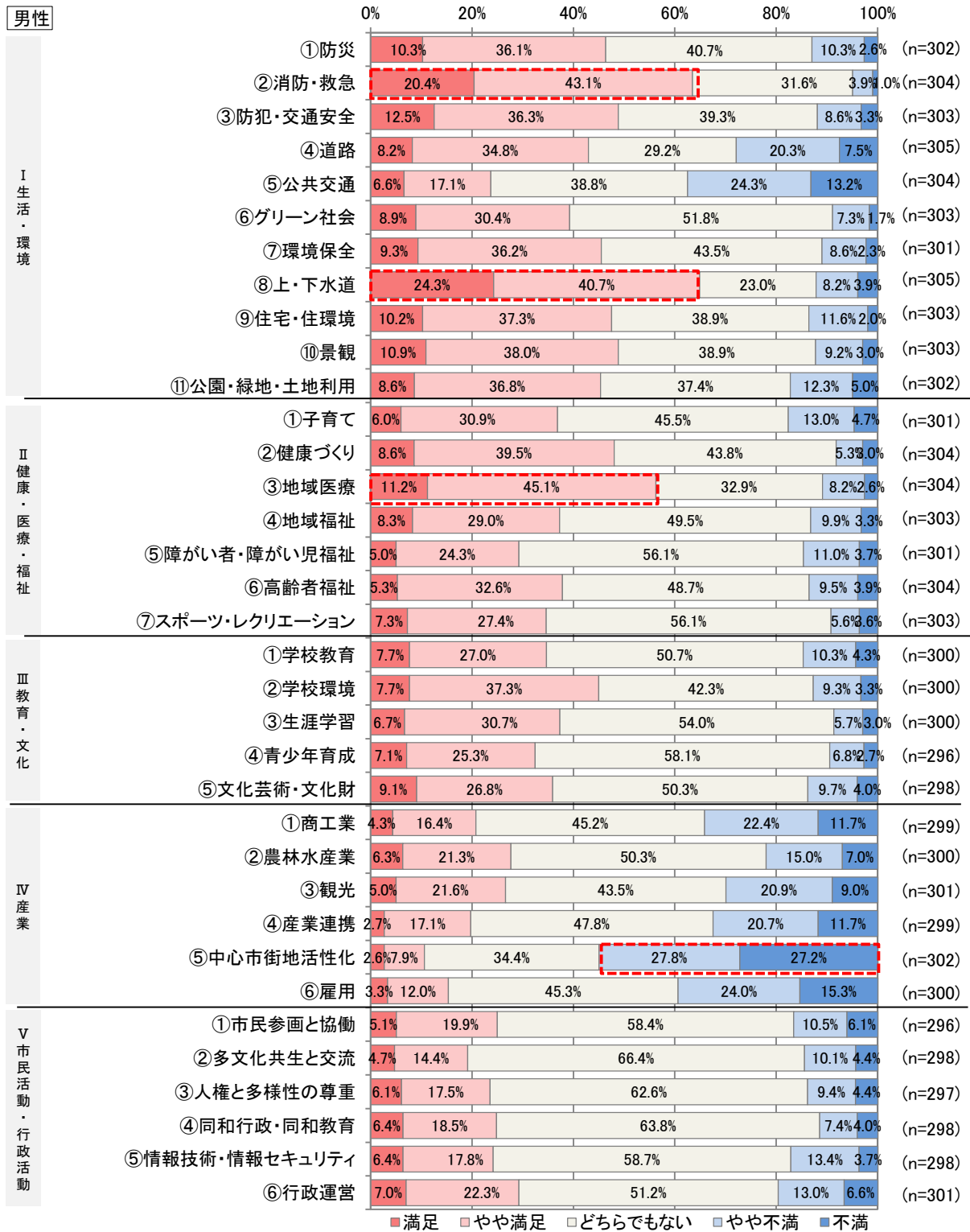
問5. これらの取組及び方針について、満足度と重要性をどのようにお考えですか。

■現状の満足度 【全体】

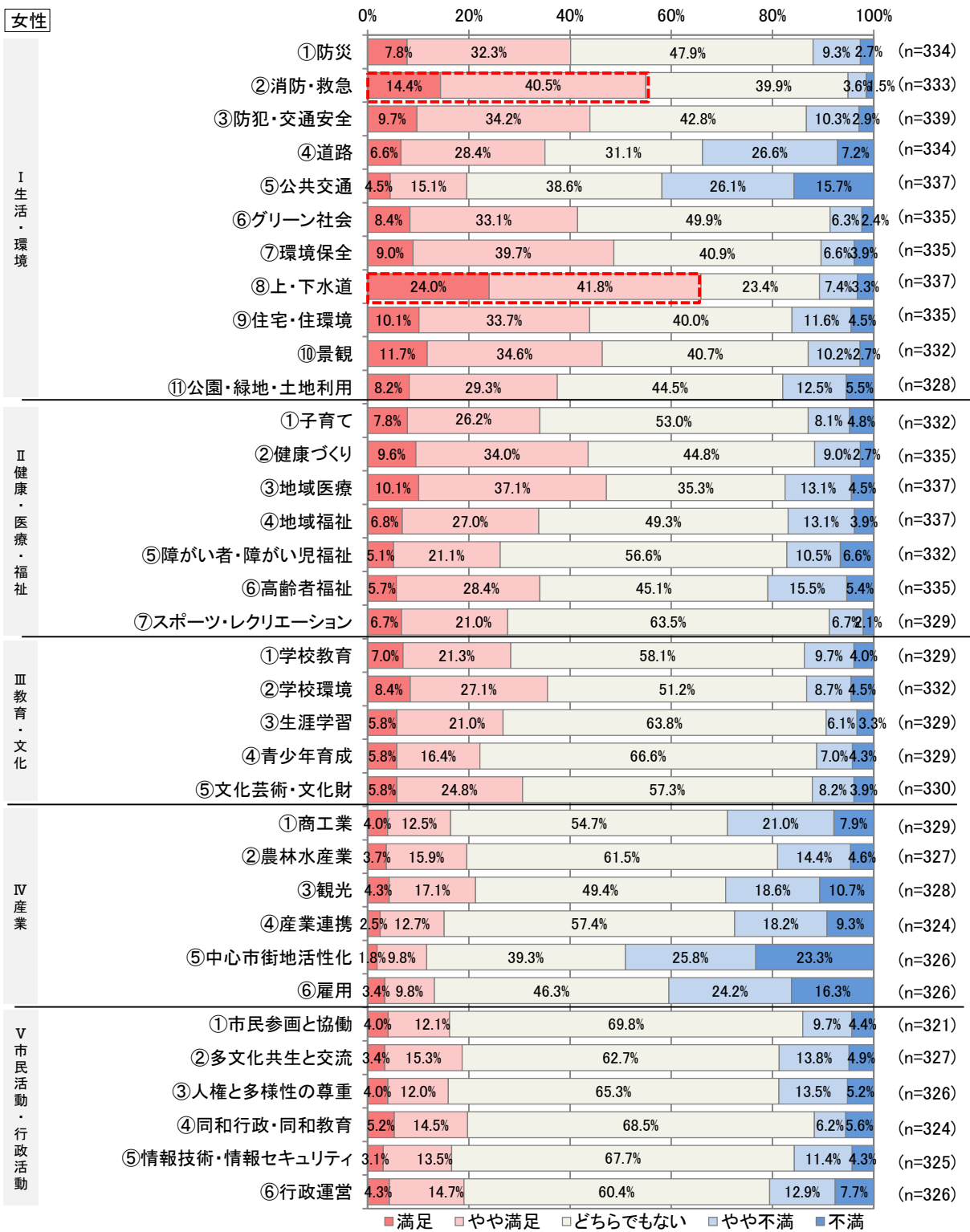


【性別】

現状の満足度について、半数以上が「満足」または「やや満足」と回答する取組は、男女ともに「上・下水道」と「消防・救急」であり、さらに男性は「地域医療」も半数以上となっている。
また、半数以上が「不満」または「やや不満」と回答する取組は、男性の「中心市街地活性化」である。

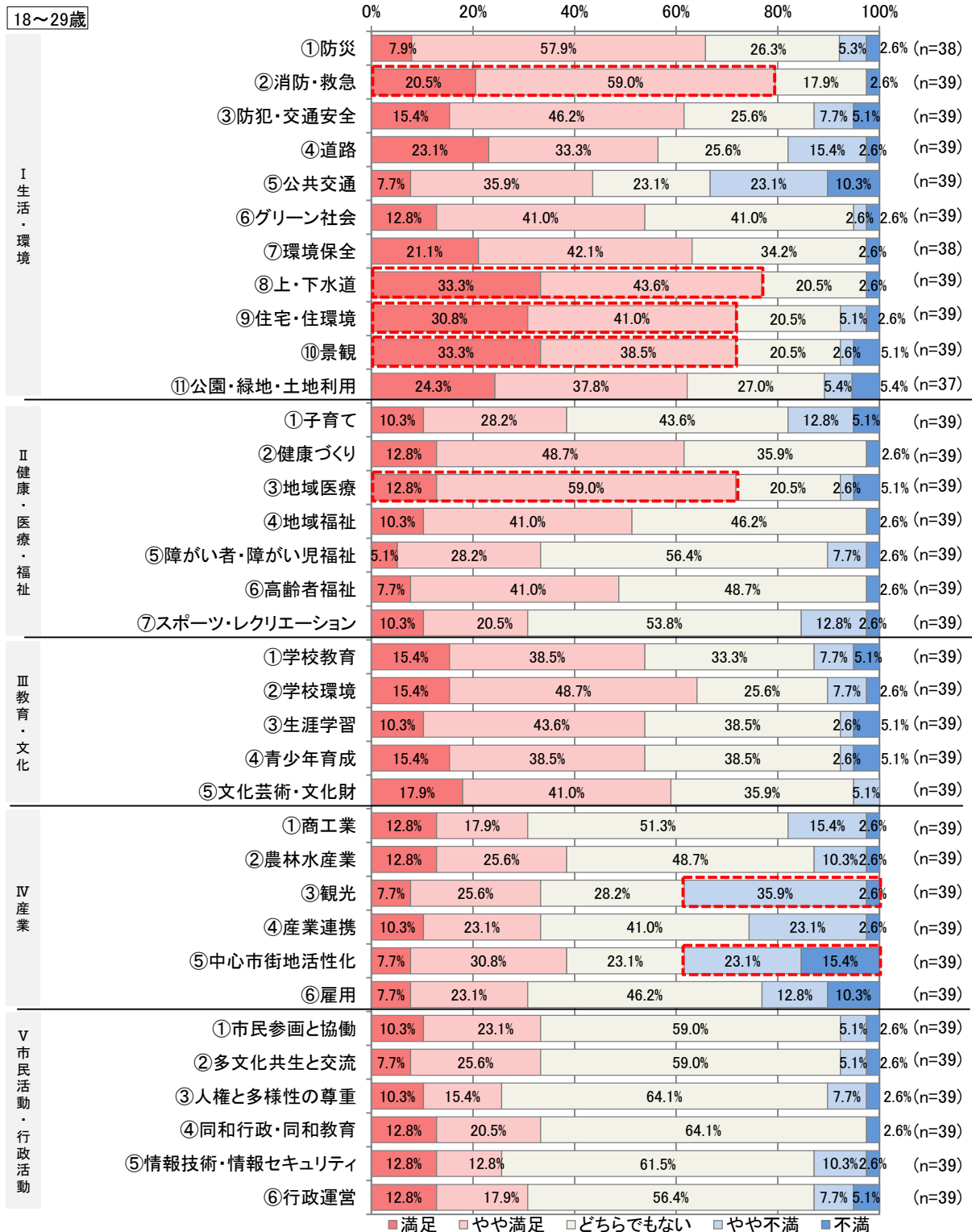


女性

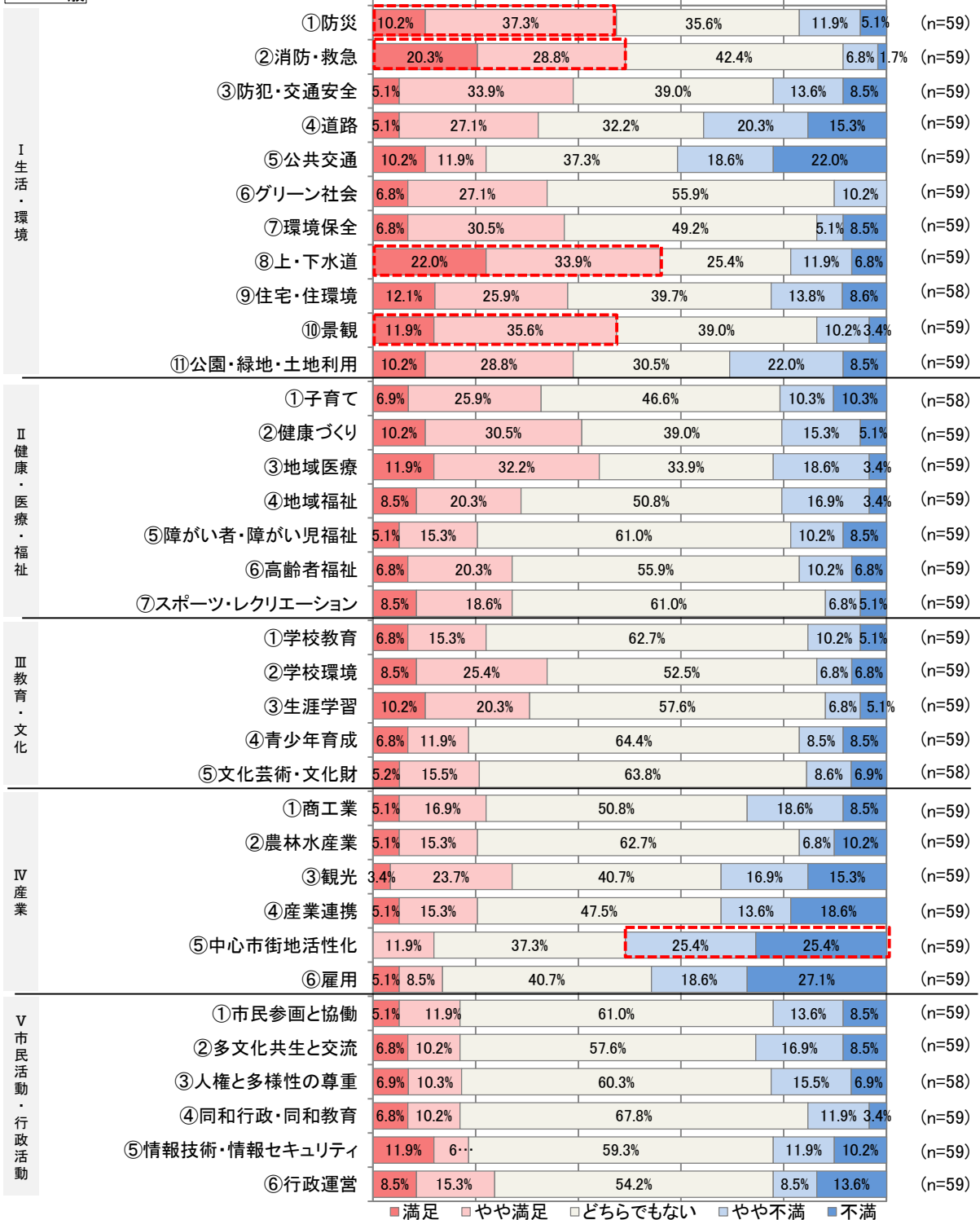


【年齢】

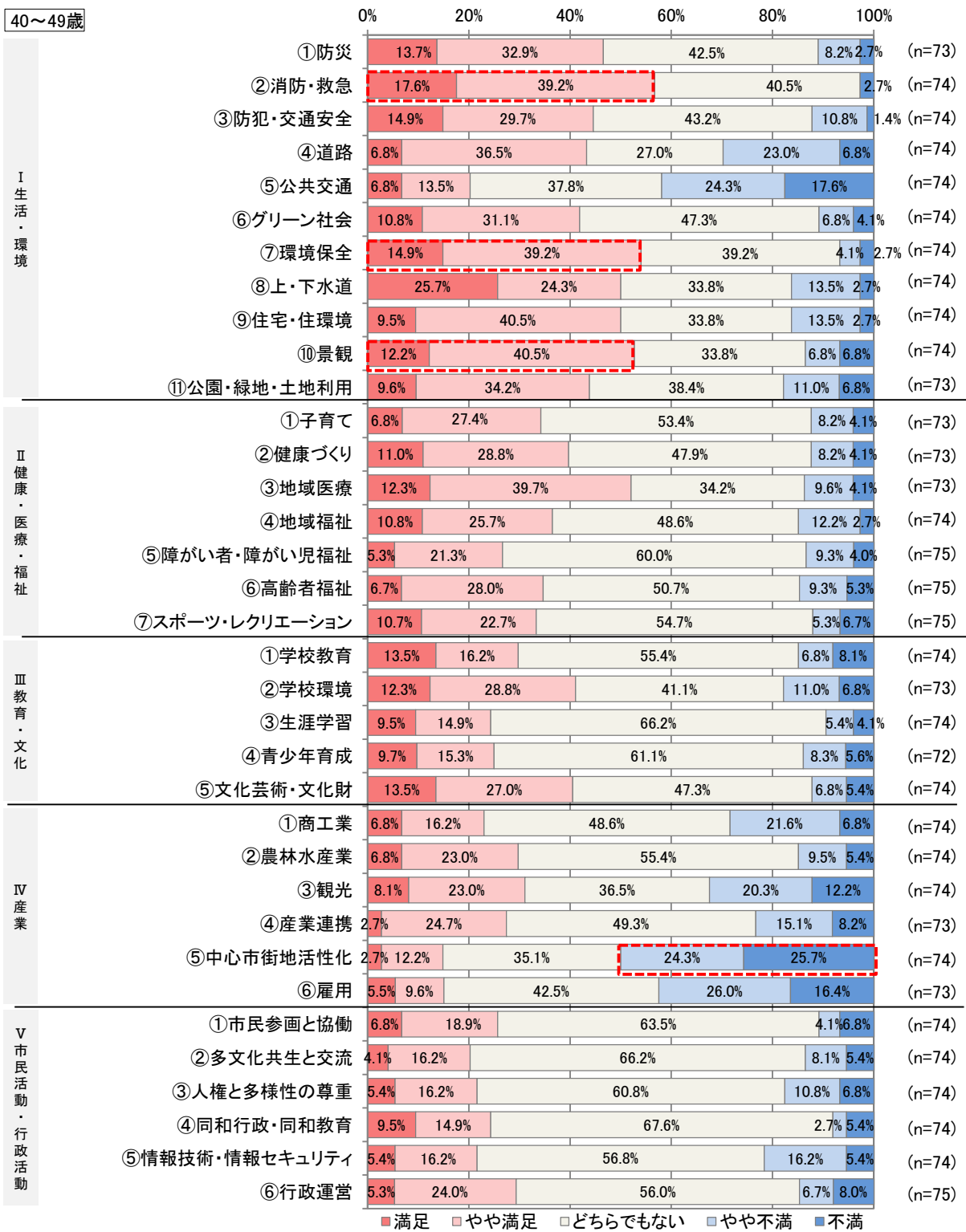
現状の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が上位3項目に含まれる取組は、全世代共通で「消防・救急」と「上・下水道」である。さらに、10・20代で「住宅・住環境」、10～40代で「景観」、50代で「健康づくり」、60代で「環境保全」、10・20・70代以上で「地域医療」が上位3項目に含まれる。
 また、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高い取組は、全世代共通で「中心市街地活性化」であり、さらに10・20代は「観光」も「中心市街地活性化」と同じ割合で高い。



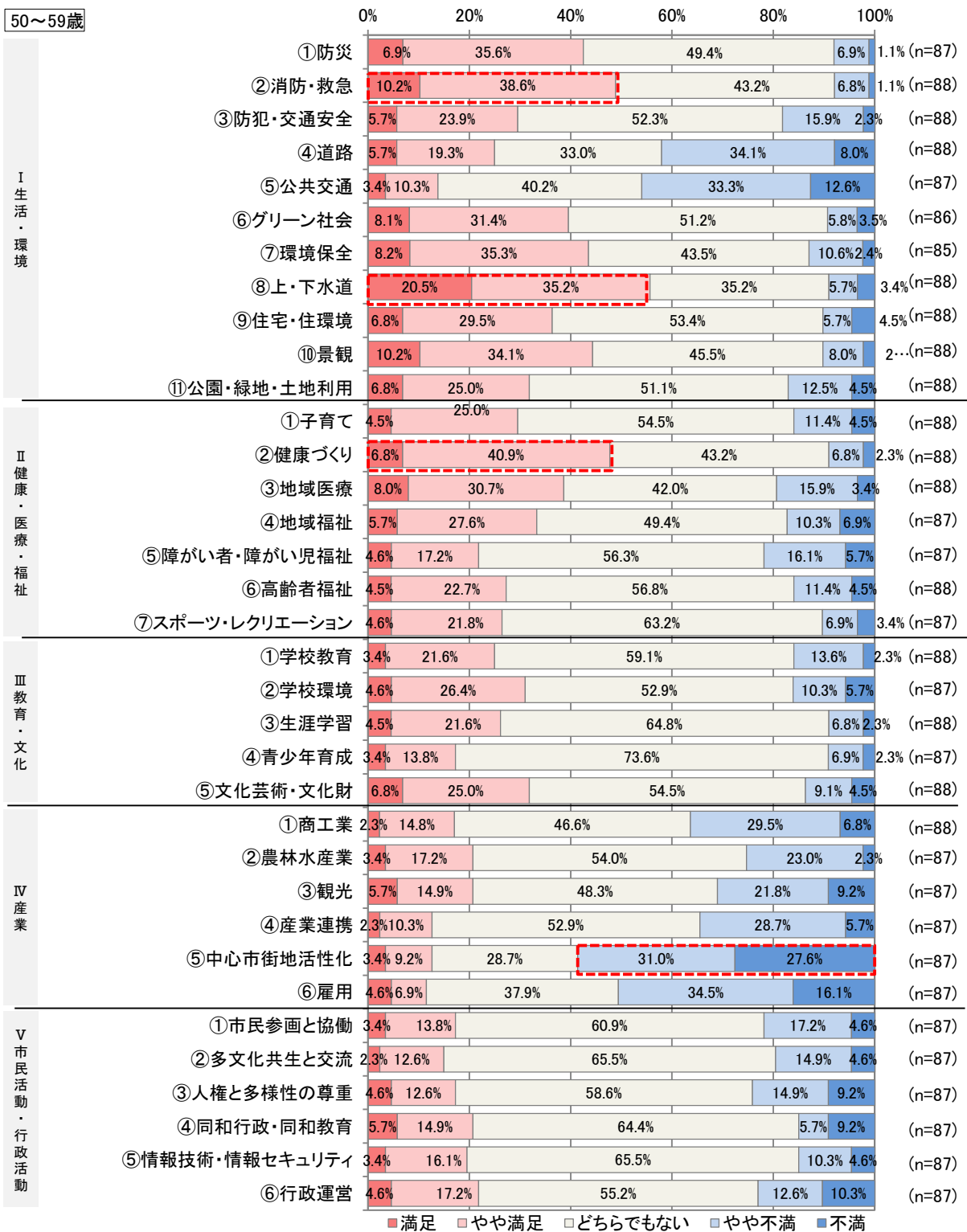
30～39歳



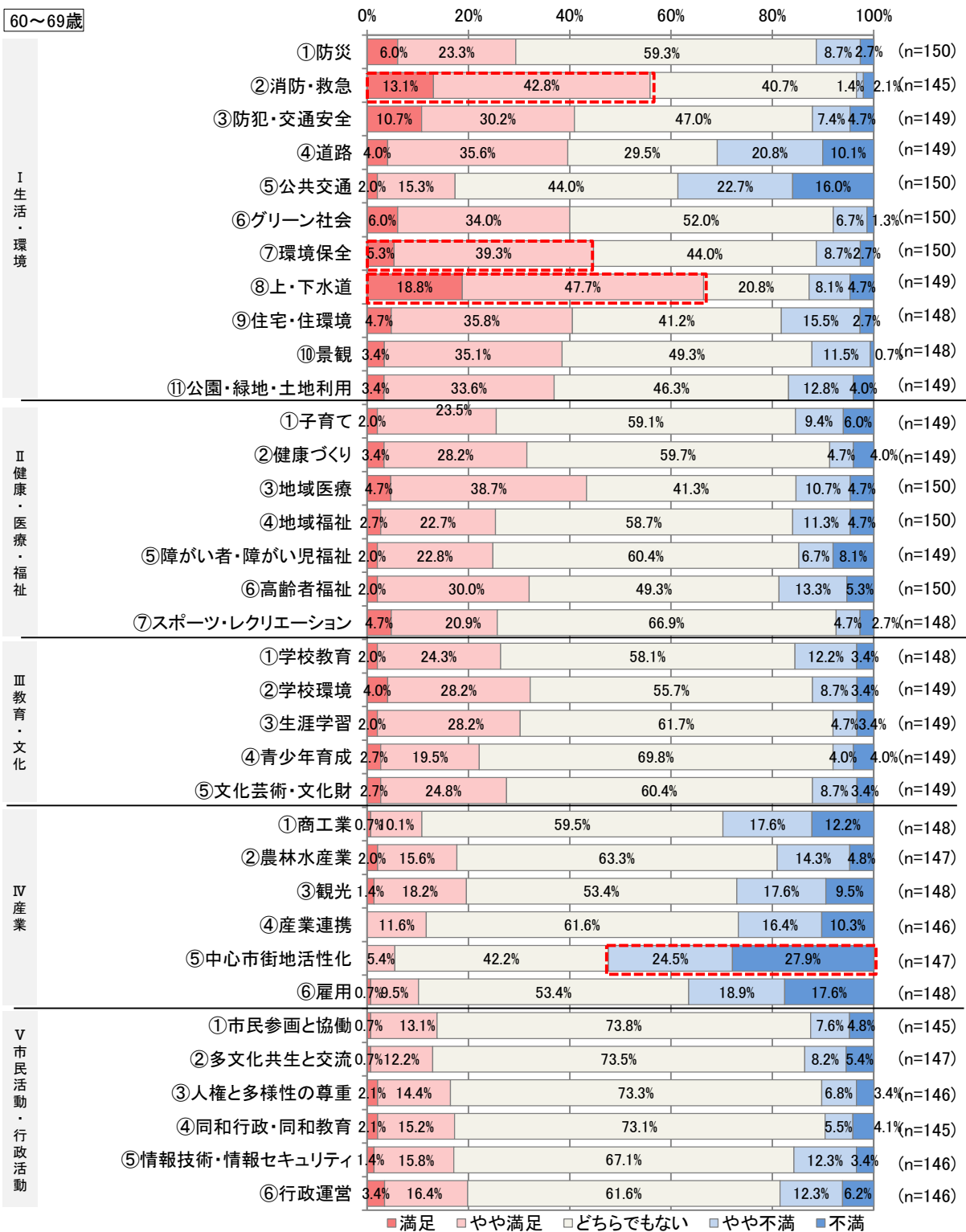
40～49歳



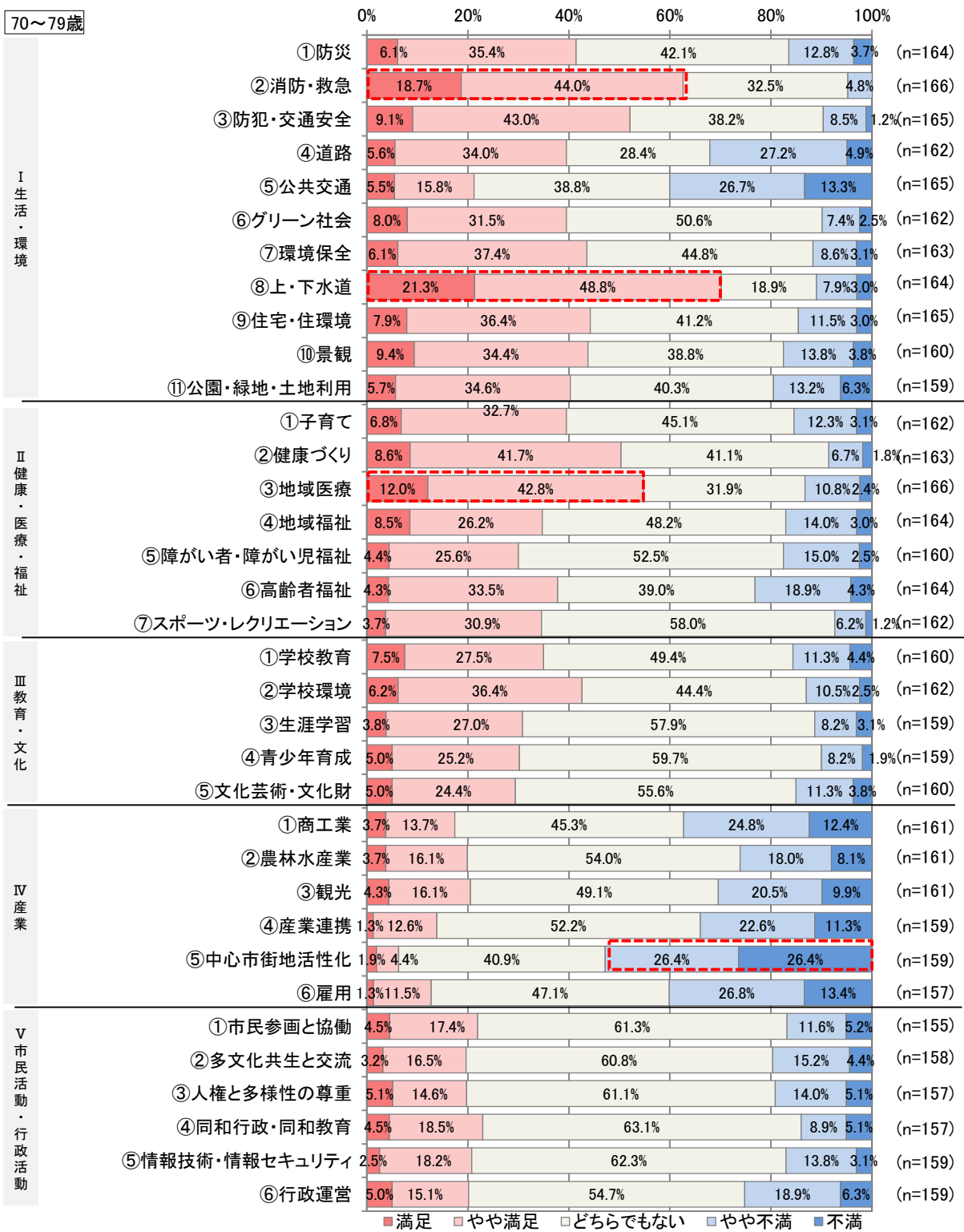
50～59歳



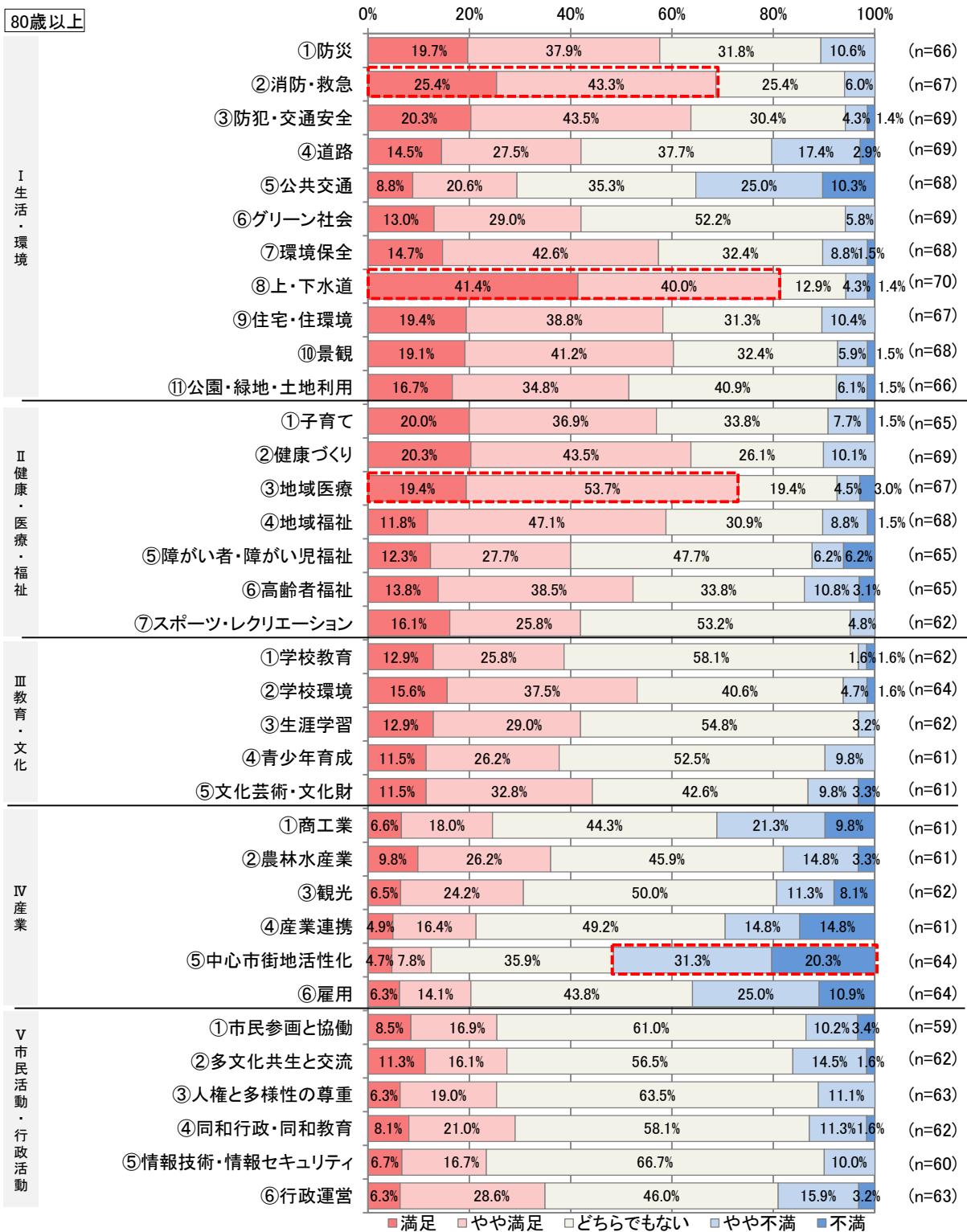
60~69歳



70～79歳

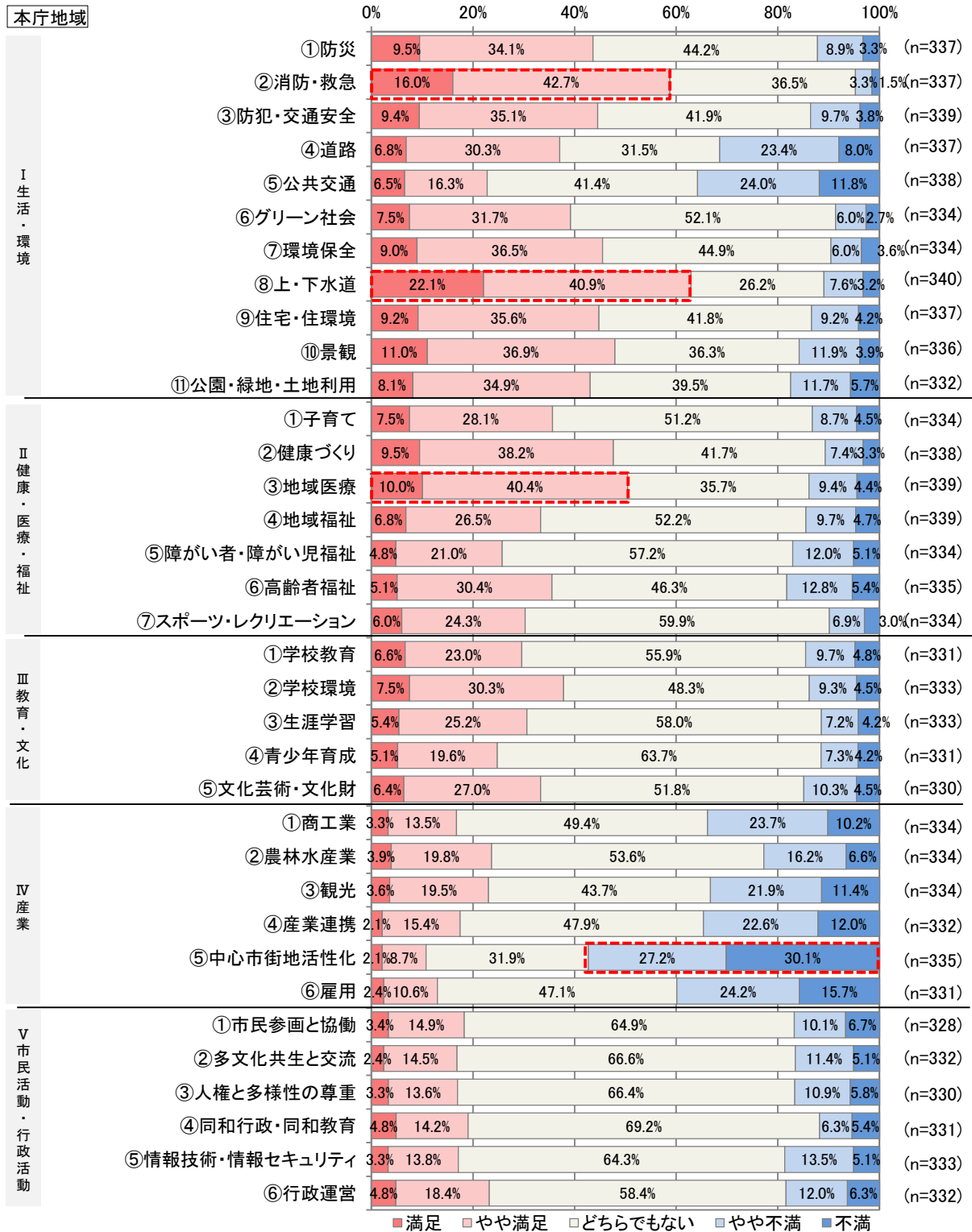


80歳以上

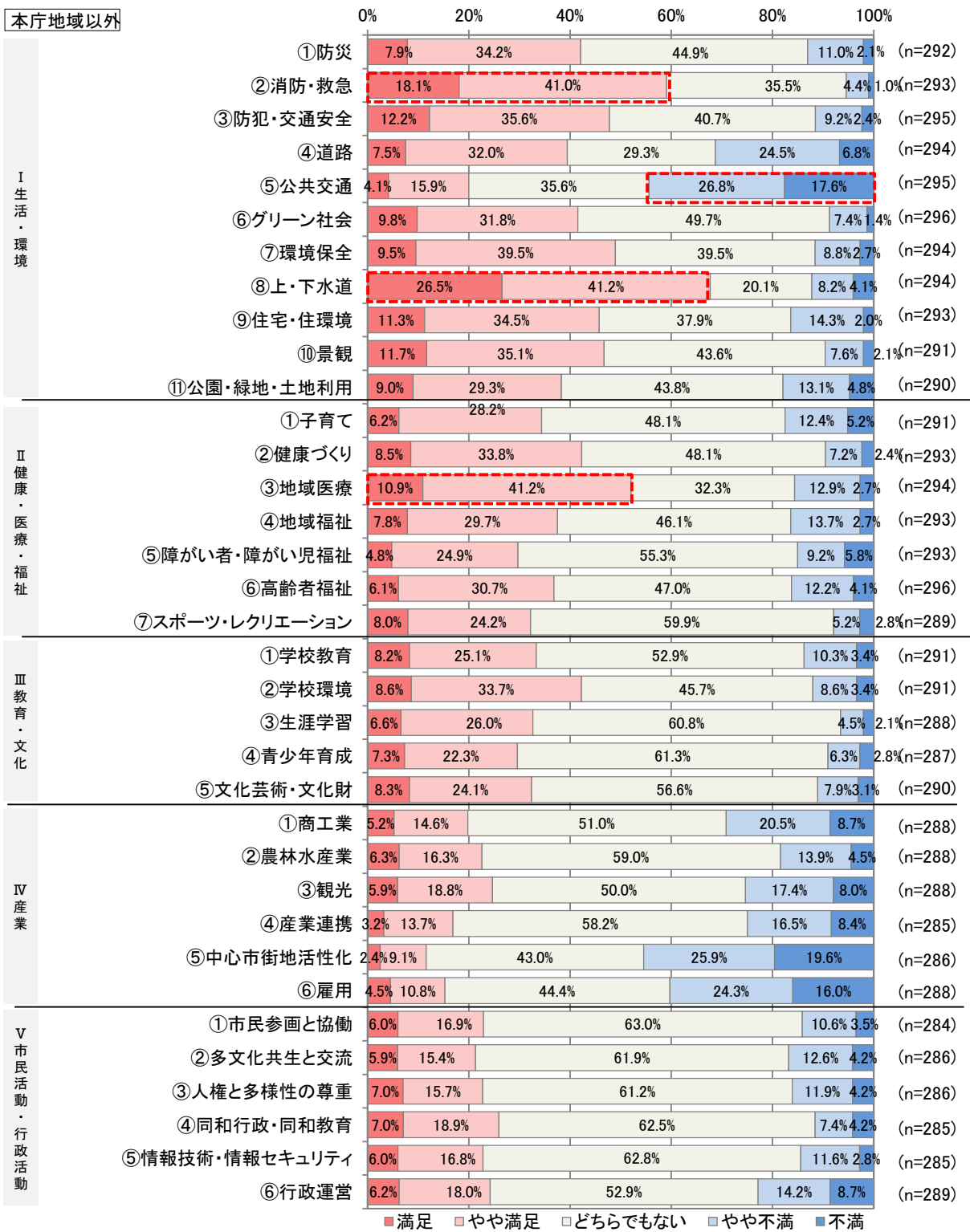


【地区】

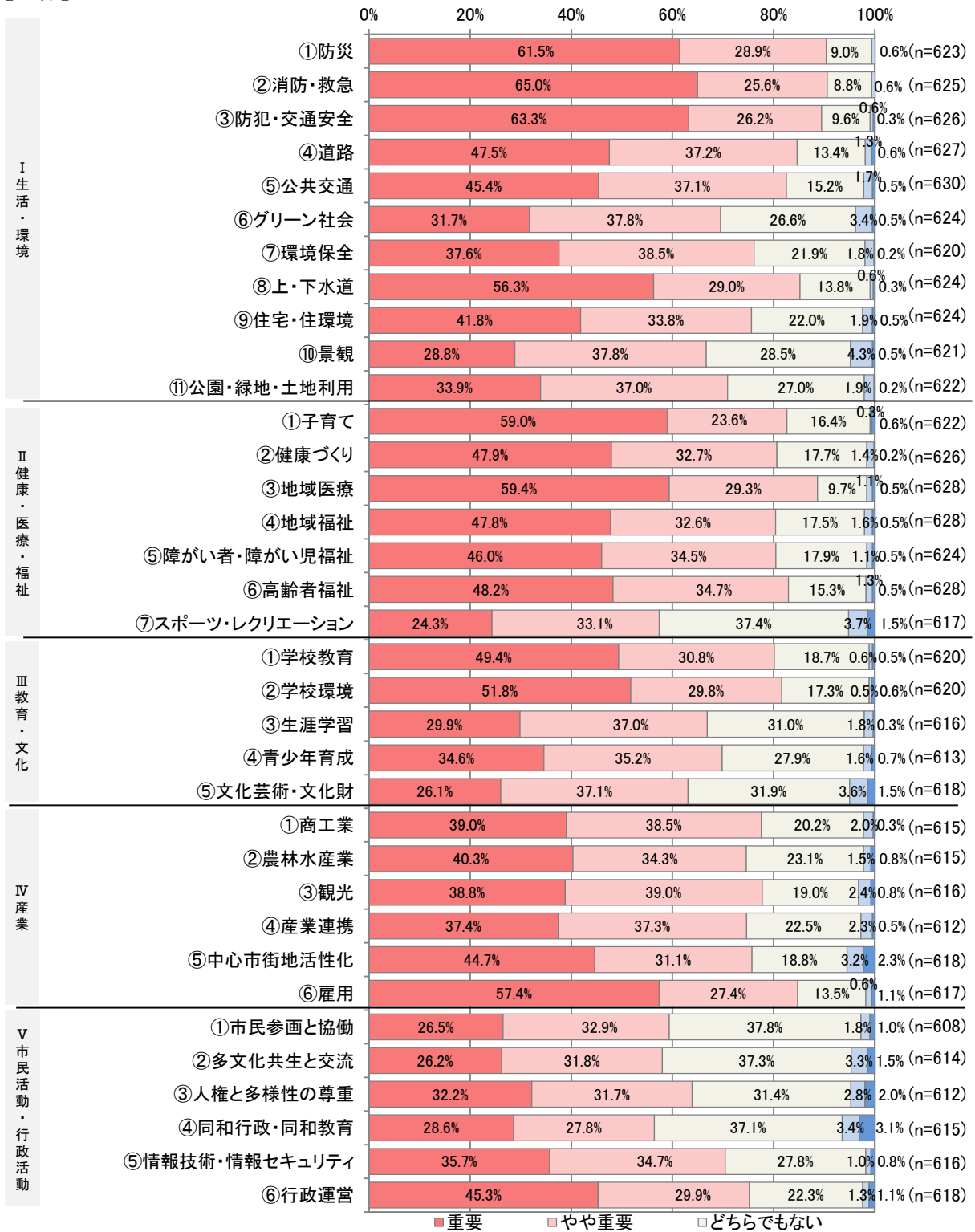
現状の満足度について、半数以上が「満足」または「やや満足」と回答する取組は、本庁地域と本庁地域以外ともに「上・下水道」、「消防・救急」、「地域医療」である。
 また、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高い取組は、どちらの地域も「中心市街地活性化」であるほか、本庁地域以外は「公共交通」が約44%で本庁地域と比べて高い。



本庁地域以外

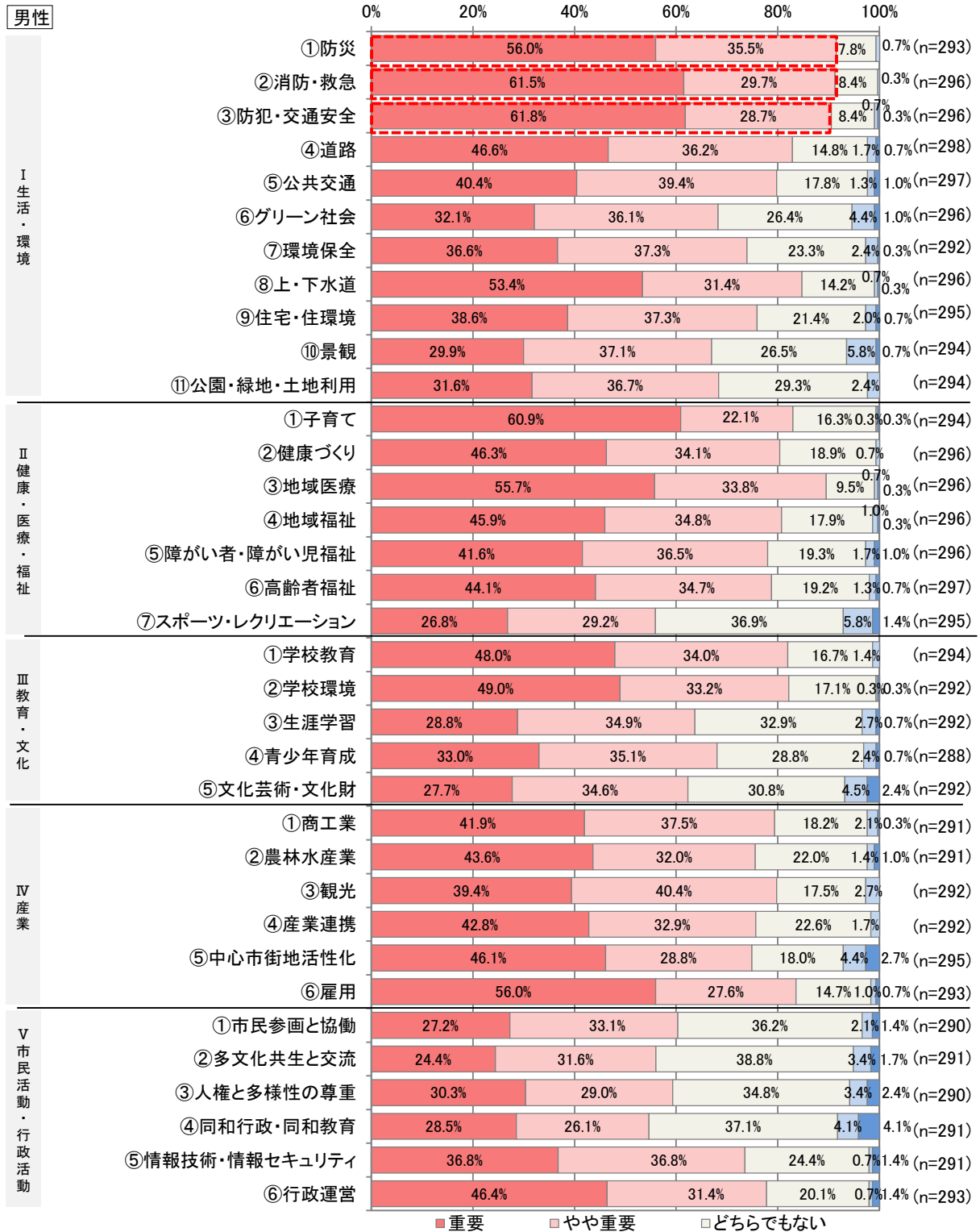


■今後の重要度
【全体】

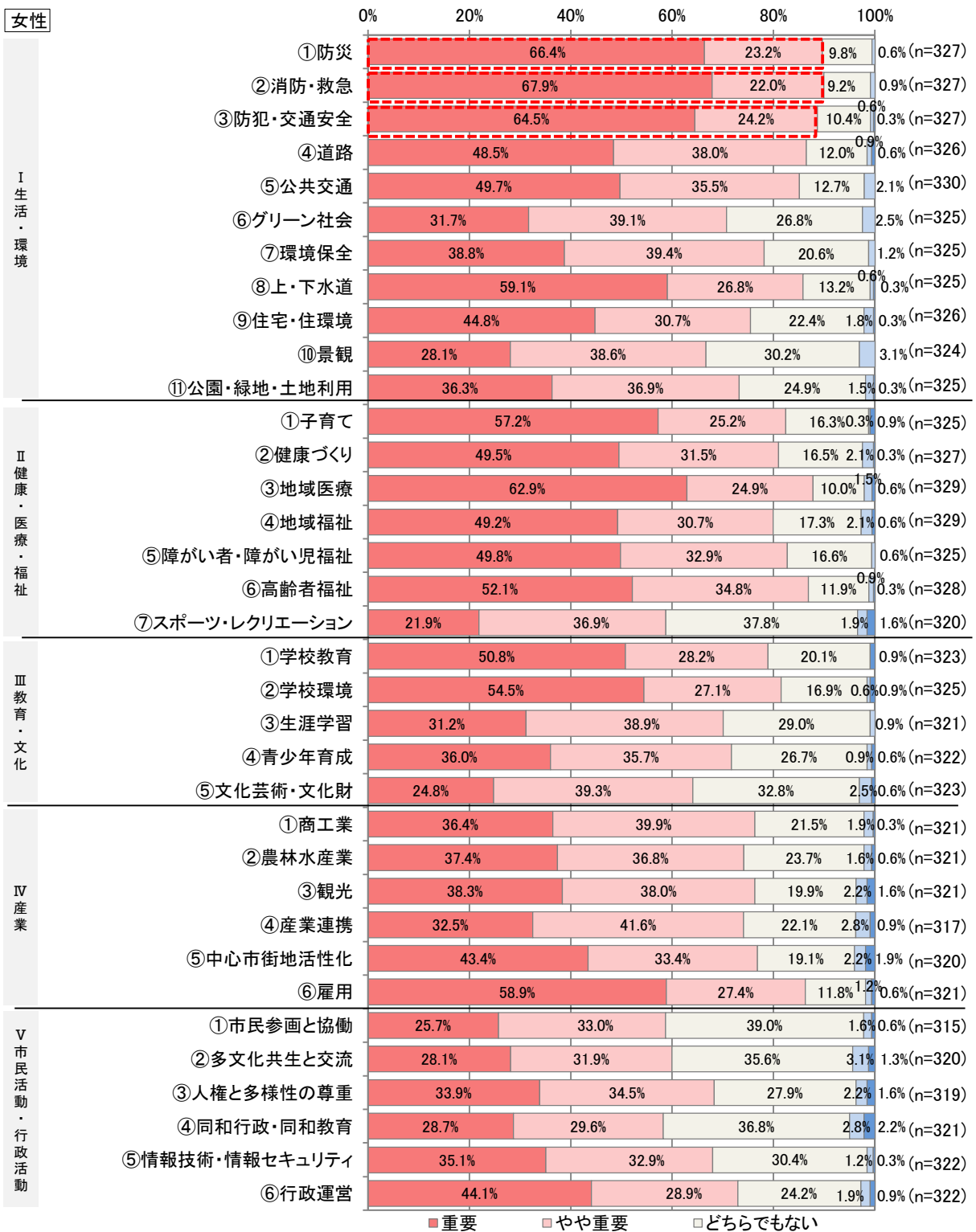


【性別】

今後の重要度について、「重要」と「やや重要」を合わせた割合が上位3項目に含まれる取組は、男女ともに「防災」、「消防・救急」、「防犯・交通安全」である。
 また、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた割合は、男女ともに全ての取組が1割以下である。

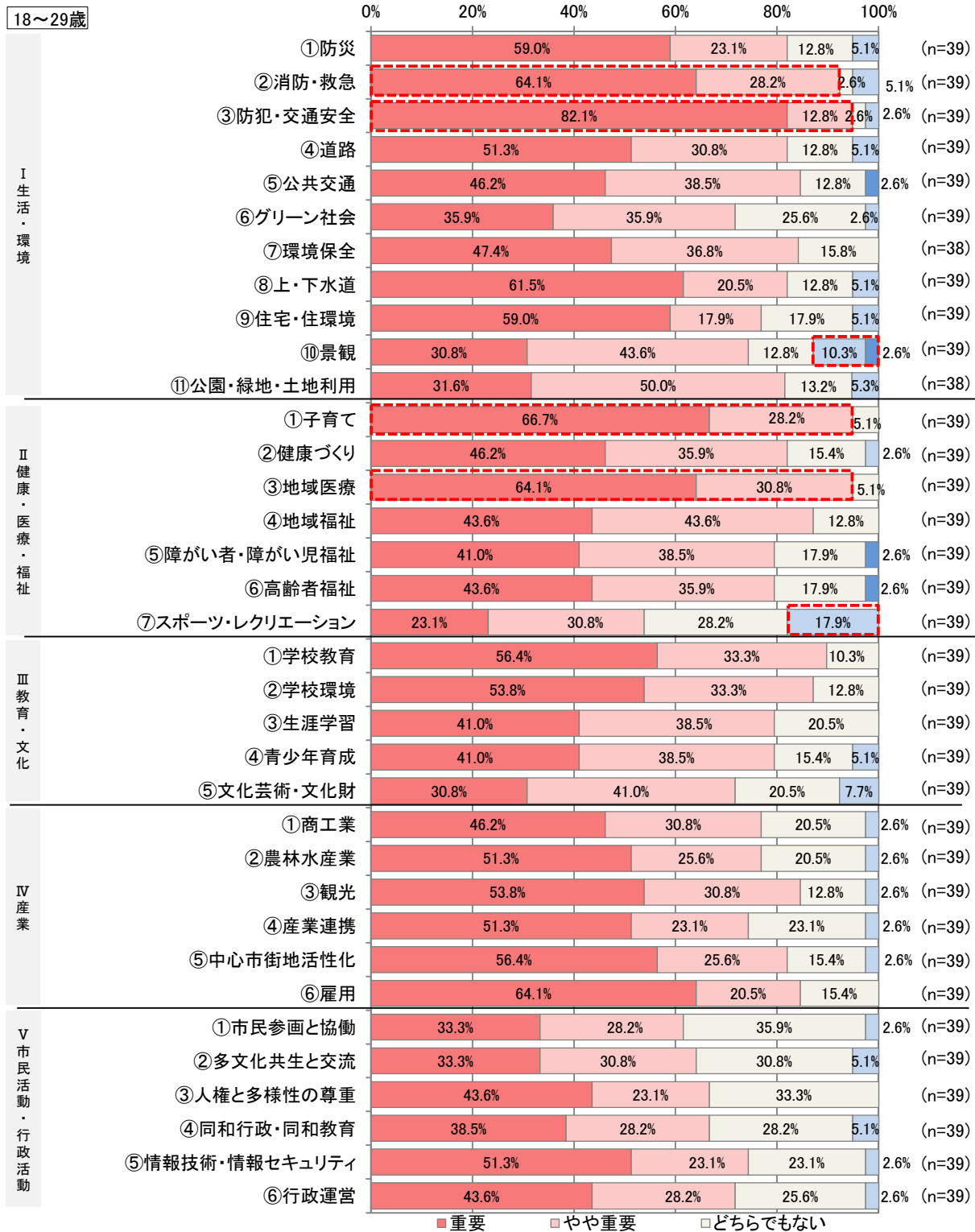


女性

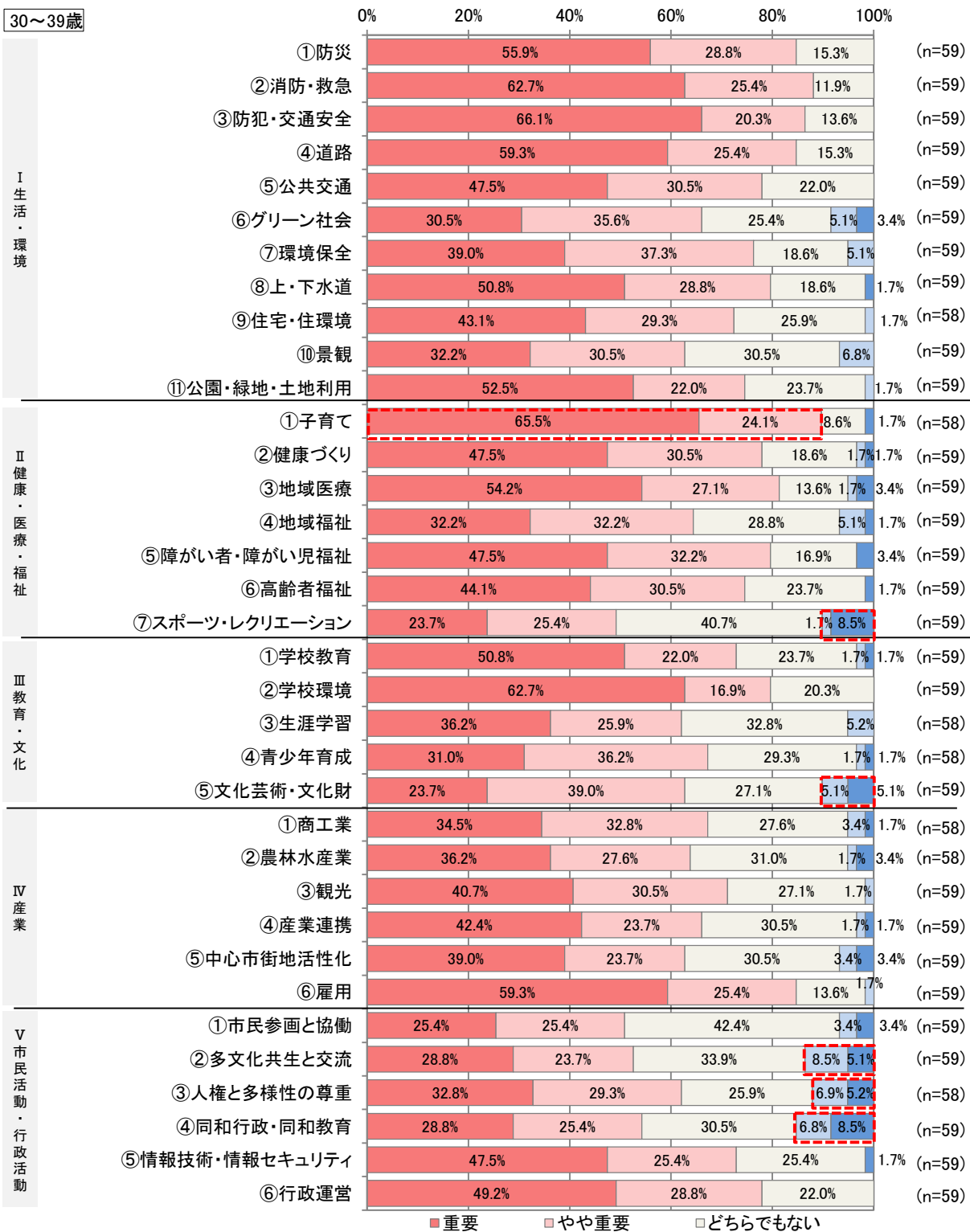


【年齢】

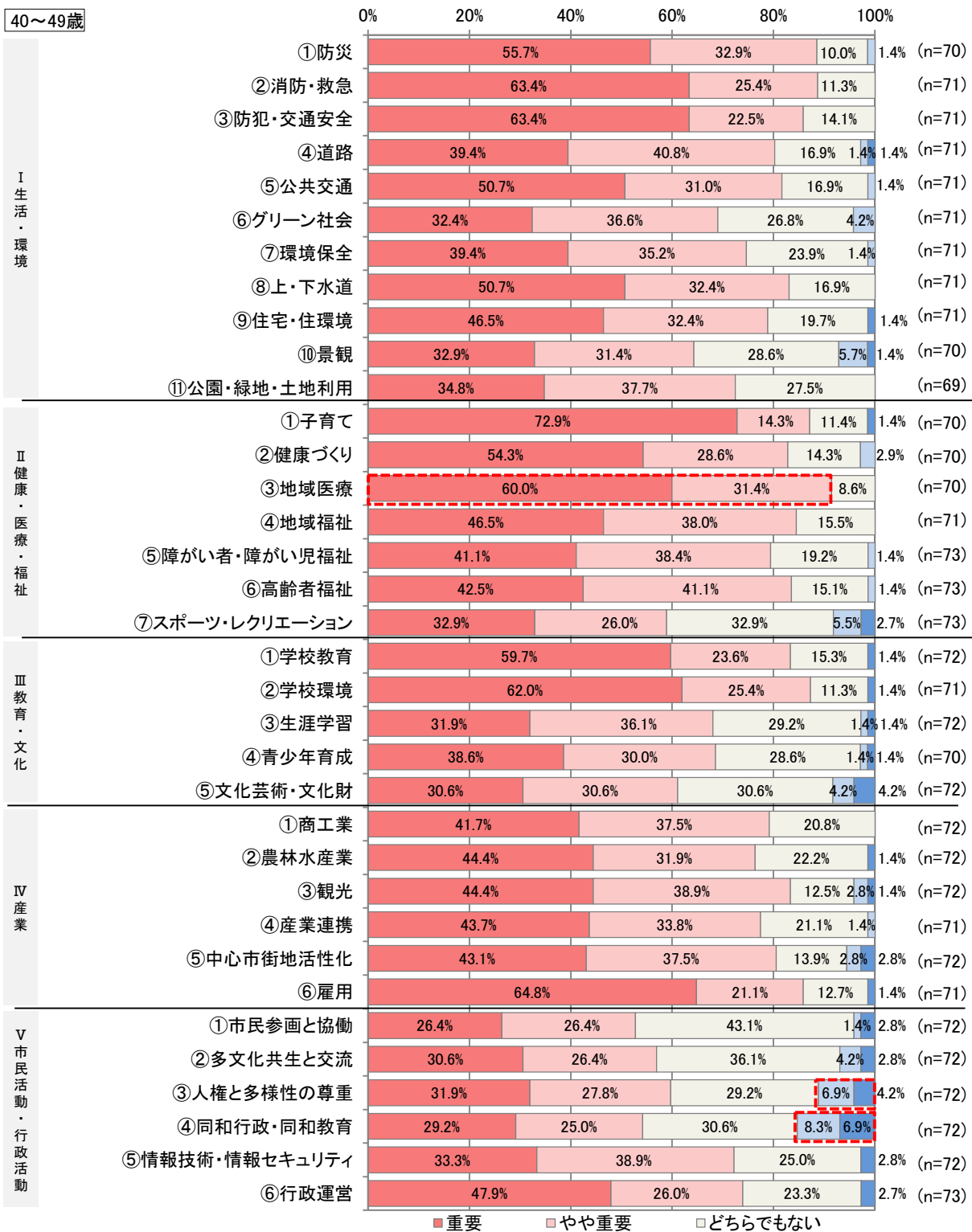
今後の重要度について、「重要」と「やや重要」を合わせた割合が最も高い取組は、10～30代で「子育て」、10・20・40・60代で「地域医療」である。また、10・20・60・80代以上の「防犯・交通安全」や80代以上の「上・下水道」と「地域医療」も90%を超え、全体と比べて高い。「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた割合は、10・20代の「スポーツ・レクリエーション」と30・40代の「同和行政・同和教育」で10%を超え、全体と比べて高い。



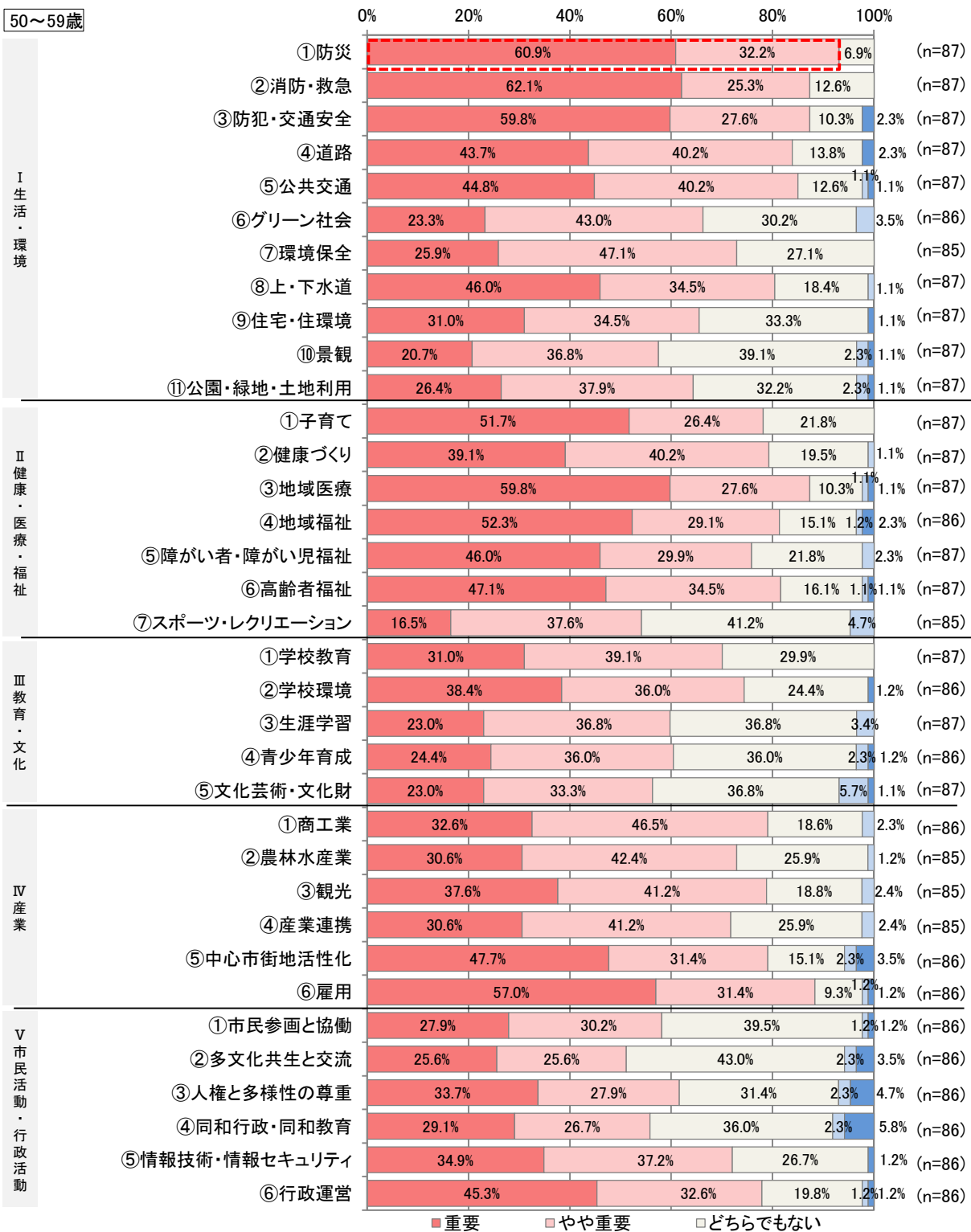
30～39歳



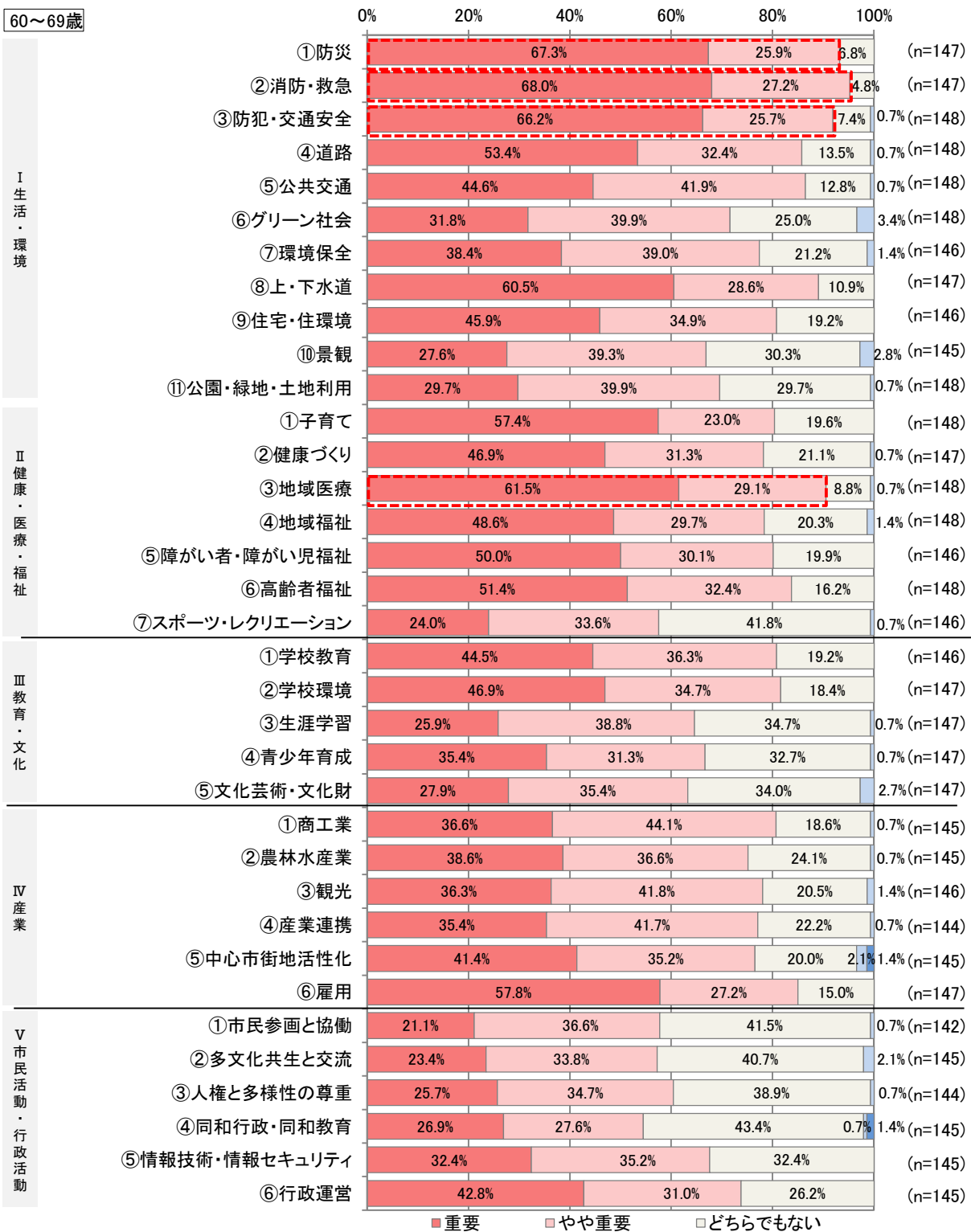
40～49歳



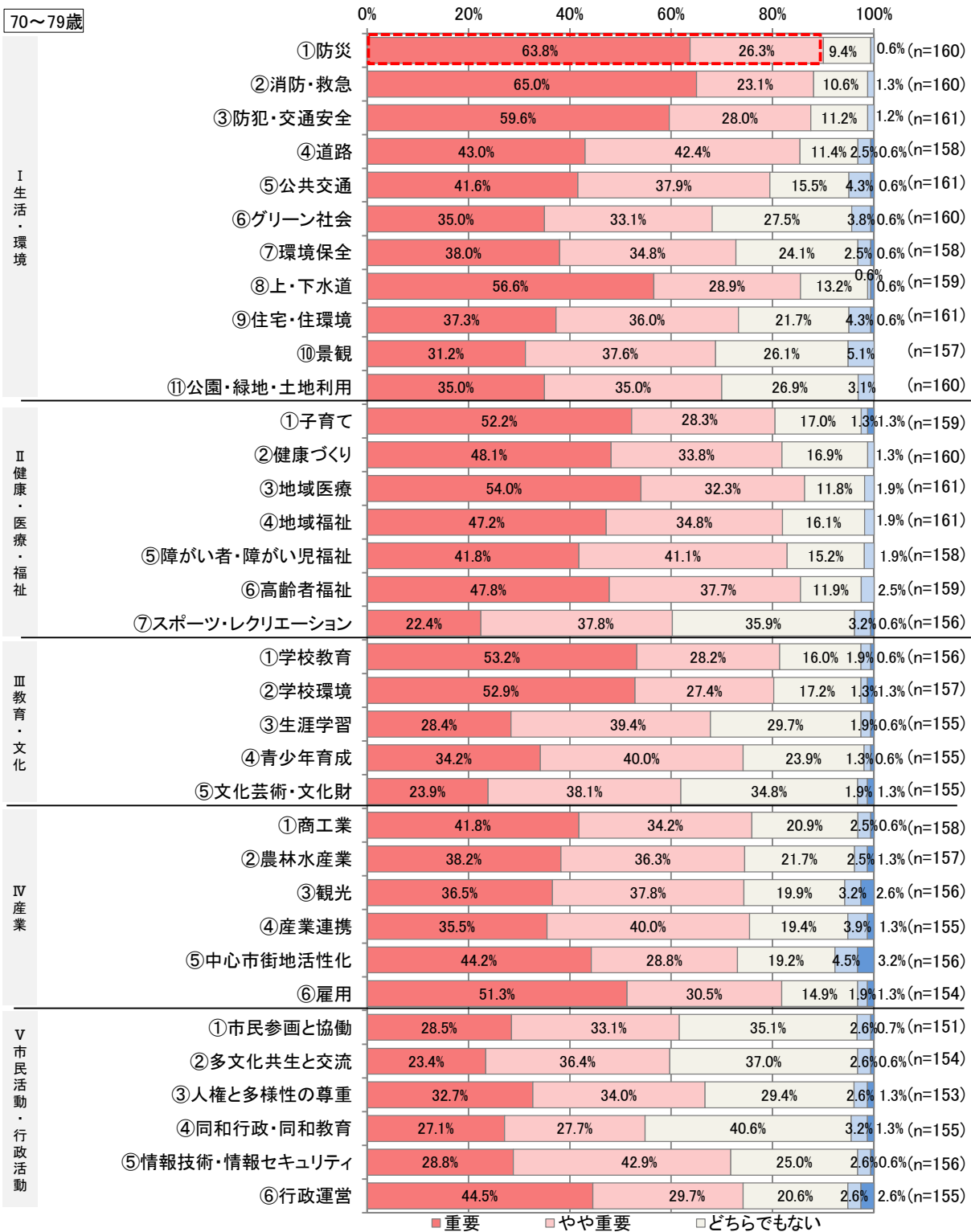
50～59歳



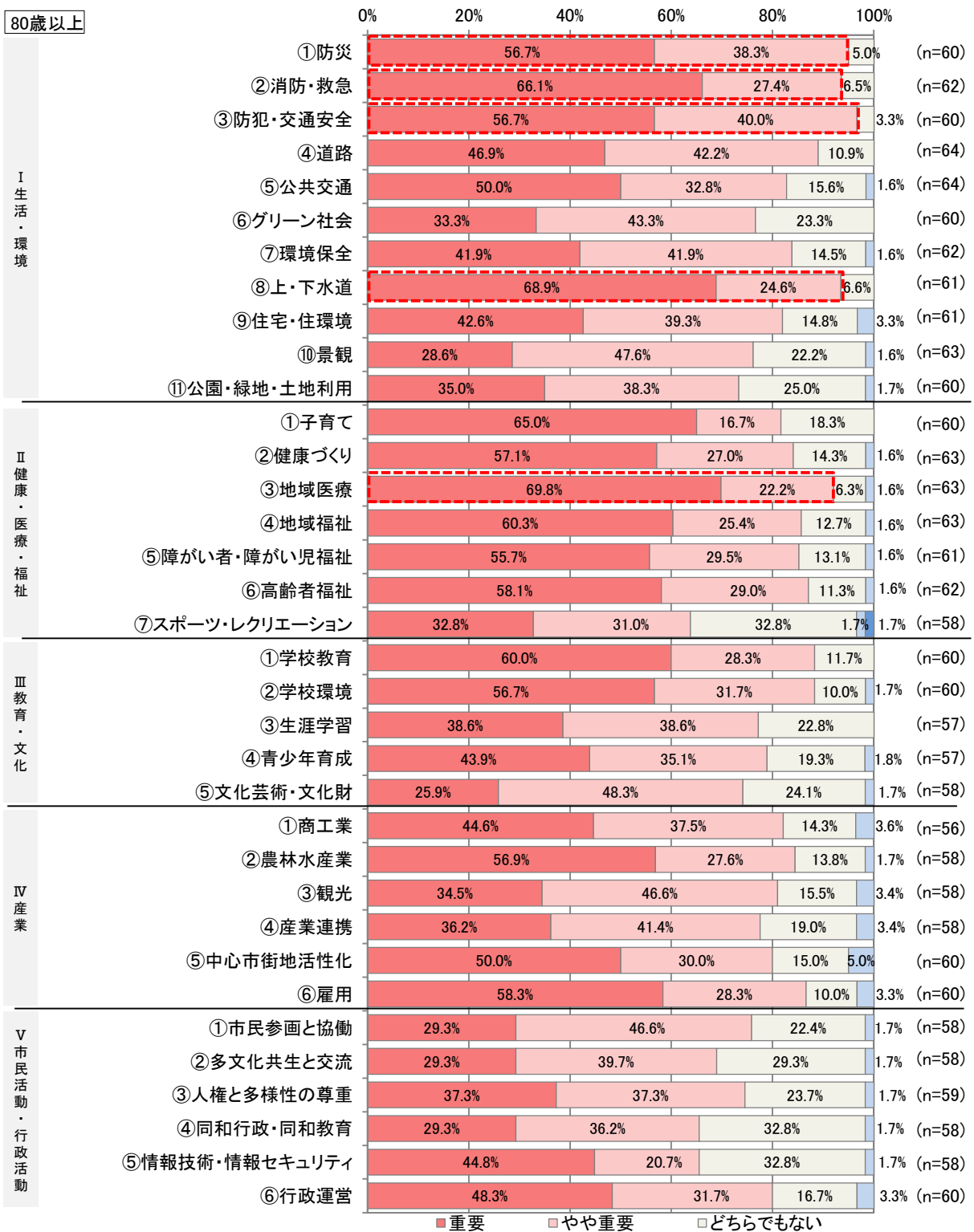
60～69歳



70～79歳

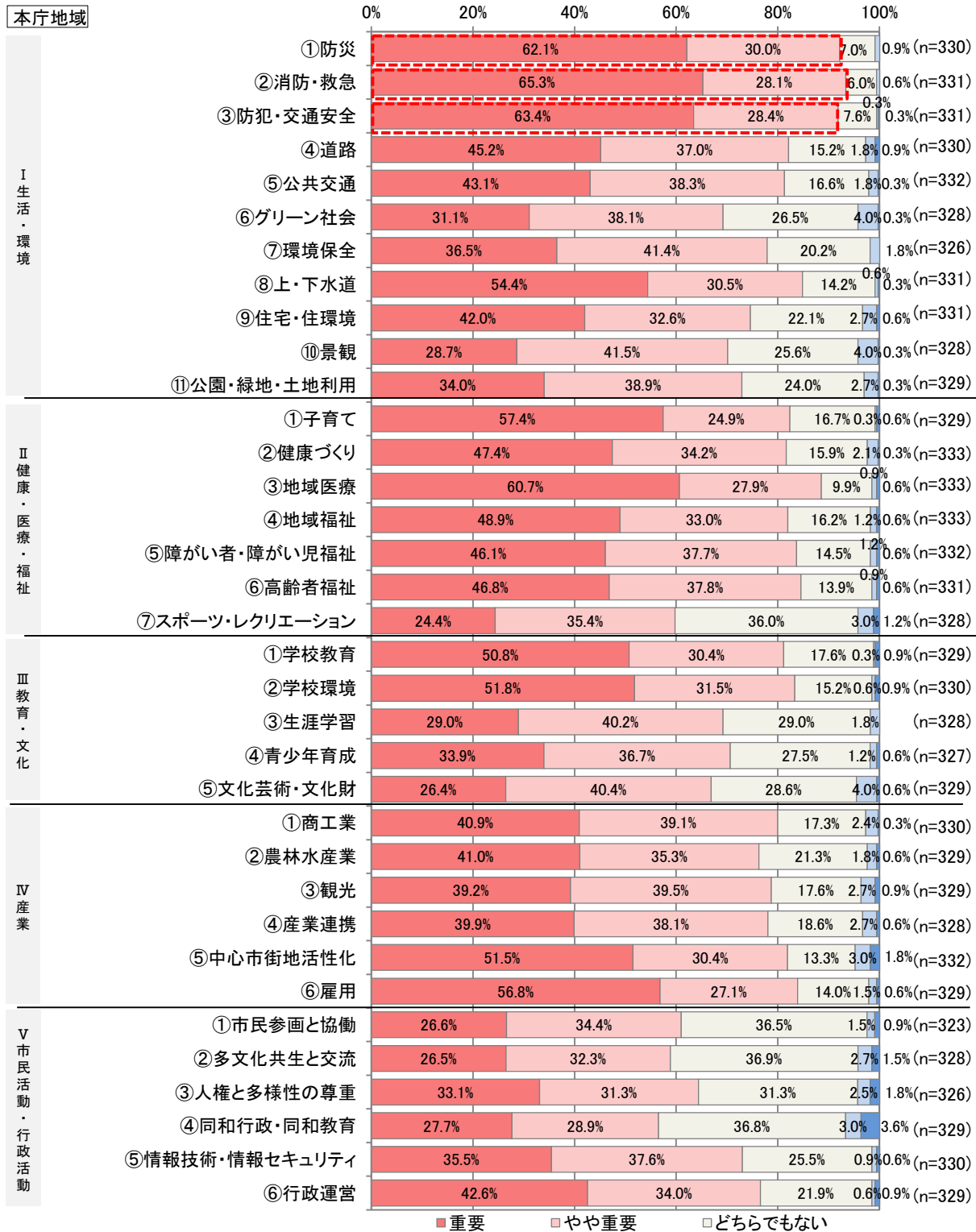


80歳以上

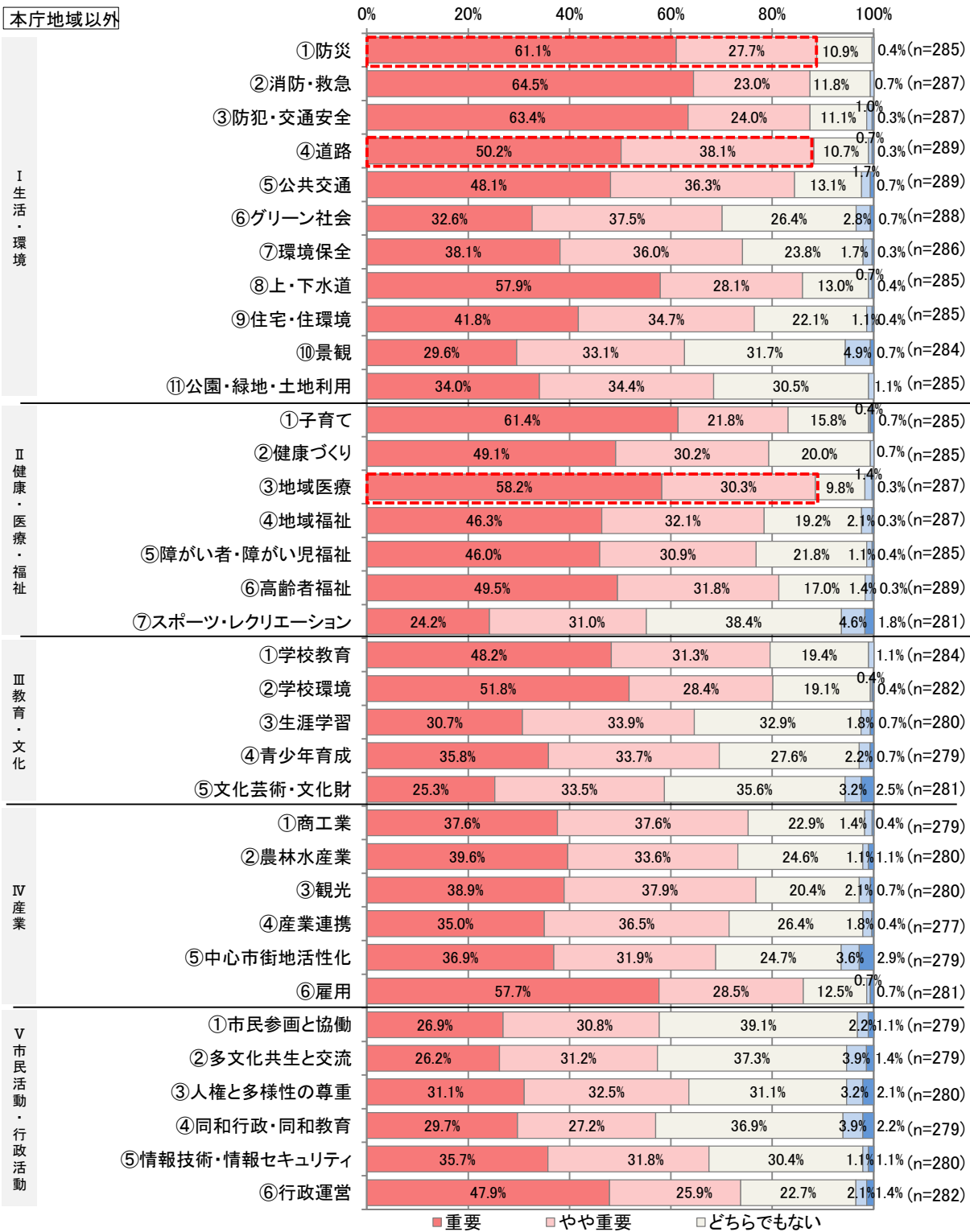


【地区】

今後の重要度について、「重要」と「やや重要」を合わせた割合の上位3項目は、本庁地域で「防災」、「消防・救急」、「防犯・交通安全」、本庁地域以外で「防災」、「地域医療」、「道路」である。
 また、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた割合は、どの地域も全ての取組が1割以下である。



本庁地域以外

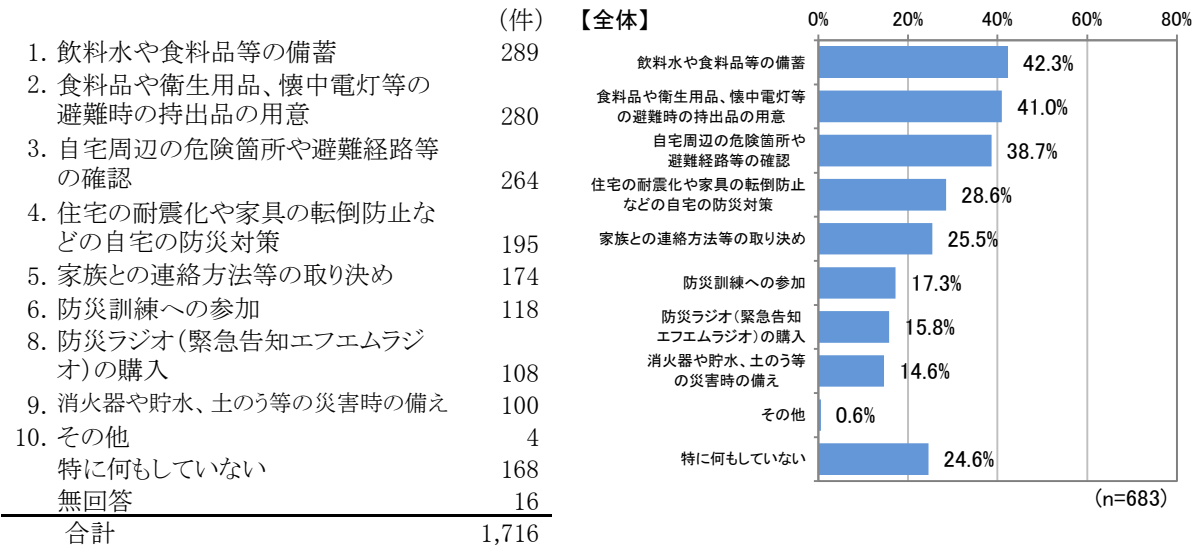


3. 各分野の取組について、おたずねします

(1) 「生活・環境」について

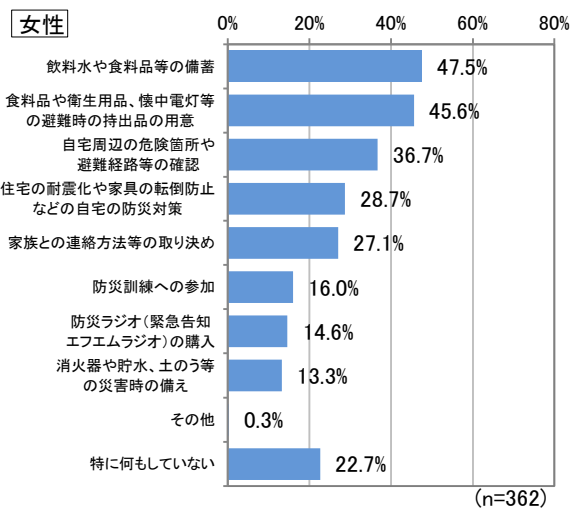
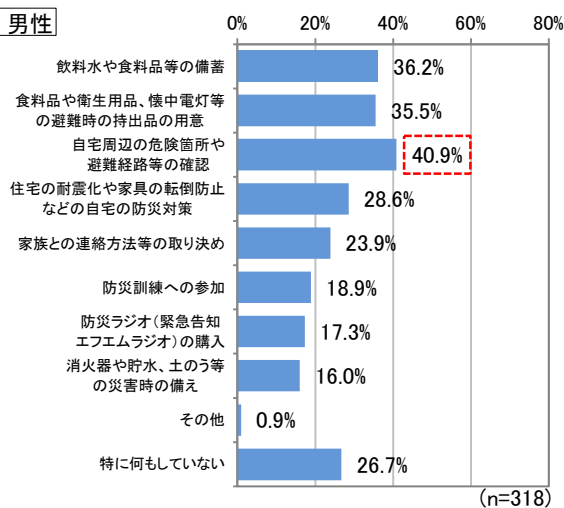
問6. 災害に備えた防災対策を行っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

災害に備えて行っている防災対策について、男女別でみると、男性は「自宅周辺の危険箇所や避難経路等の確認」が約41%で最も高い。
 年齢別でみると、30・40代は「自宅周辺の危険箇所や避難経路等の確認」、70代以上は「食料品や衛生用品、懐中電灯等の避難時の持出品の用意」の割合がそれぞれ最も高い。
 地区別でみると、本庁地域以外は「食料品や衛生用品、懐中電灯等の避難時の持出品の用意」と「自宅周辺の危険箇所や避難経路等の確認」がともに約43%で最も高い。

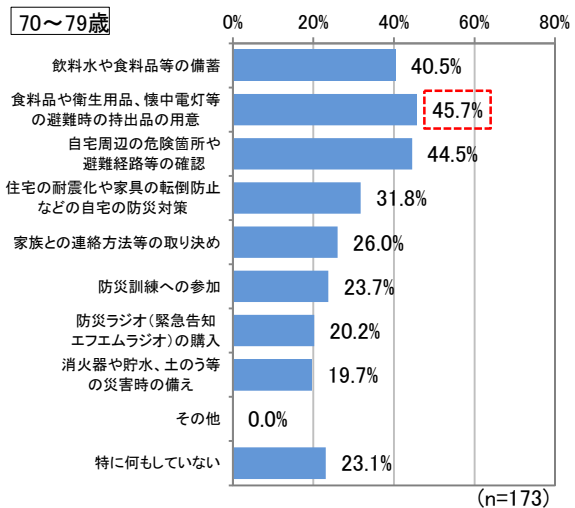
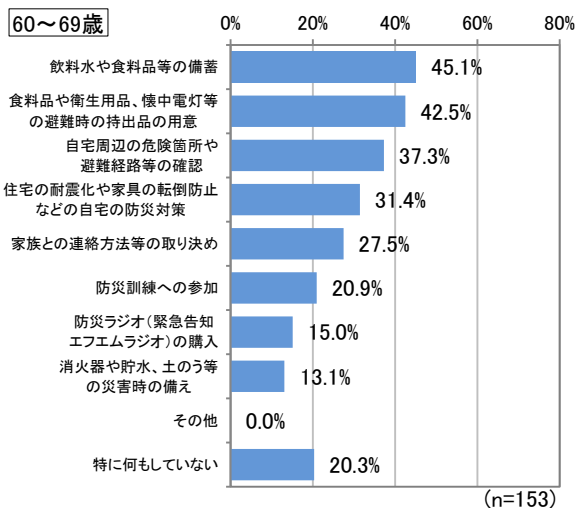
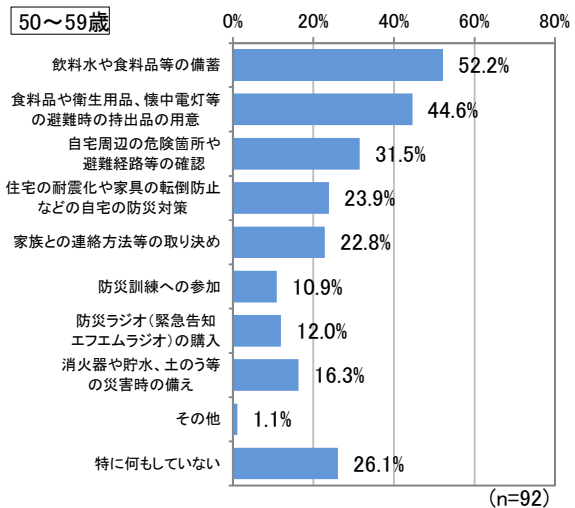
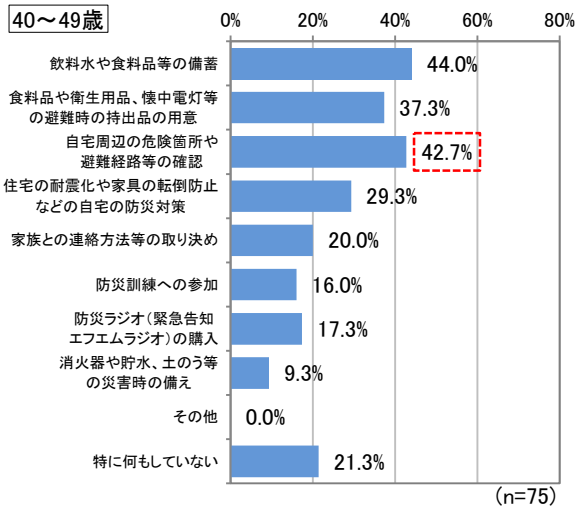
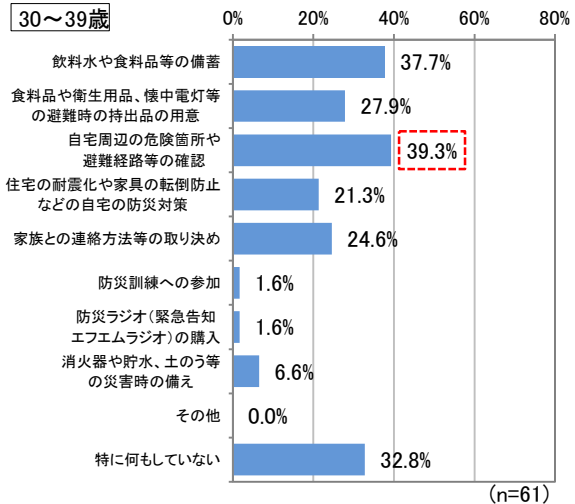
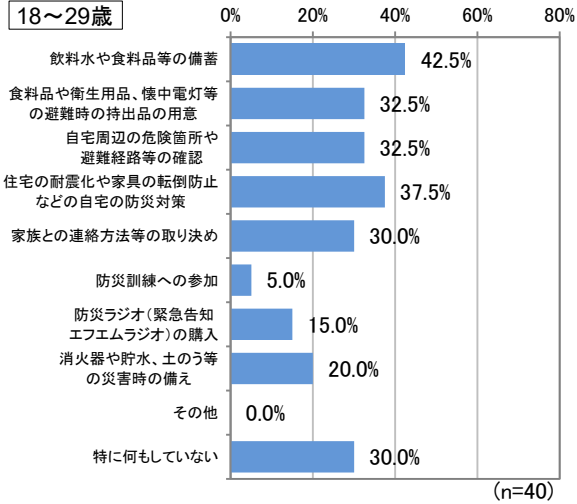


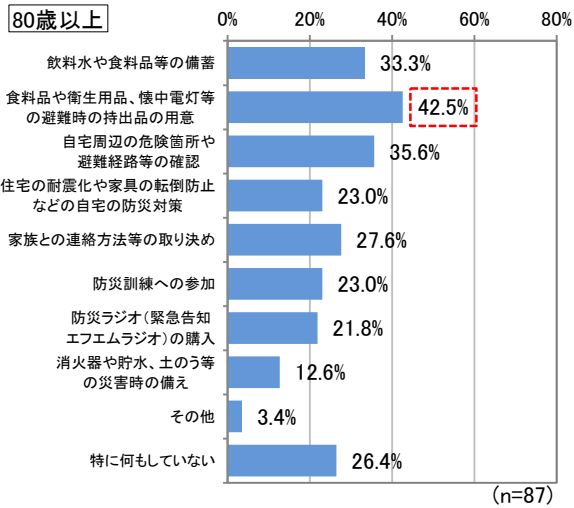
その他
 ・ 保険等の利用または加入
 など

【性別】

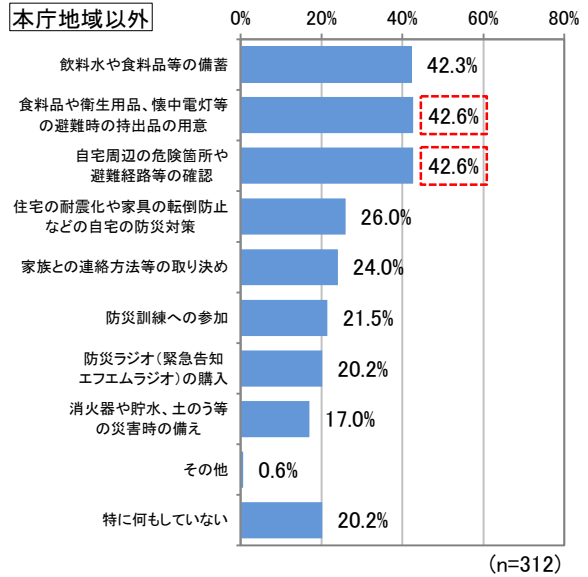
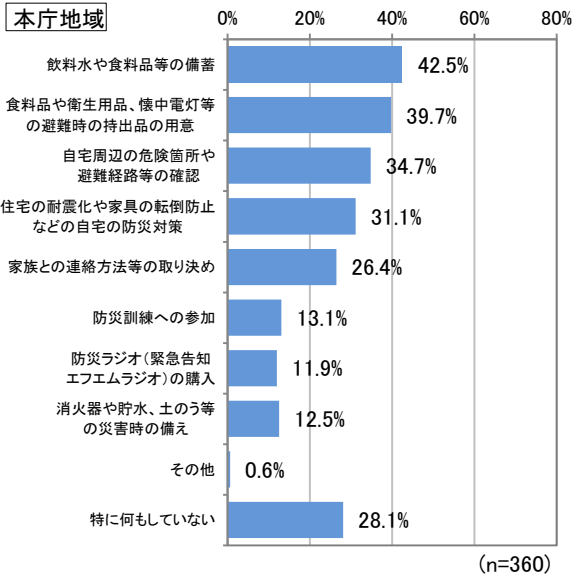


【年齢】



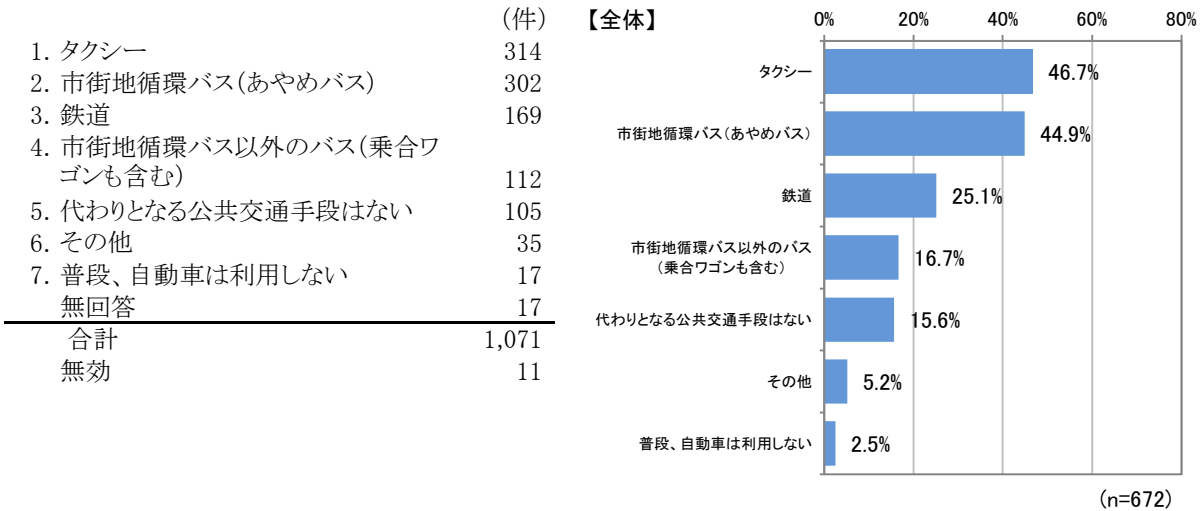


【地区】



問7. 普段の生活で、自動車が利用できなくなった場合、代わりとなる公共交通手段は何ですか。(2つまで選択)

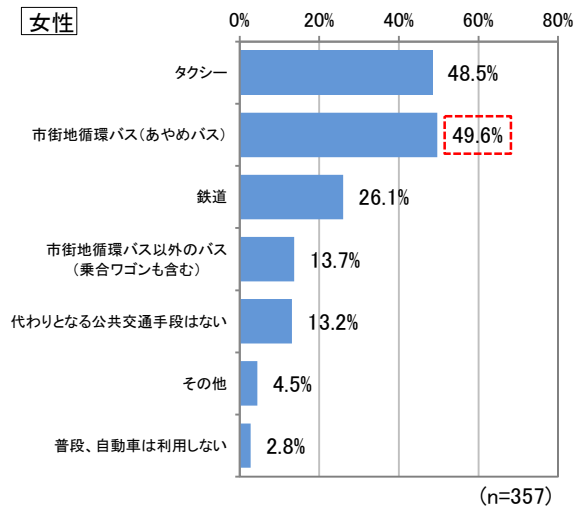
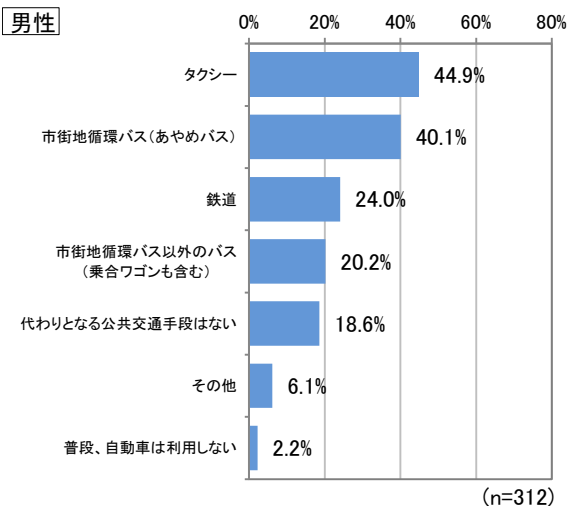
自動車が利用できなくなった場合に代わりとなる公共交通手段について、男女別でみると、女性は「市街地循環バス(あやめバス)」が約50%で最も高い。
 年齢別でみると、10~30・50・60代は「市街地循環バス(あやめバス)」の割合が最も高い。また、70代以上は「タクシー」の割合が全体と比べて高い。
 地区別でみると、本庁地域は「市街地循環バス(あやめバス)」が約58%で最も高い。また、本庁地域以外は「市街地循環バス以外のバス」と「代わりとなる公共交通手段はない」の割合が全体と比べて高い。



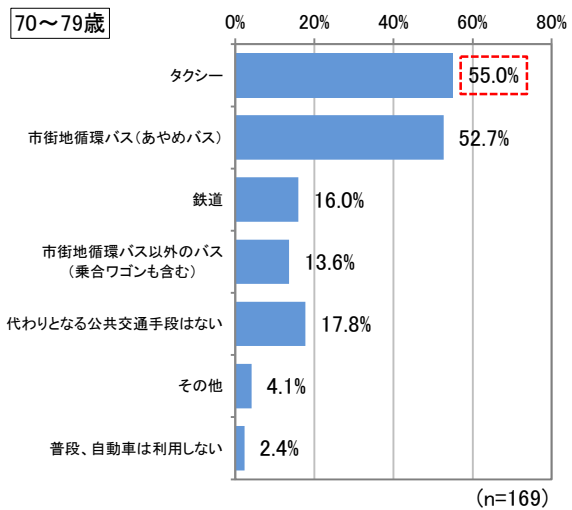
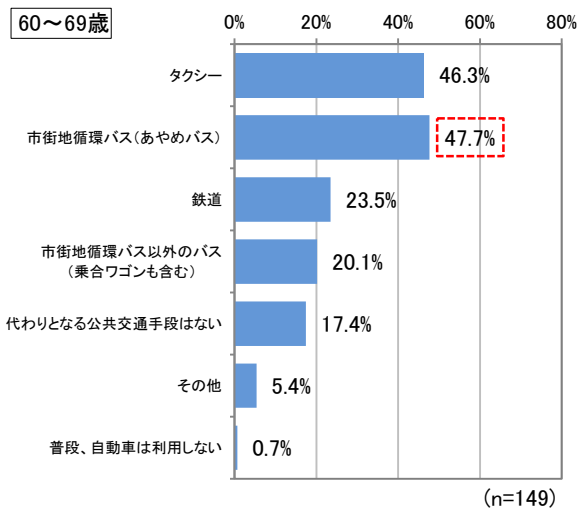
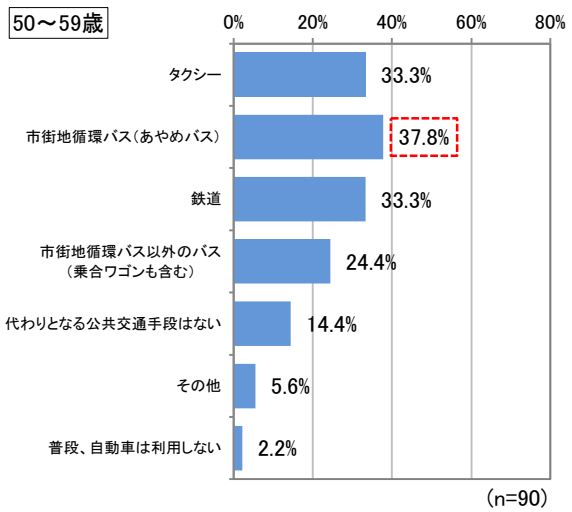
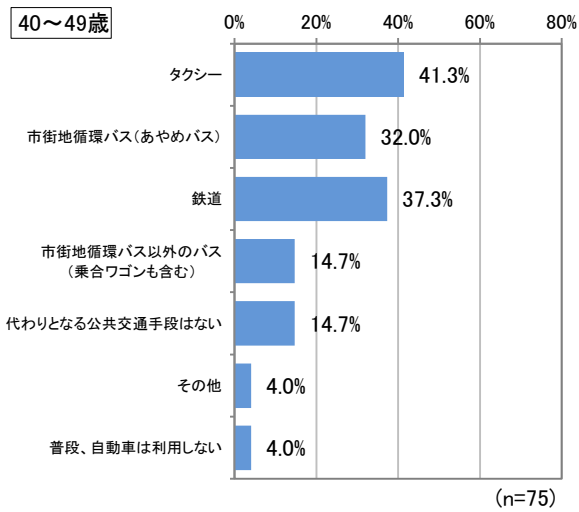
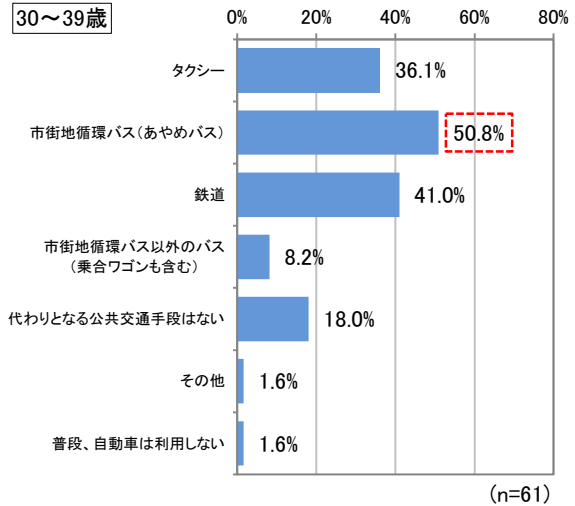
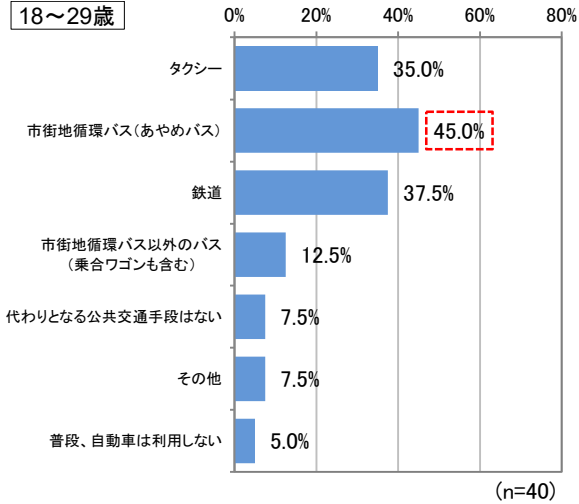
その他

- ・ 自転車(20)
- ・ 徒歩(5)
- ・ 家族の送迎(9)
- など

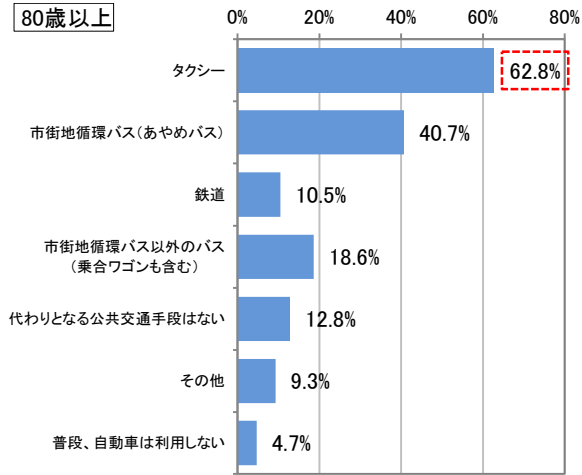
【性別】



【年齢】



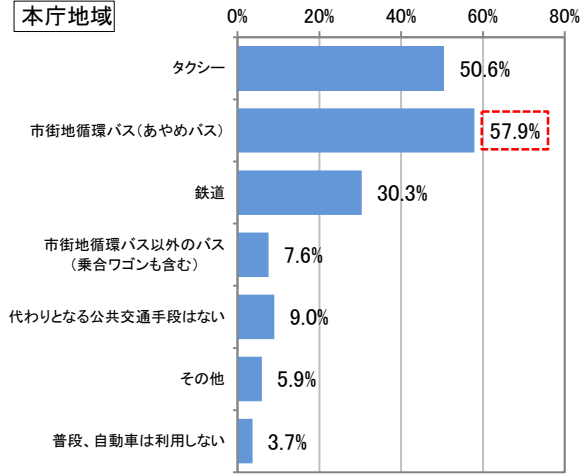
80歳以上



(n=86)

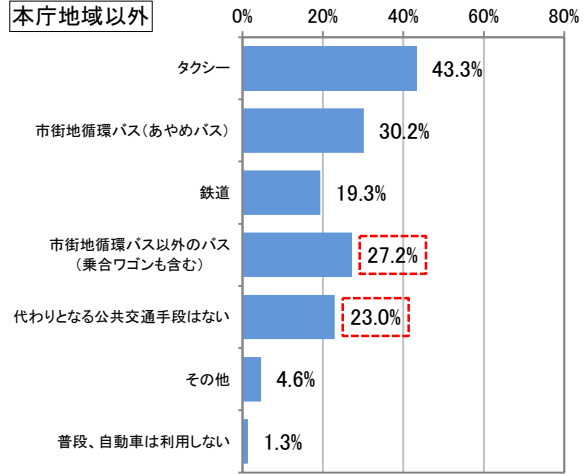
【地区】

本庁地域



(n=356)

本庁地域以外

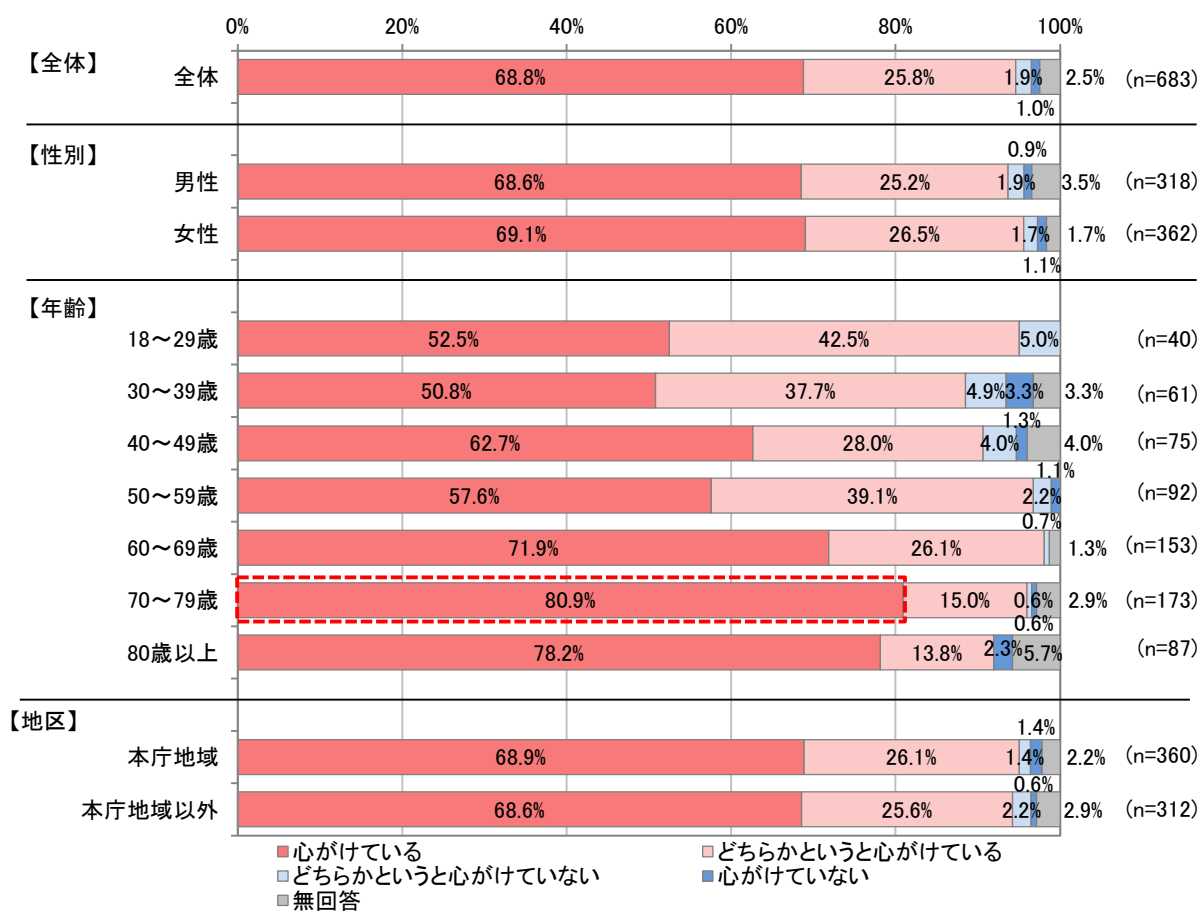


(n=305)

問8. 普段の生活で、ごみの分別などのリサイクルを心がけていますか。

ごみの分別などのリサイクルについて、年齢別で見ると、70代は「心がけている」が約81%で全体と比べて高い。
 男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 心がけている	470
2. どちらかという心がけている	176
3. どちらかという心がけていない	13
4. 心がけていない	7
無回答	17
合計	683

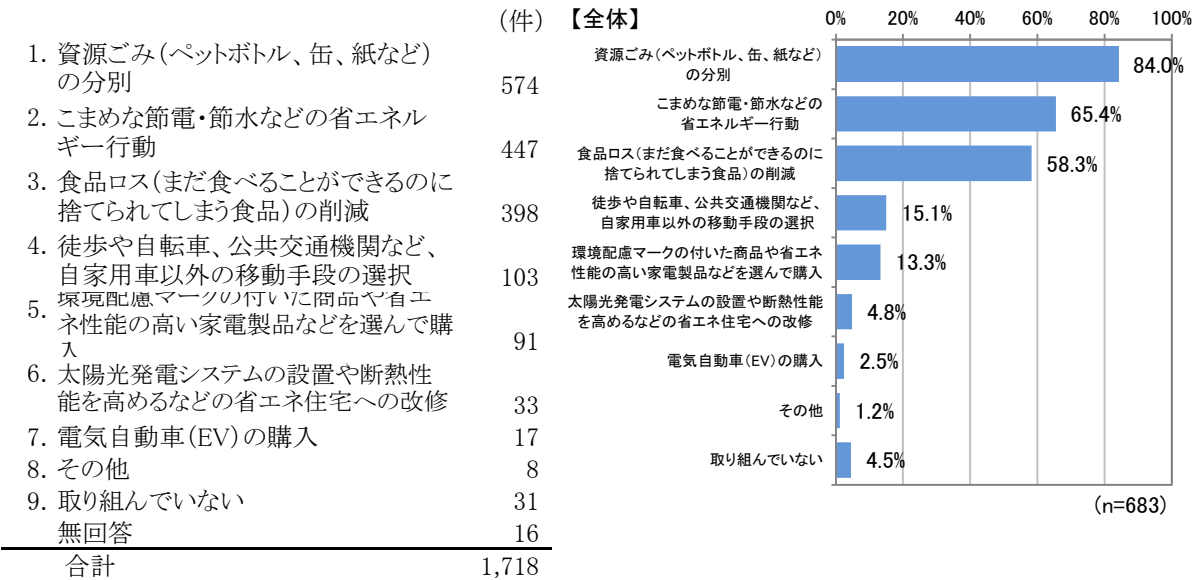


問9. 温室効果ガスの排出抑制をはじめとした脱炭素社会の実現に向けて、取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべて選択)

脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいることについて、年齢別でみると、10～40代は「資源ごみの分別」に次いで、「食品ロスの削減」の割合が高い。

地区別でみると、本庁地域は「徒歩や自転車、公共交通機関など、自家用車以外の移動手段の選択」が約20%で全体と比べて高い。

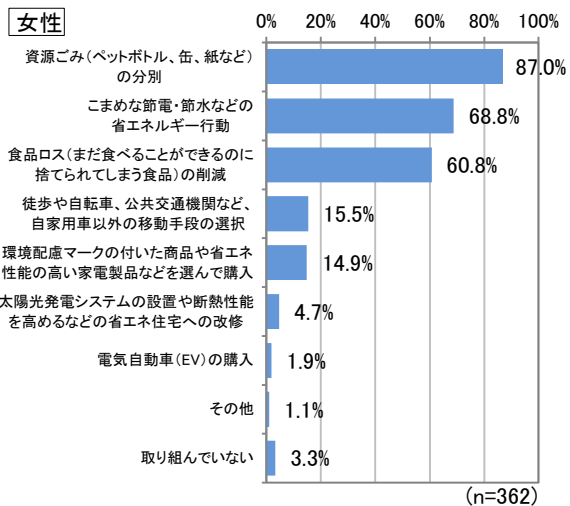
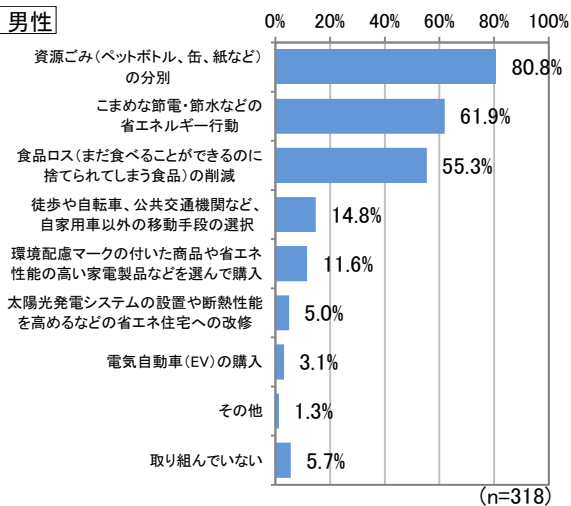
男女別では、全体と比べて目立った違いはみられない。



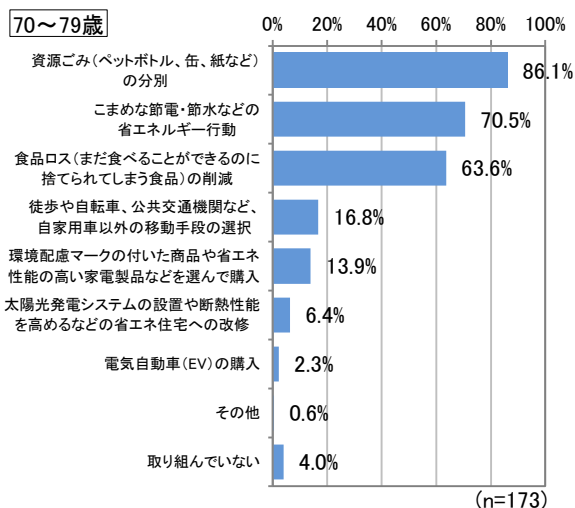
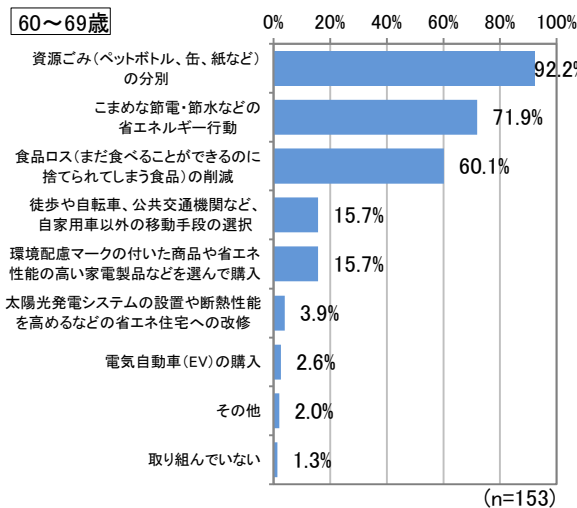
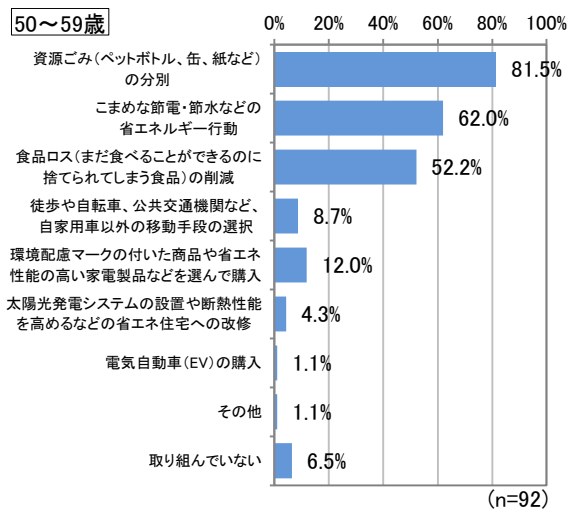
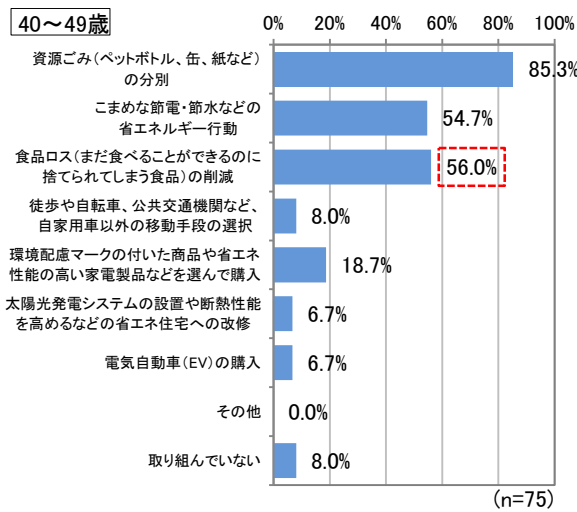
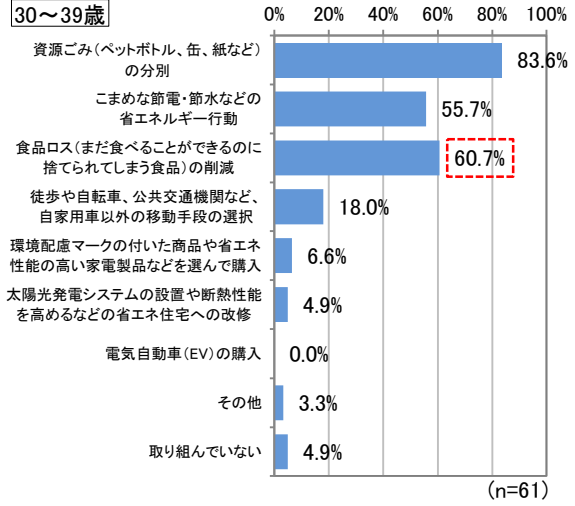
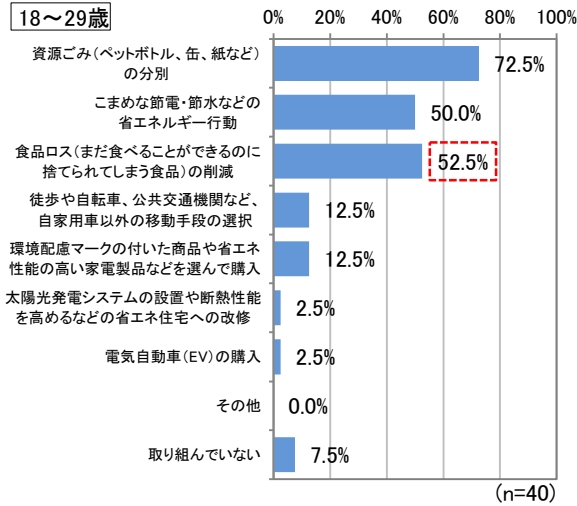
その他

- ・ 生ごみの肥料化
- ・ 植木や植物の拡充
- ・ 焚き火はしない
- など

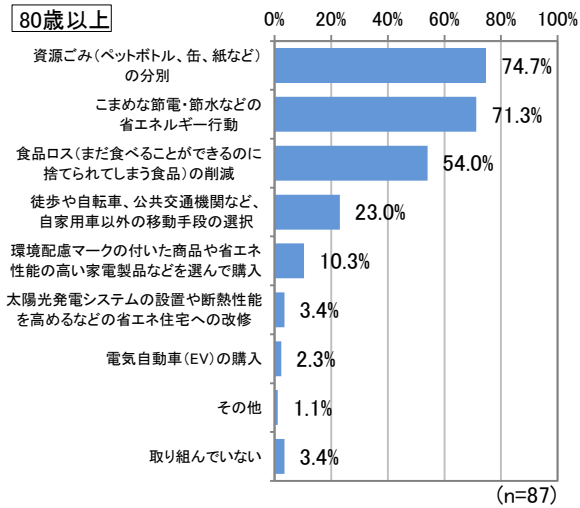
【性別】



【年齢】

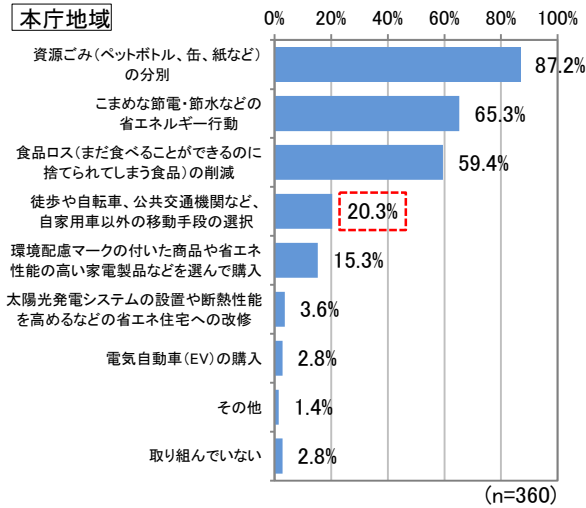


80歳以上

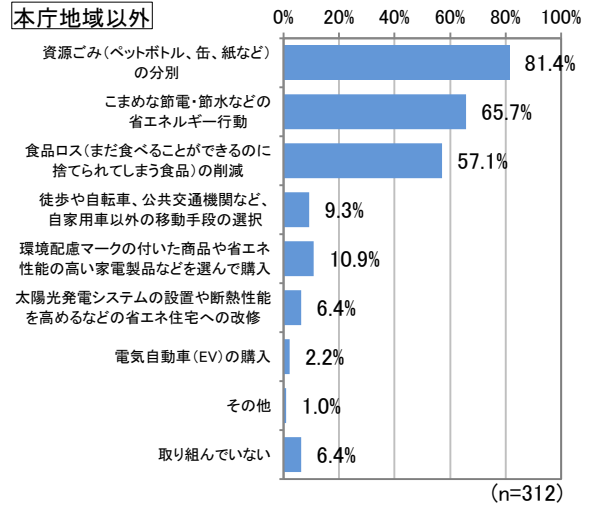


【地区】

本庁地域



本庁地域以外



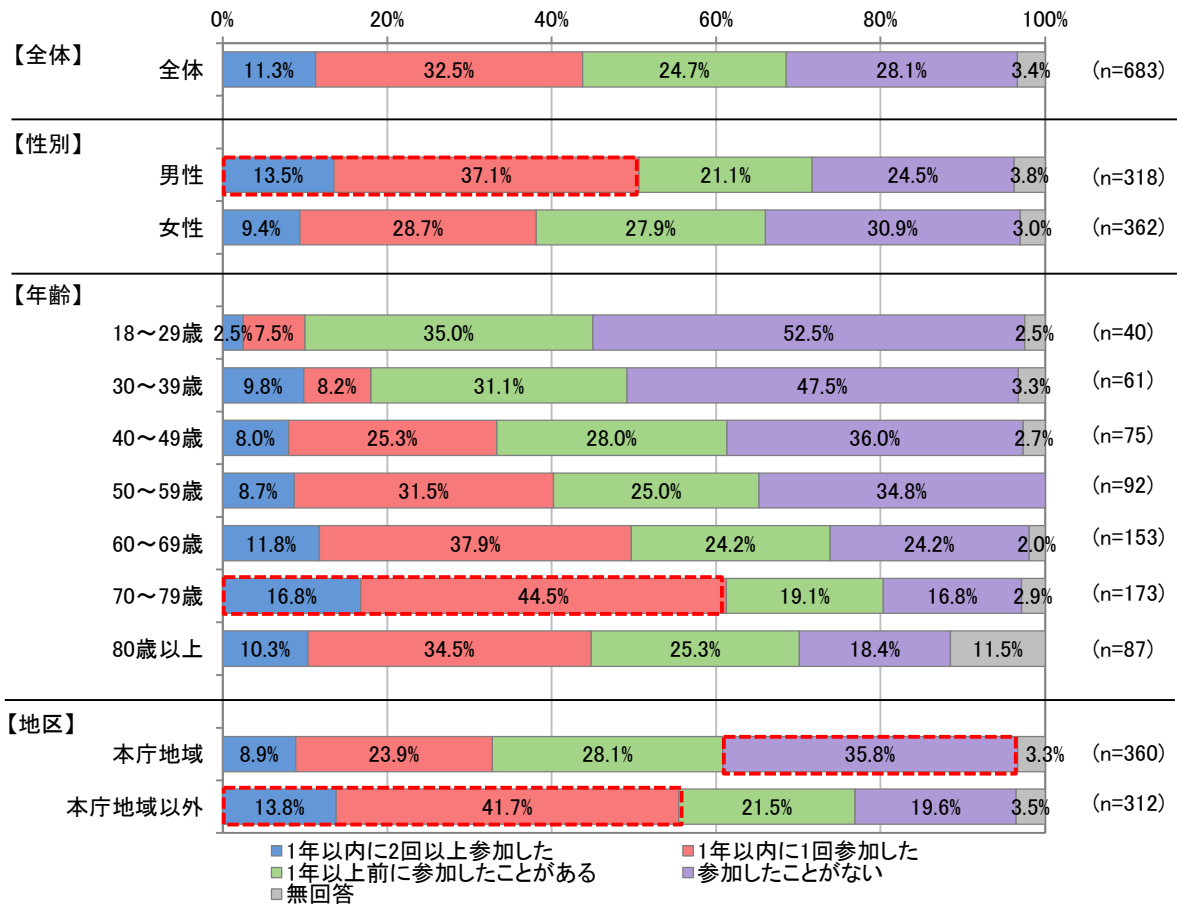
問10. これまでに、地域の清掃活動（クリーン作戦）などの環境美化活動に参加したことがありますか。

環境美化活動への参加状況について、男女別で見ると、男性は「1年以内に2回以上参加した」と「1年以内に1回参加した」を合わせて約51%であり、全体と比べて高い。

年齢別で見ると、70代は「1年以内に2回以上参加した」と「1年以内に1回参加した」を合わせて約61%であり、全体と比べて高い。

地区別で見ると、本庁地域は「参加したことがない」が約36%、本庁地域以外は「1年以内に2回以上参加した」と「1年以内に1回参加した」を合わせて約56%でそれぞれ全体と比べて高い。

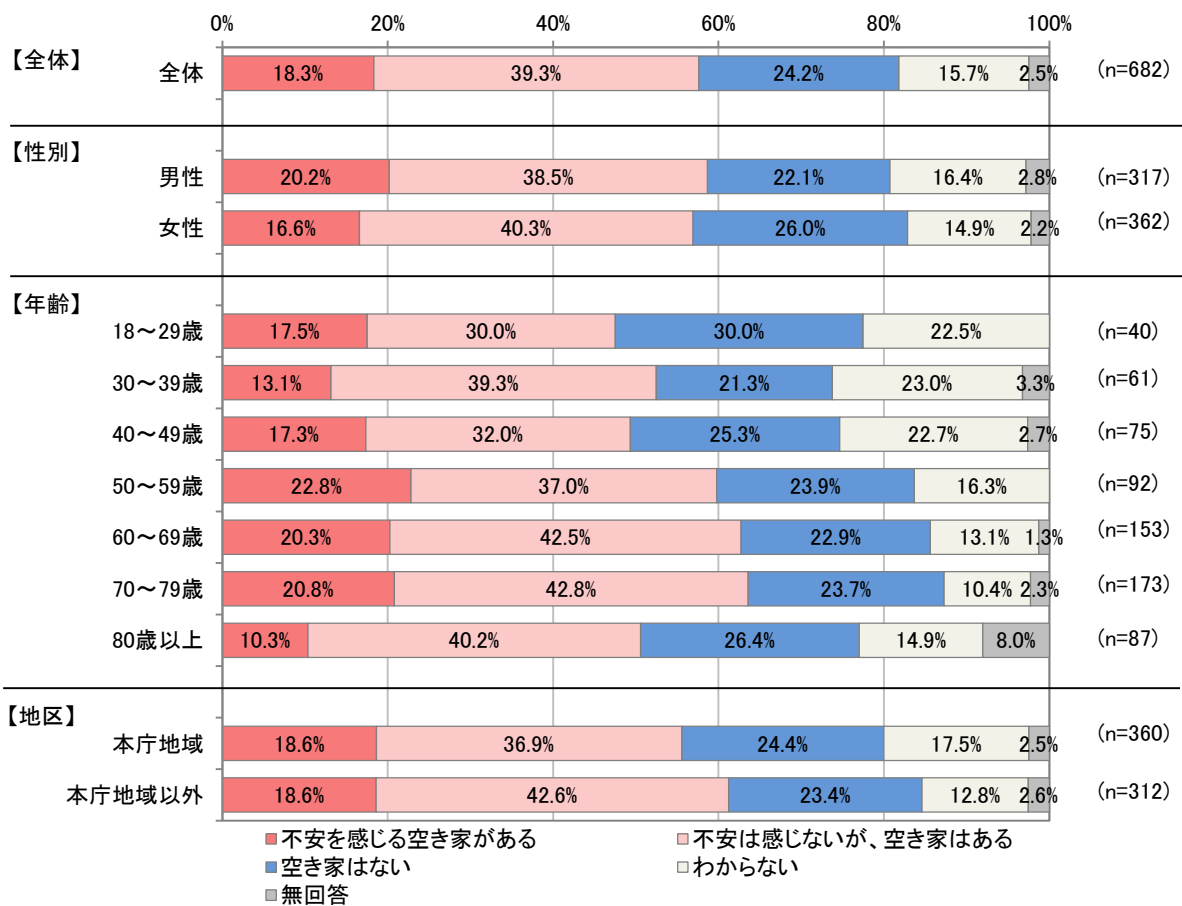
	(件)
1. 1年以内に2回以上参加した	77
2. 1年以内に1回参加した	222
3. 1年以上前に参加したことがある	169
4. 参加したことがない	192
無回答	23
合計	683



問11. 本市では、倒壊の恐れや衛生上有害となる恐れがあるなど、適切な管理がされていない空き家の対策に取り組んでいます。自宅の近隣で、空き家がありますか。

自宅の近隣の空き家の有無について、男女別、年齢別、地区別はいずれも、全体と比べて目立った違いはみられない。

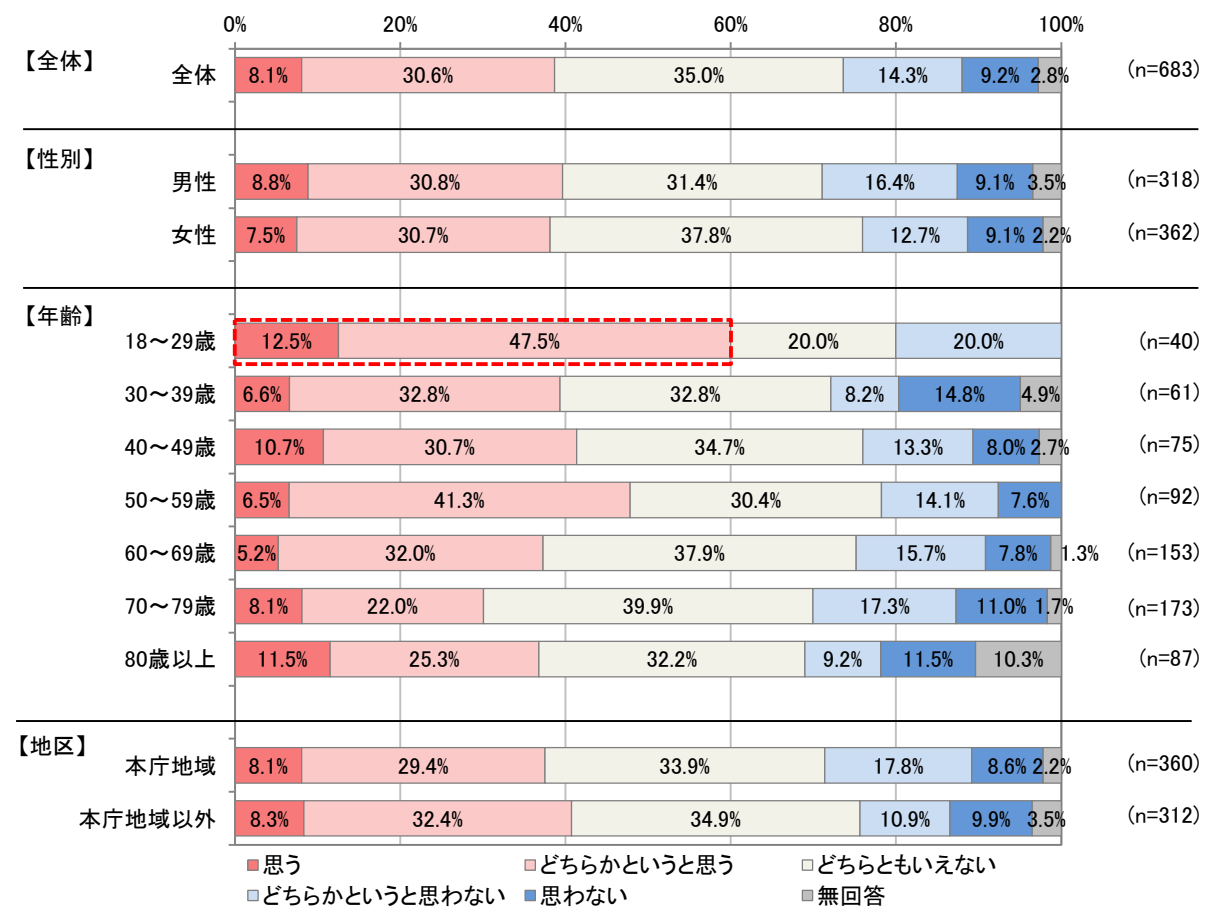
	(件)
1. 不安を感じる空き家がある	125
2. 不安は感じないが、空き家はある	268
3. 空き家はない	165
4. わからない	107
無回答	17
合計	682
無効	1



問12. 市内の歴史的な街並みや建造物、自然景観が保全され、魅力的な景観が形成されていると思いますか。

市内の魅力的な景観について、年齢別でみると、10・20代は「思う」と「どちらかというと思う」を合わせて約60%であり、全体と比べて高い。
男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 思う	55
2. どちらかというと思う	209
3. どちらともいえない	239
4. どちらかというと思わない	98
5. 思わない	63
無回答	19
合計	683



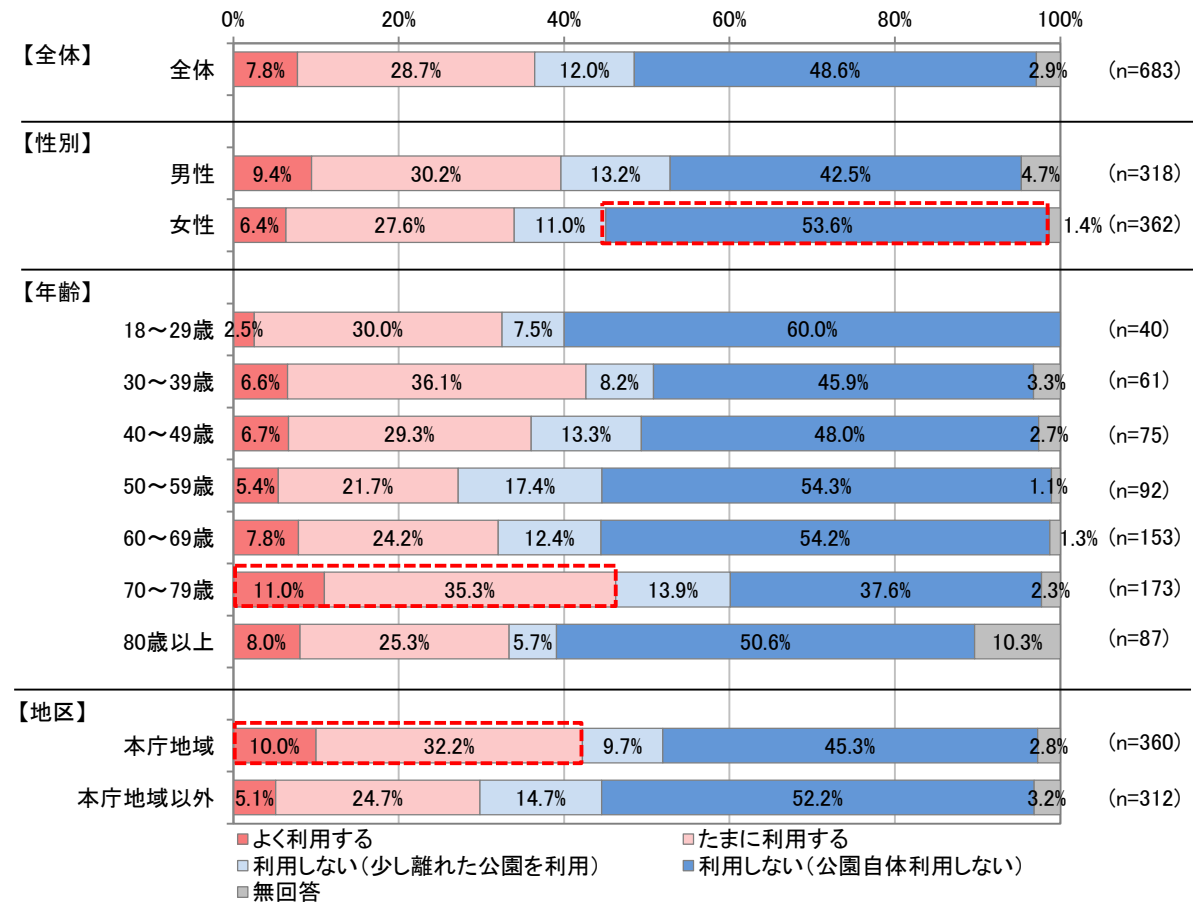
問13. 普段の生活で、徒歩や自転車で行ける身近な公園を利用しますか。

身近な公園の利用状況について、男女別で見ると女性は「公園自体利用しない」が約54%で全体と比べて高い。

年齢別で見ると、70代は「よく利用する」と「たまに利用する」を合わせて約47%であり、全体と比べて高い。

地区別で見ると、本庁地域は「よく利用する」と「たまに利用する」を合わせて約42%であり、全体と比べて高い。

	(件)
1. よく利用する	53
2. たまに利用する	196
3. 利用しない(少し離れた公園を利用)	82
4. 利用しない(公園自体利用しない)	332
無回答	20
合計	683



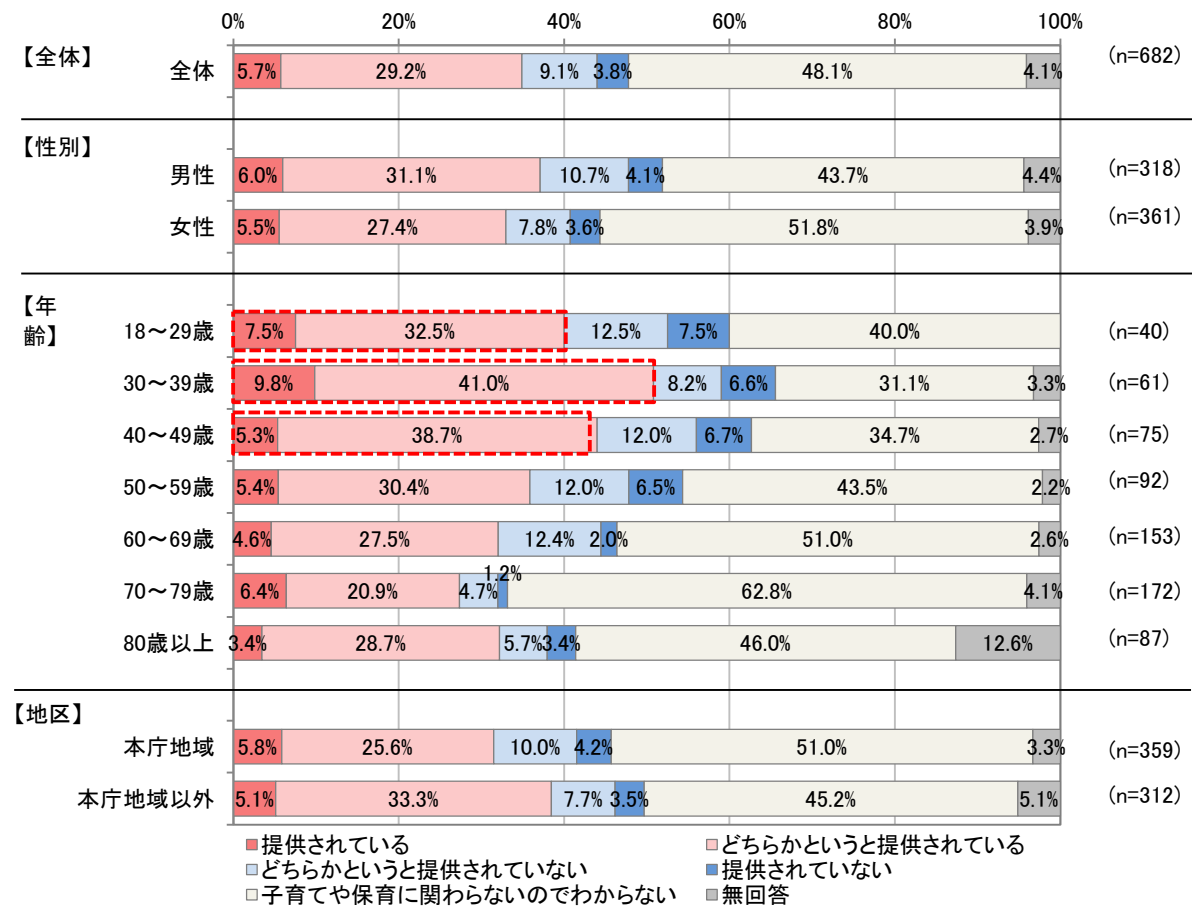
(2) 「健康・医療・福祉」について

問14. 子育てや保育などの多様なニーズに応じたサービスが提供されていると思いますか。

多様なニーズに応じた子育てサービスの提供について、年齢別でみると、子育て世代である10～40代はそれぞれ「わからない」を除いた回答の6割以上が「提供されている」または「どちらかという提供されている」と回答している。

男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

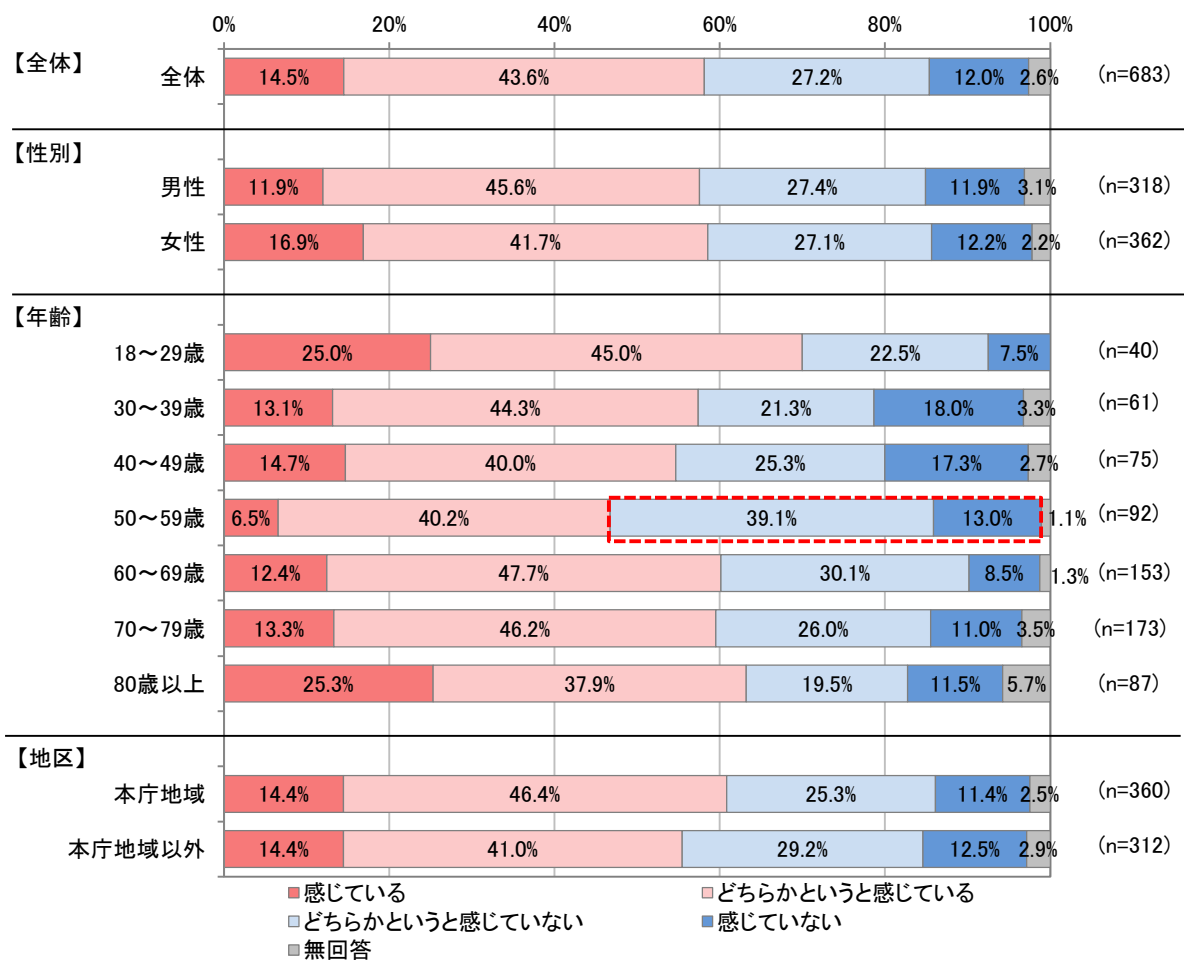
	(件)
1. 提供されている	39
2. どちらかという提供されている	199
3. どちらかという提供されていない	62
4. 提供されていない	26
5. 子育てや保育に関わらないのでわからない	328
無回答	28
合計	682
無効	1



問15. 普段の生活で、自分自身がいきいきと暮らしていると感じていますか。

普段の生活でいきいきと暮らしていると感じるかについて、年齢別でみると、50代は「どちらかというと感じていない」と「感じている」を合わせて約52%であり、全体と比べて高い。
男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

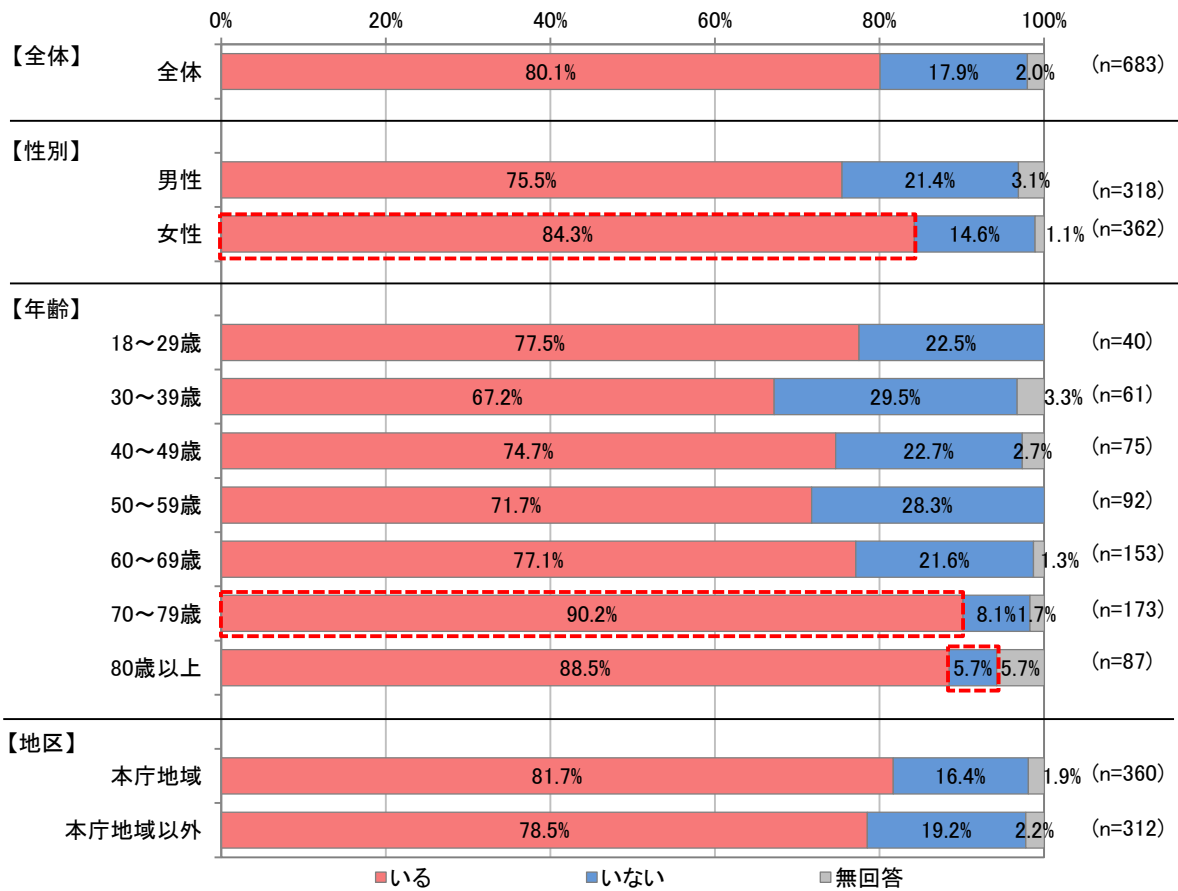
	(件)
1. 感じている	99
2. どちらかというと感じている	298
3. どちらかというと感じていない	186
4. 感じていない	82
無回答	18
合計	683



問16. かかりつけのお医者さんがいますか。

かかりつけ医がいるかについて、男女別でみると女性は「いる」が約84%で全体と比べて高い。
 年齢別でみると、70代は「いる」が約90%で全体と比べて高い。また、80歳以上は「いない」が約6%で全体と比べて低い。
 地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

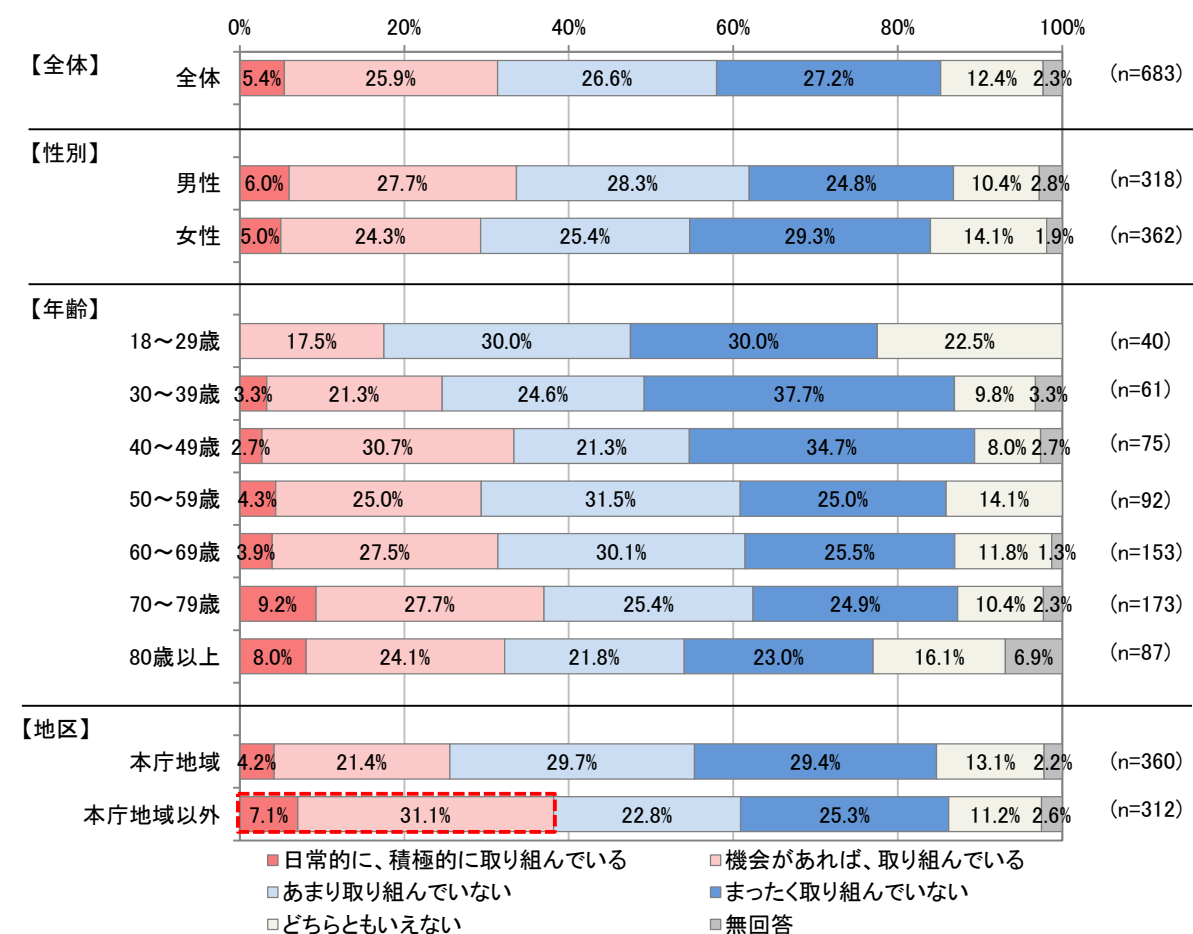
	(件)
1. いる	547
2. いない	122
無回答	14
合計	683



問17. 地域での支え合いや助け合い、協力など地域での福祉活動に取り組んでいますか。

地域の福祉活動の取組状況について、地区別でみると、本庁地域以外は「日常的に、積極的に取り組んでいる」と「機会があれば、取り組んでいる」を合わせて約38%であり、全体と比べて高い。男女別と年齢別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

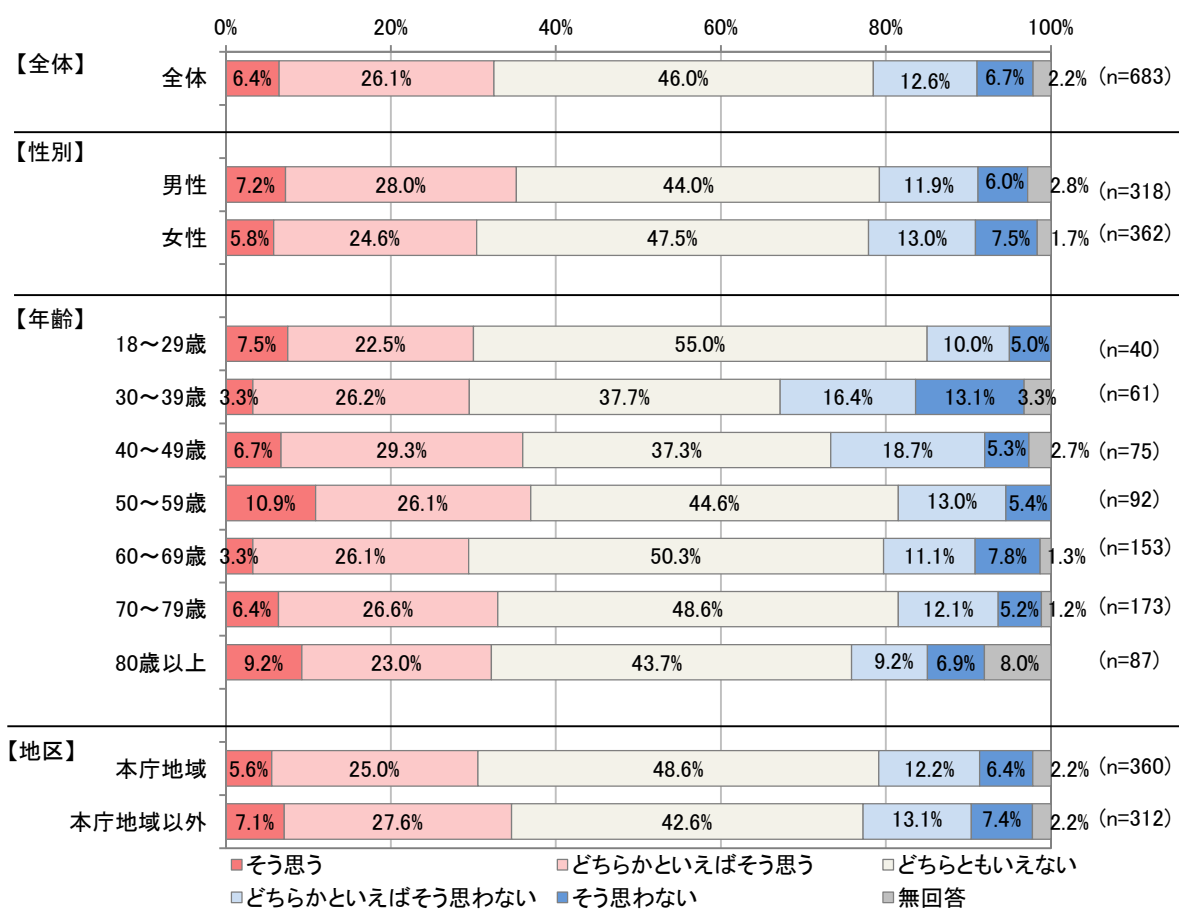
	(件)
1. 日常的に、積極的に取り組んでいる	37
2. 機会があれば、取り組んでいる	177
3. あまり取り組んでいない	182
4. まったく取り組んでいない	186
5. どちらともいえない	85
無回答	16
合計	683



問18. 障がいのある方もない方も共に認め合い、安心して暮らせるまちだと思いますか。

障がいのある方も安心して暮らせるまちについて、男女別、年齢別、地区別はいずれも、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. そう思う	44
2. どちらかといえばそう思う	178
3. どちらともいえない	314
4. どちらかといえばそう思わない	86
5. そう思わない	46
無回答	15
合計	683



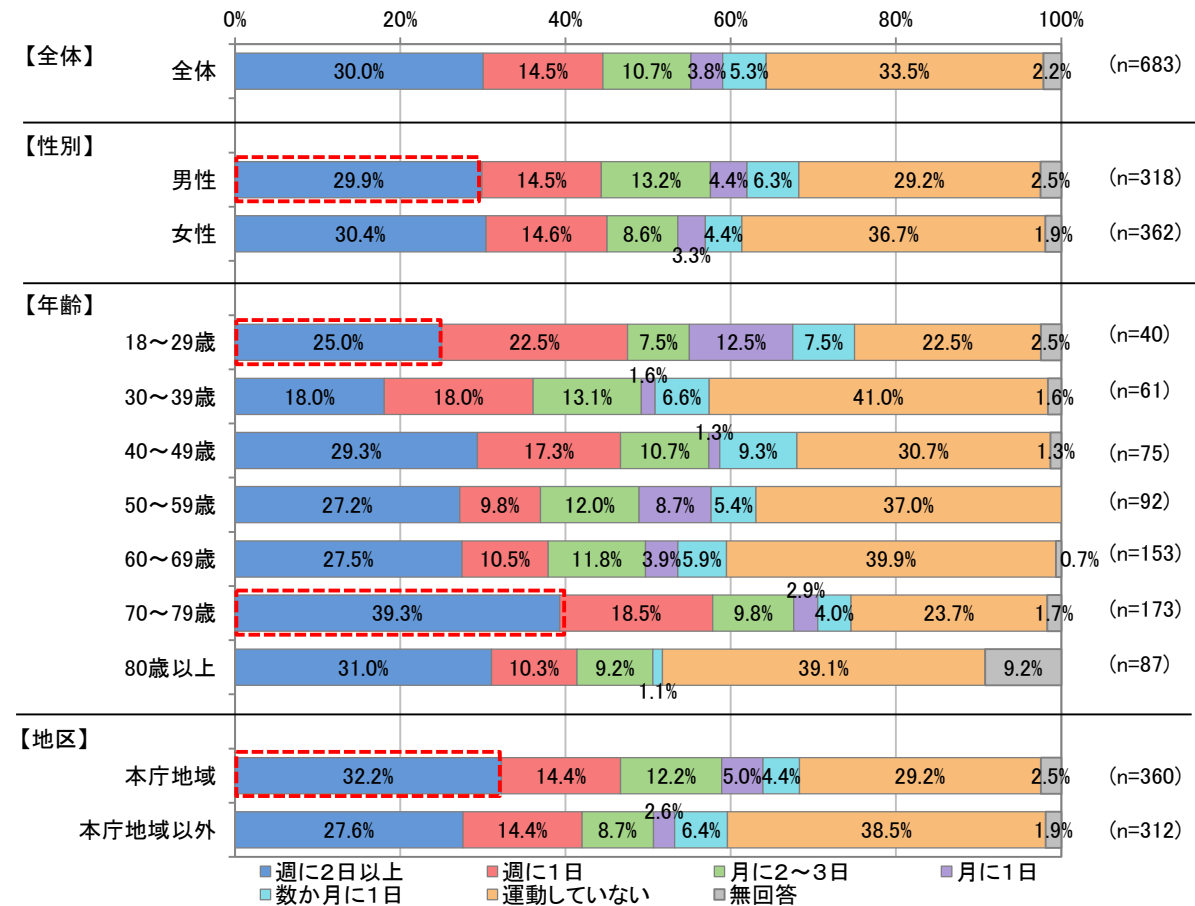
問19. この1年間にスポーツや軽スポーツ（ラジオ体操、ウォーキングなど）等の運動をしましたか。

この1年間の運動頻度について、男女別でみると、男性は「週に2日以上」が約30%で最も高く、次いで「運動していない」が約29%となっている。

年齢別でみると、10・20・70代は「週に2日以上」の割合が最も高く、次いで「運動していない」となっている。

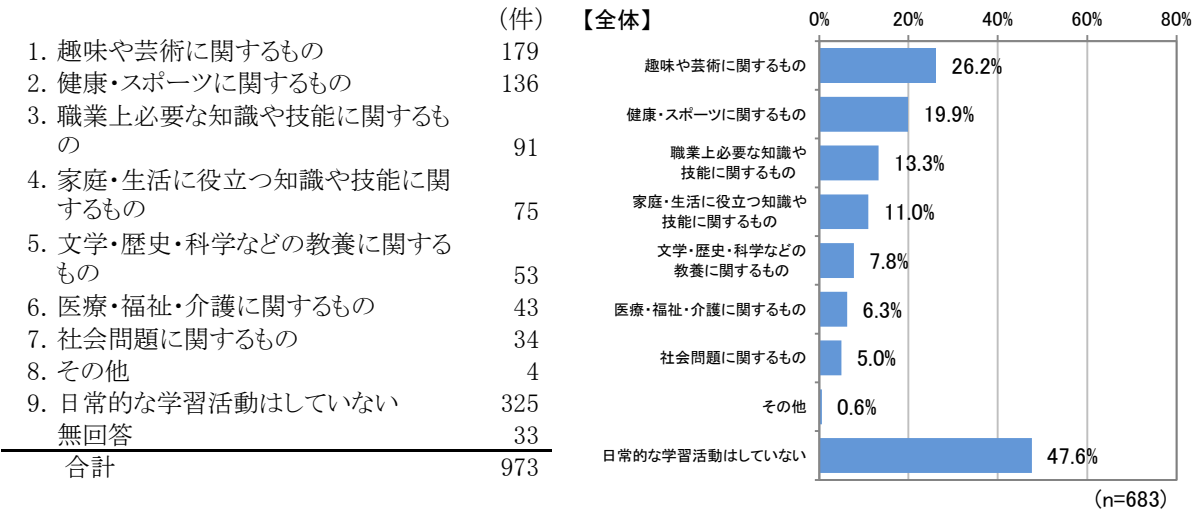
地区別でみると、本庁地域は「週に2日以上」が約32%で最も高く、次いで「運動していない」が約29%となっている。

	(件)
1. 週に2日以上	205
2. 週に1日	99
3. 月に2～3日	73
4. 月に1日	26
5. 数か月に1日	36
6. 運動していない	229
無回答	15
合計	683



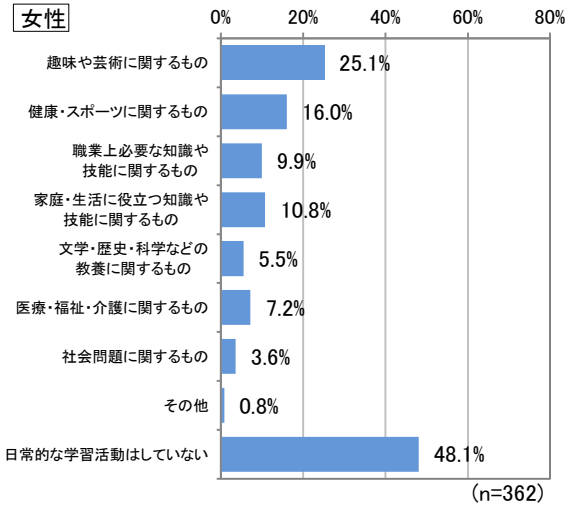
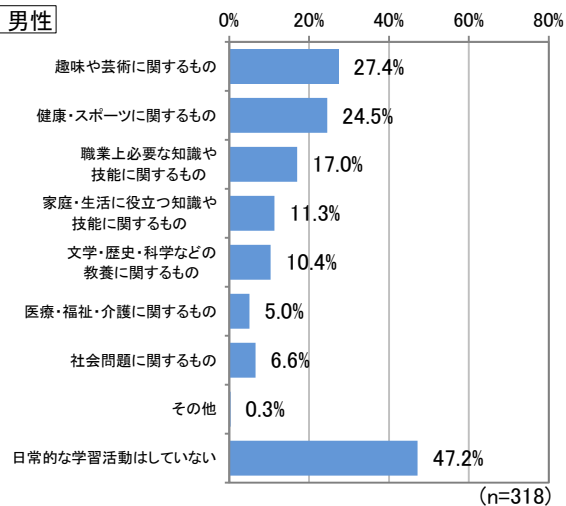
問20. 教育・文化・レクリエーションなどの学習活動（生涯学習）について、普段の生活で行っているものはありますか。（あてはまるものすべて選択）

普段の生活で行っている学習活動について、年齢別で見ると、10～30代は「職業上必要な知識や技能に関するもの」、40代は「健康・スポーツに関するもの」の割合がそれぞれ学習活動をしている方の中で最も高い。また、10・20代は「日常的な学習活動はしていない」が約23%で全体と比べて低い。地区別で見ると、本庁地域以外は「日常的な学習活動はしていない」が約54%で全体と比べて高い。男女別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

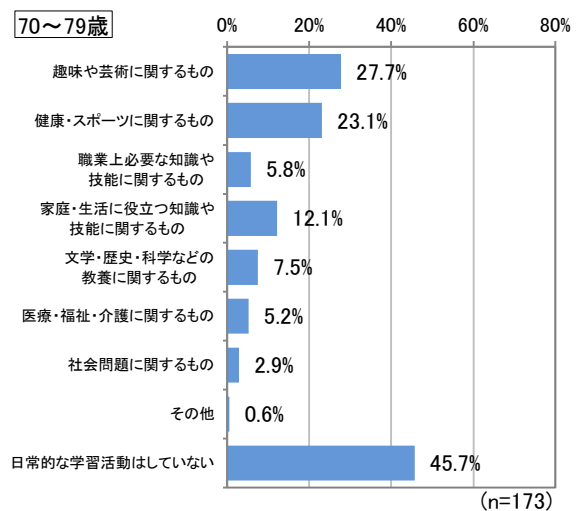
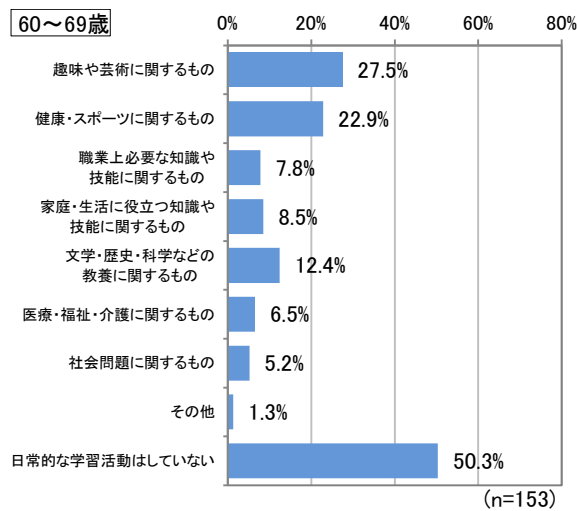
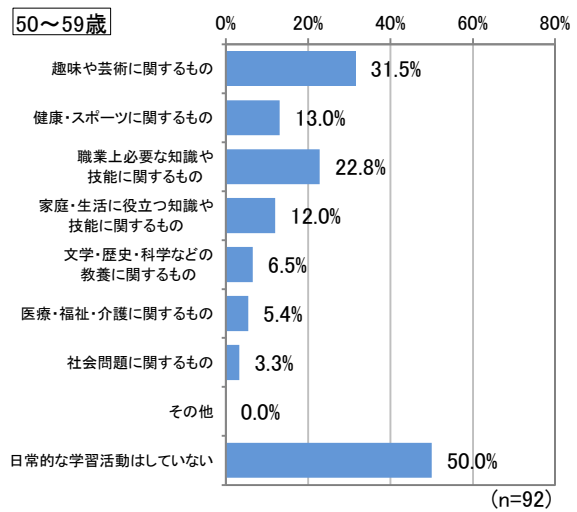
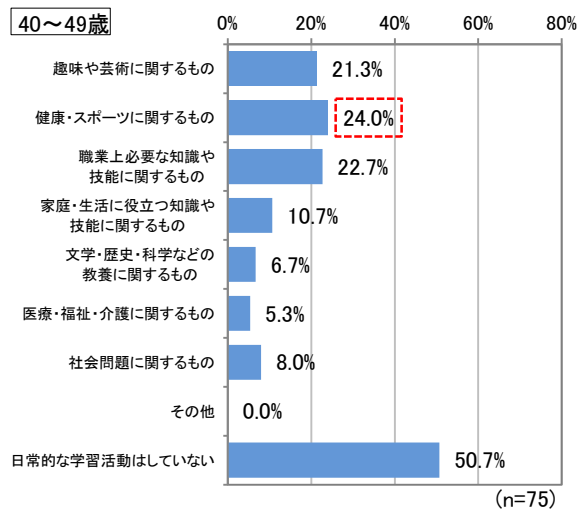
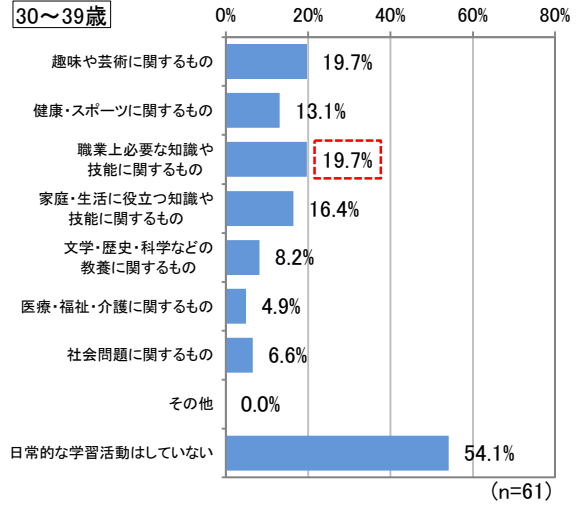
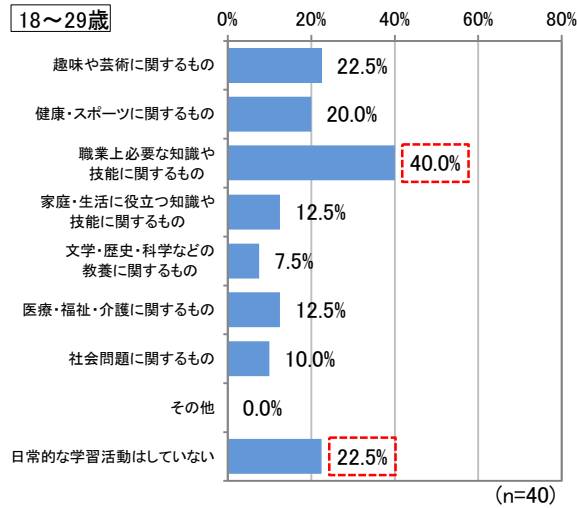


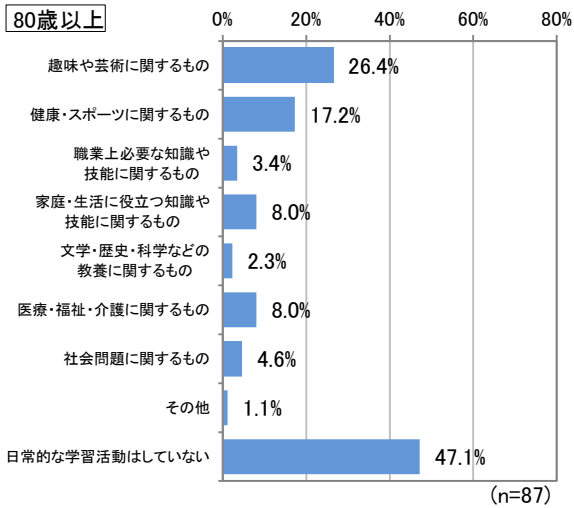
その他
・ サッカー観戦、野菜づくり
など

【性別】

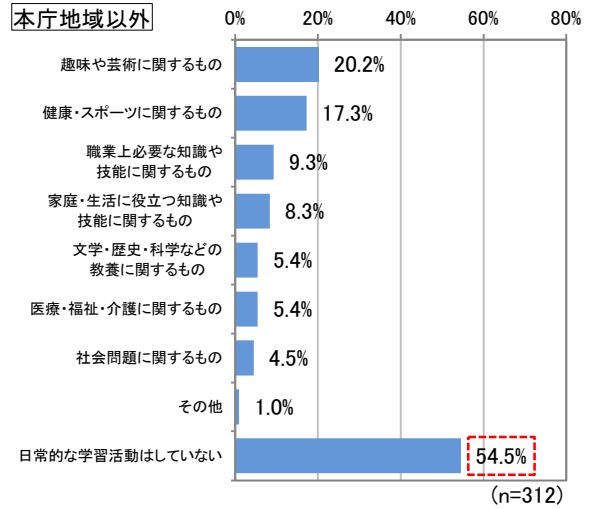
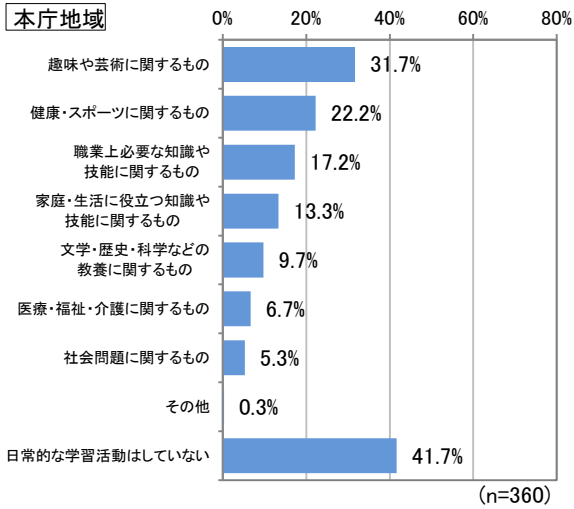


【年齢】





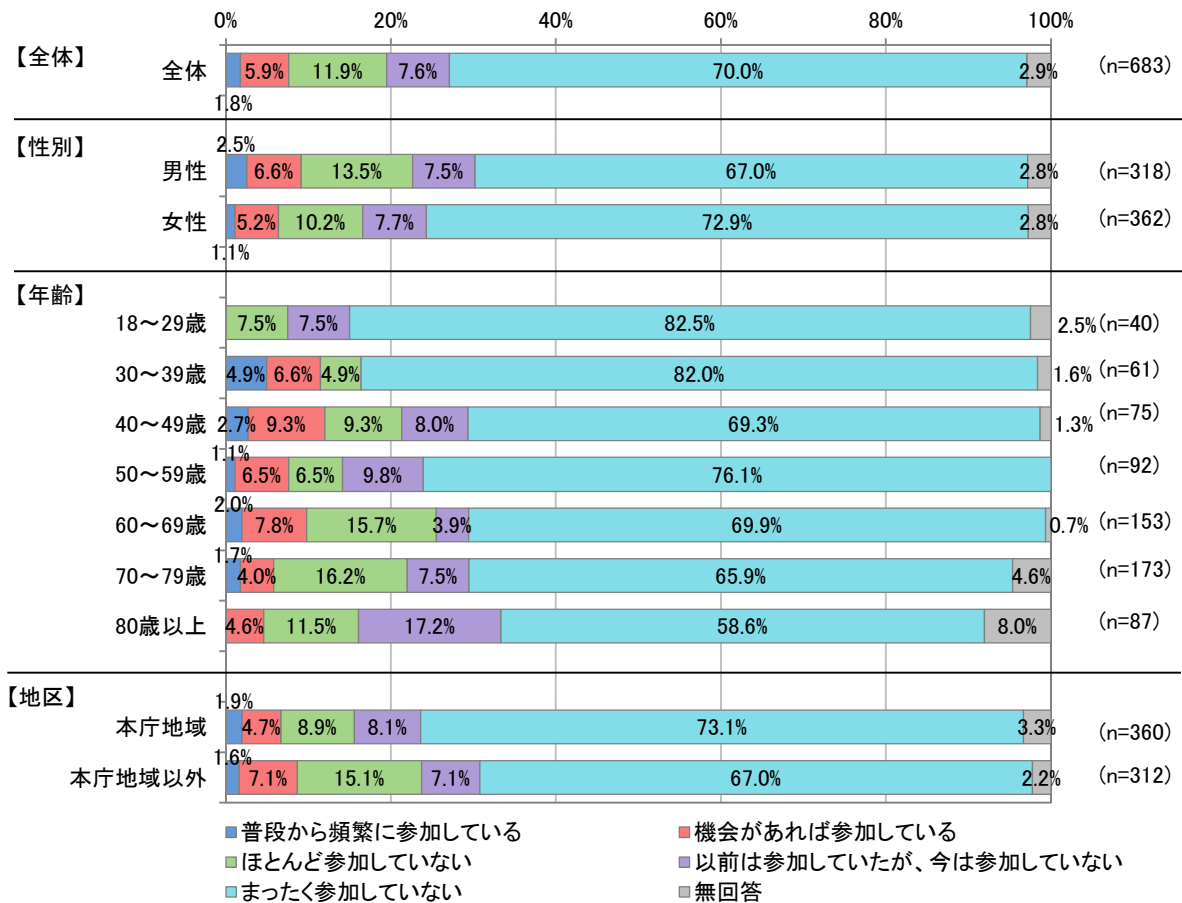
【地区】



問21. 普段の生活で、登下校時の見守りや学習・体験機会の提供など、青少年の育成活動等に参加していますか。

青少年の育成活動の参加状況について、男女別、年齢別、地区別はいずれも、全体と比べて目立った違いはみられない。

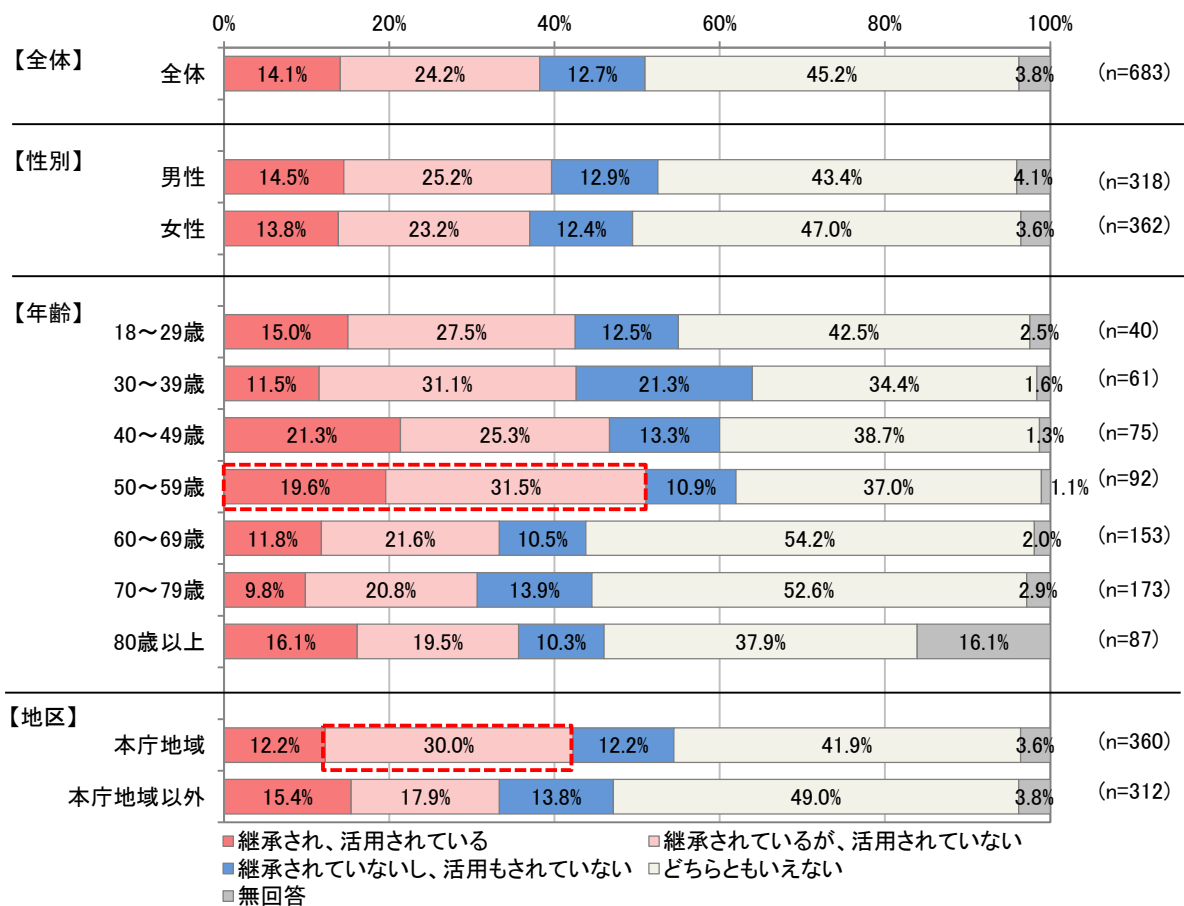
	(件)
1. 普段から頻繁に参加している	12
2. 機会があれば参加している	40
3. ほとんど参加していない	81
4. 以前は参加していたが、今は参加していない	52
5. まったく参加していない	478
無回答	20
合計	683



問22. 地域の歴史や文化が継承され、活用されていると思いますか。

地域の歴史や文化の継承と活用について、年齢別でみると、50代は「継承され、活用されている」と「継承されているが、活用されていない」を合わせて約51%であり、全体と比べて高い。地区別でみると、本庁地域は「継承されているが、活用されていない」が約30%で全体と比べて高い。男女別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 継承され、活用されている	96
2. 継承されているが、活用されていない	165
3. 継承されていないし、活用もされていない	87
4. どちらともいえない	309
無回答	26
合計	683

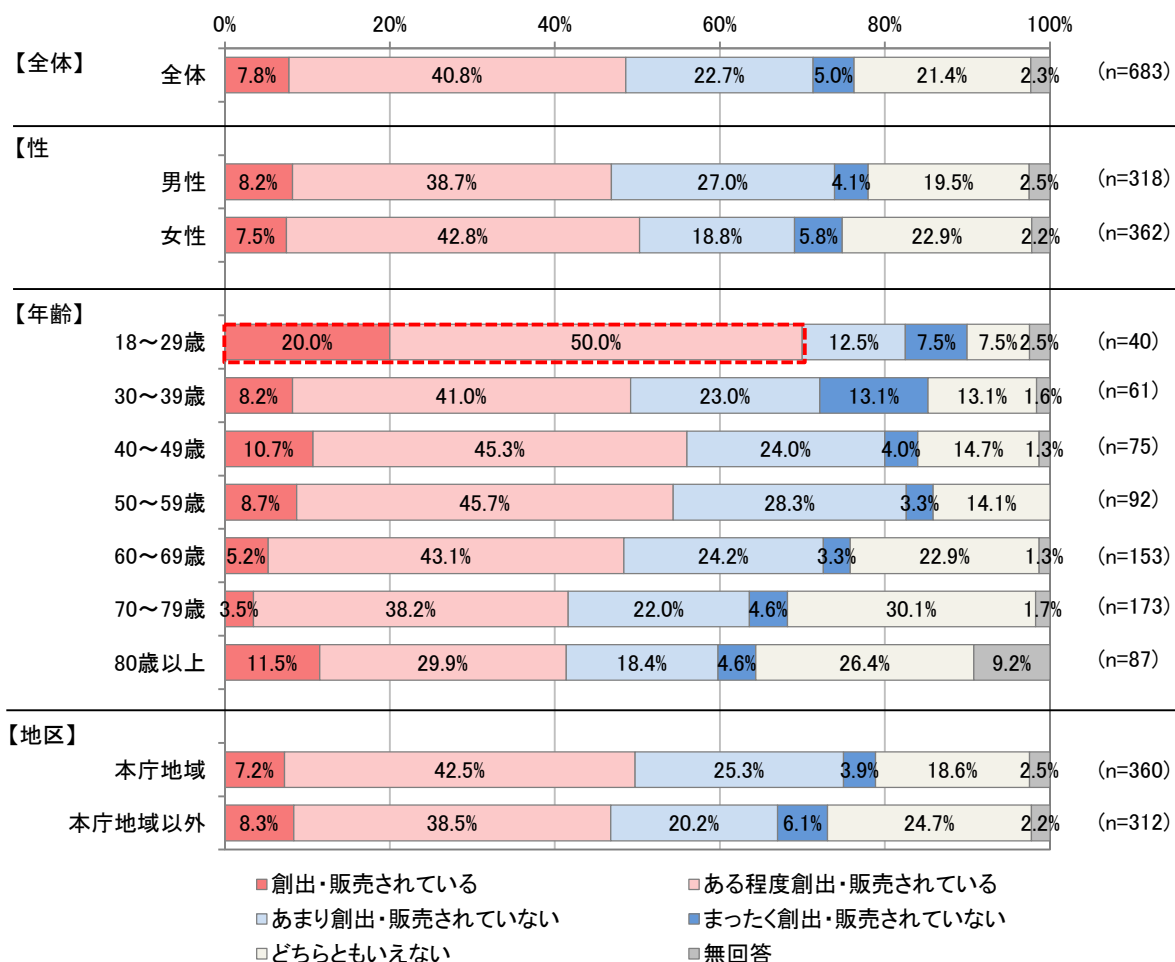


(4) 「産業」について

問23. 新発田の魅力を活かした商品が創出・販売されていると思いますか。

新発田の魅力を活かした商品について、年齢別でみると、10・20代は「創出・販売されている」と「ある程度創出・販売されている」を合わせて約70%であり、全体と比べて高い。男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 創出・販売されている	53
2. ある程度創出・販売されている	279
3. あまり創出・販売されていない	155
4. まったく創出・販売されていない	34
5. どちらともいえない	146
無回答	16
合計	683



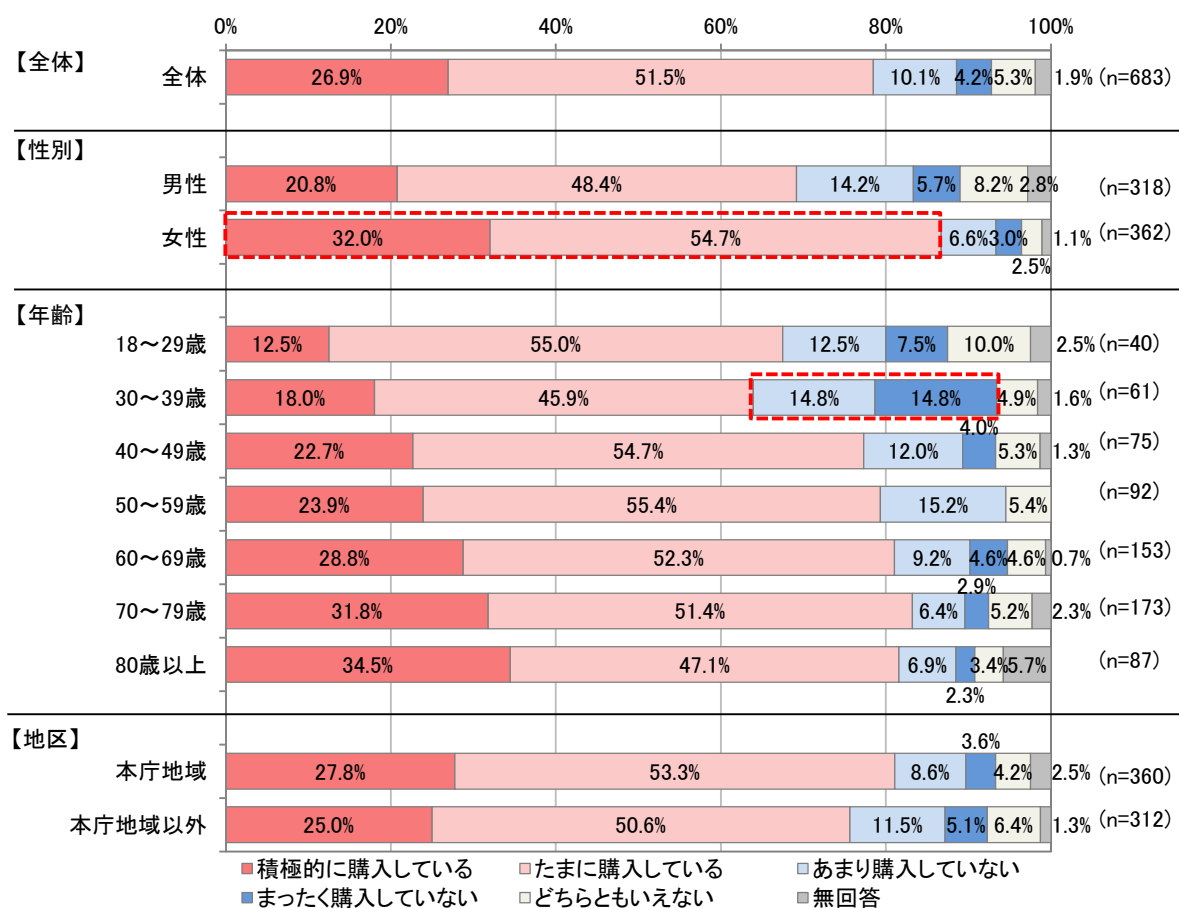
問24. 普段の生活で、地場産の農作物や加工品等を購入していますか。

地場産の農作物や加工品等について、男女別で見ると、女性は「積極的に購入している」と「たまに購入している」を合わせて約87%であり、全体と比べて高い。

年齢別で見ると、30代は「あまり購入していない」と「まったく購入していない」を合わせて約30%であり、全体と比べて高い。

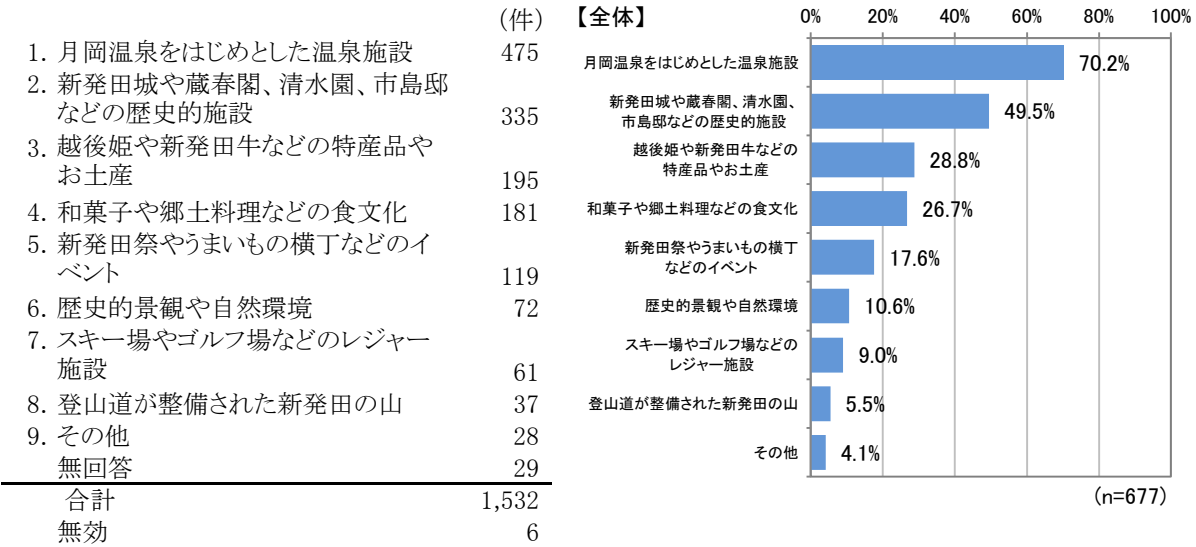
地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 積極的に購入している	184
2. たまに購入している	352
3. あまり購入していない	69
4. まったく購入していない	29
5. どちらともいえない	36
無回答	13
合計	683



問25. 市外の人に自慢できる魅力的な観光資源はありますか。(3つまで選択)

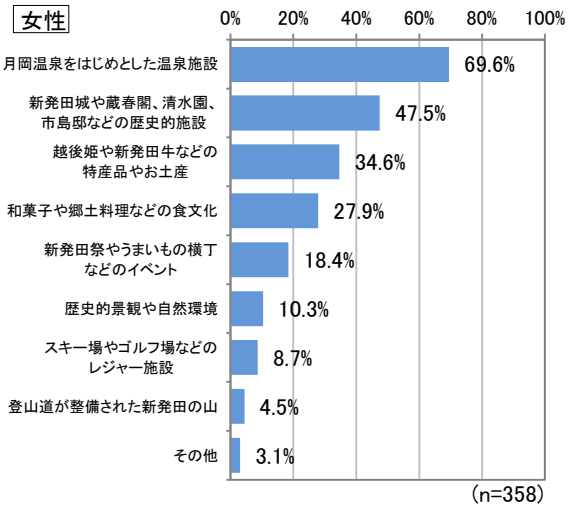
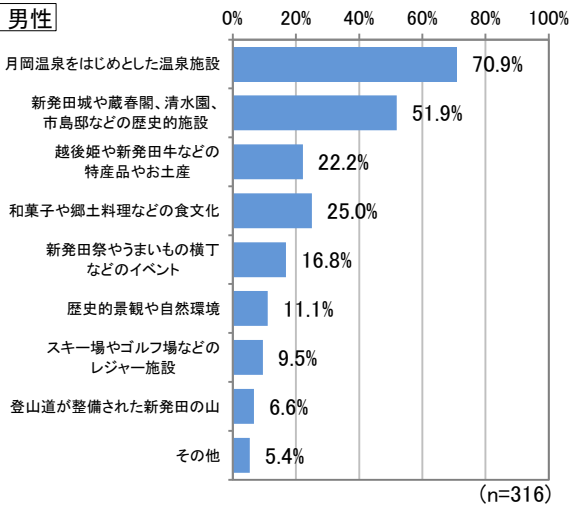
市外の人に自慢できる魅力的な観光資源について、年齢別でみると、30代は「新発田城や蔵春閣、清水園、市島邸などの歴史的施設」が約30%で全体と比べて低く、60・70代は「新発田城や蔵春閣、清水園、市島邸などの歴史的施設」が全体と比べて割合が高い。
男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。



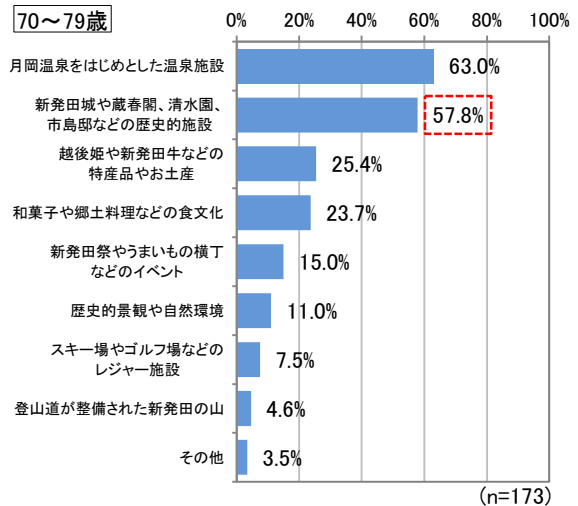
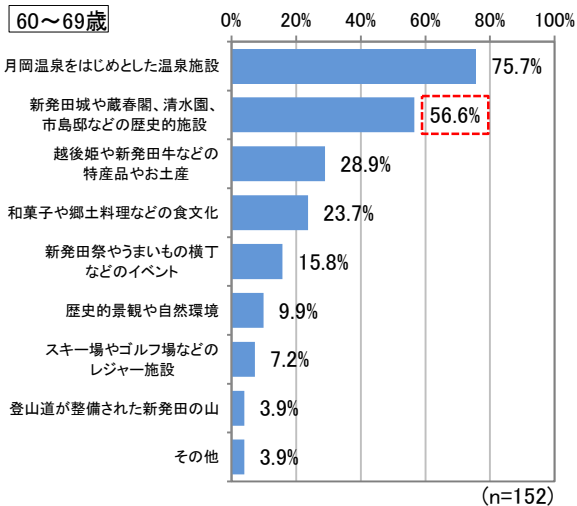
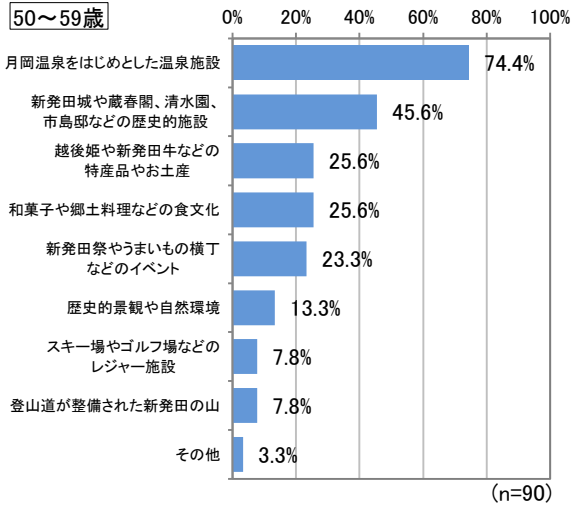
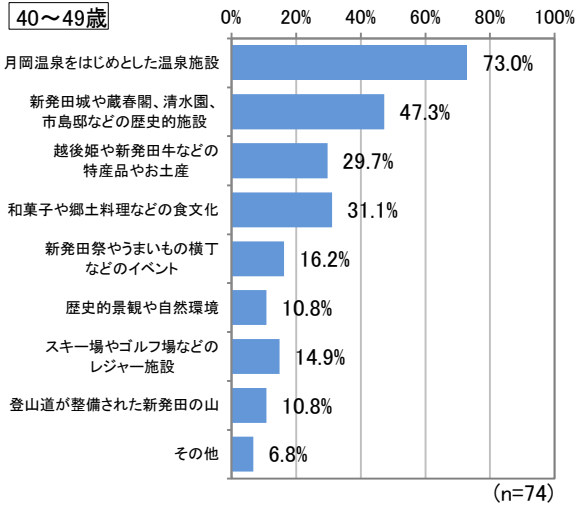
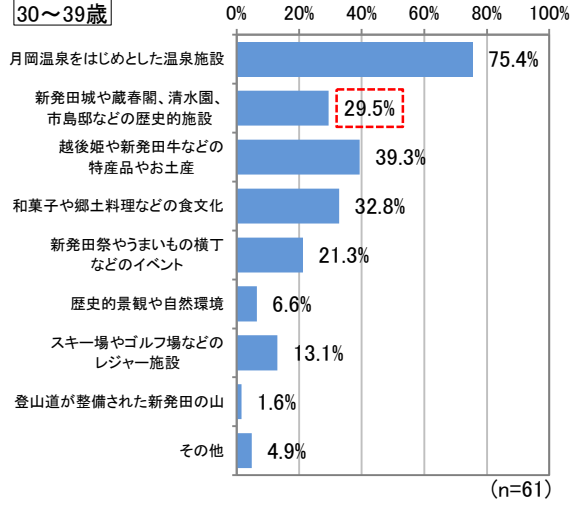
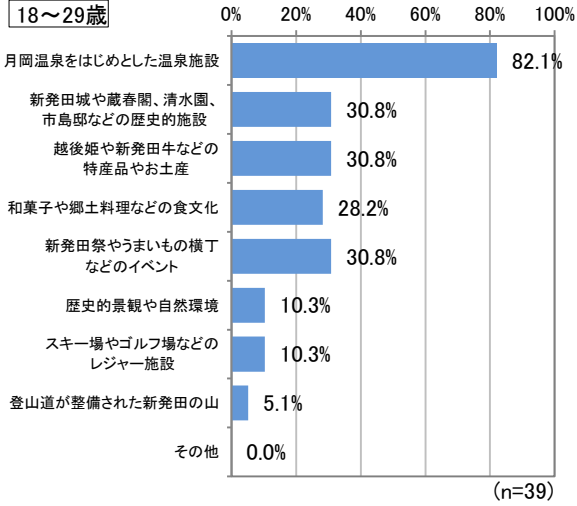
その他

- ・ 加治川の天然プール
- ・ 郊外の山・川等ドライブコース
- ・ 五十公野公園のあやめ園
- ・ イオンモール新発田店等
- ・ なし(22)

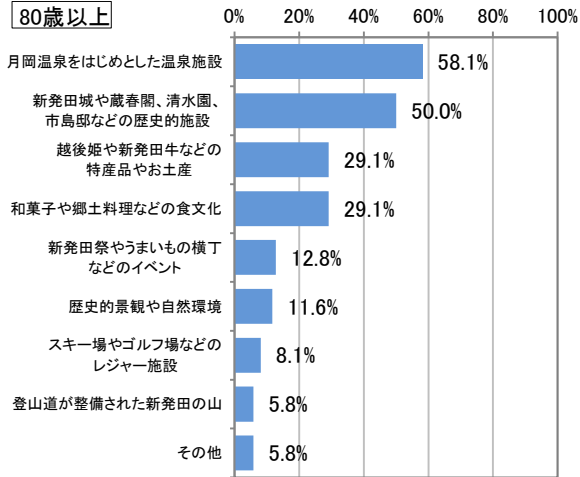
【性別】



【年齢】



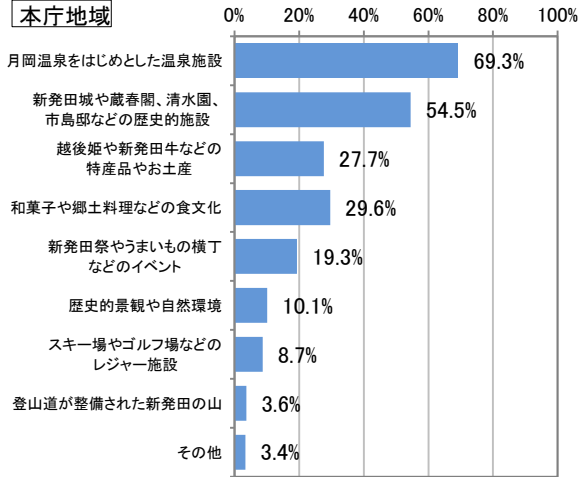
80歳以上



(n=86)

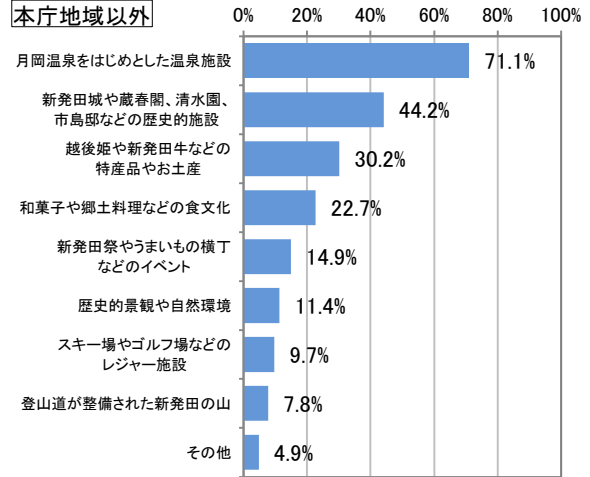
【地区】

本庁地域



(n=358)

本庁地域以外

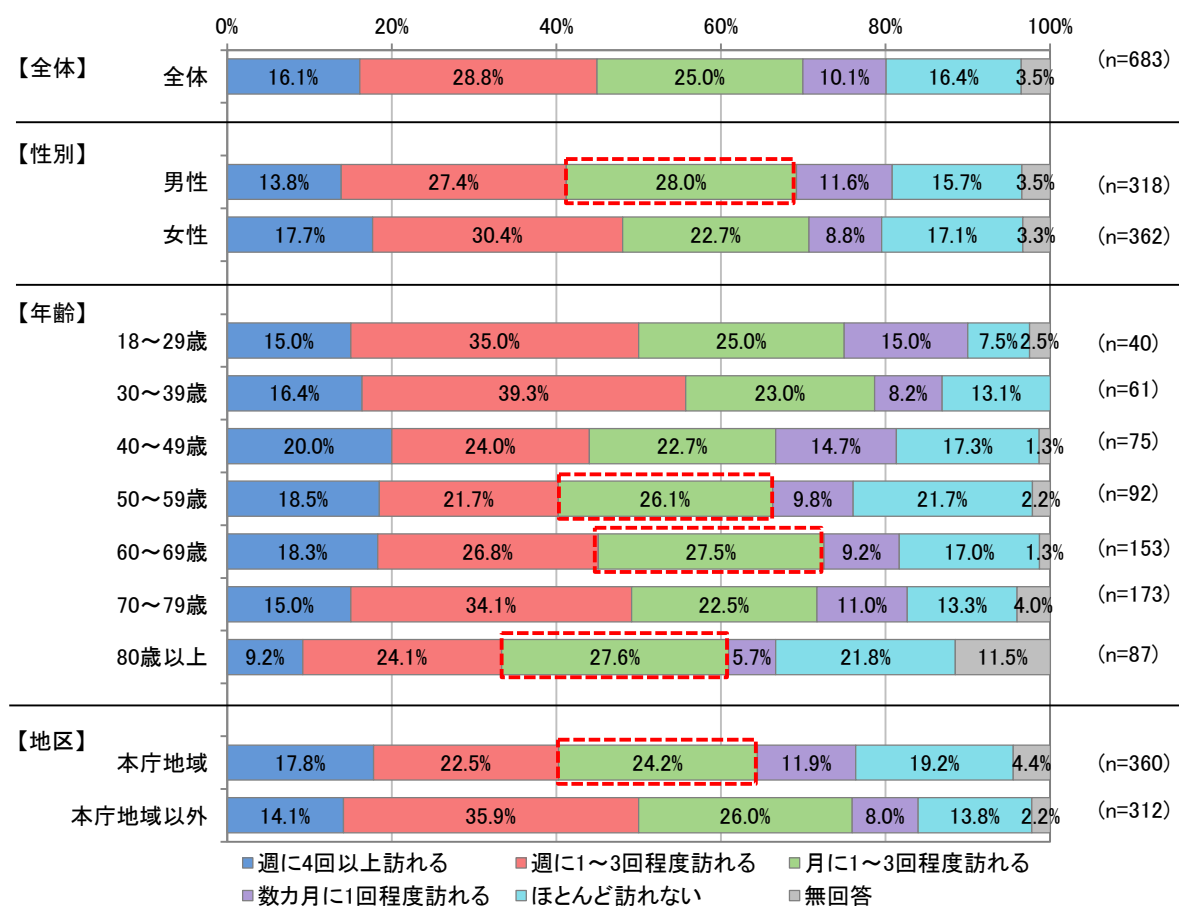


(n=308)

問26. 仕事や買物・通院など、普段の生活で中心市街地を訪れることがありますか。

普段の生活で中心市街地を訪れる頻度について、男女別でみると、男性は「月に1～3回程度訪れる」が約28%で最も高く、次いで「週に1～3回程度訪れる」が約27%となっている。
 年齢別でみると、50～60・80代以上は「月に1～3回程度訪れる」の割合が最も高く、次いで「週に1～3回程度訪れる」となっている。
 地区別でみると、本庁地域は「月に1～3回程度訪れる」が約24%で最も高く、次いで「週に1～3回程度訪れる」が約23%となっている。

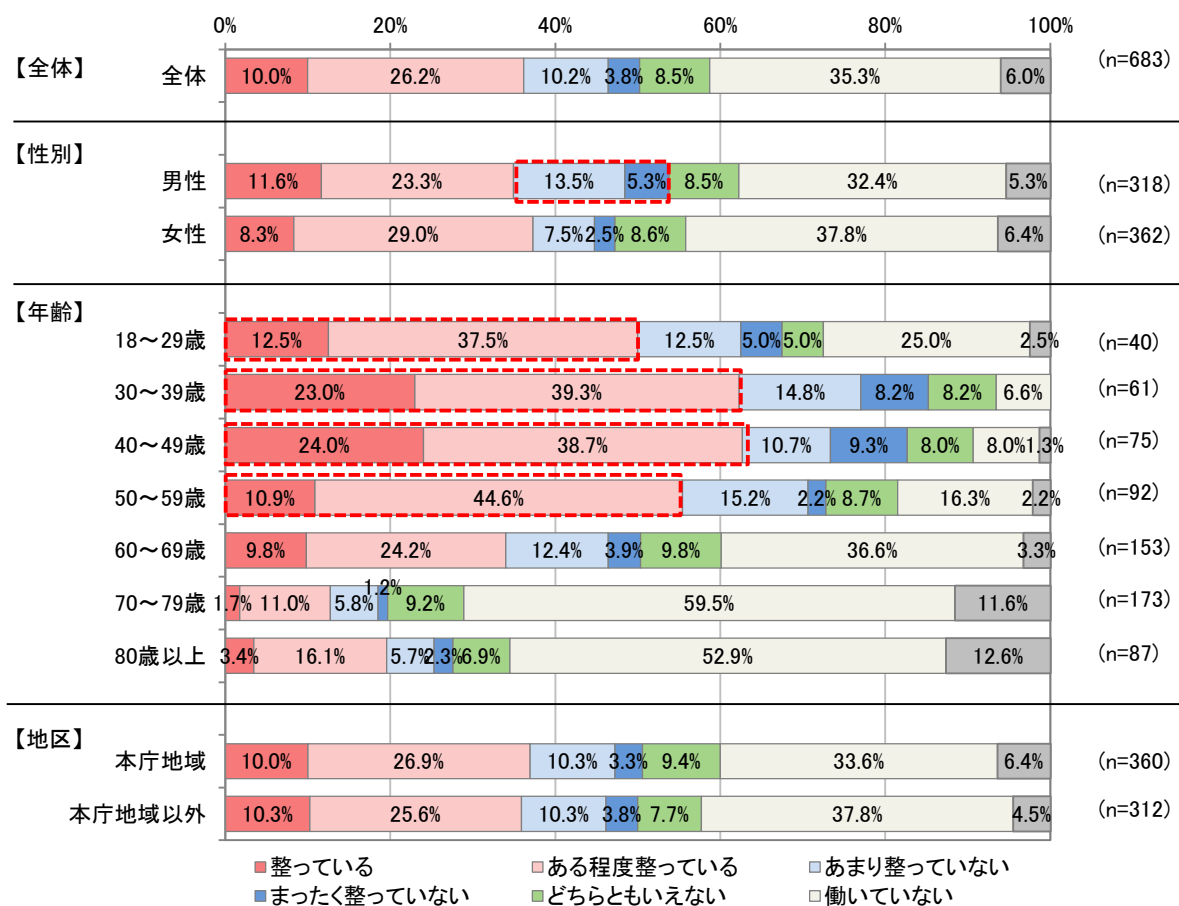
	(件)
1. 週に4回以上訪れる	110
2. 週に1～3回程度訪れる	197
3. 月に1～3回程度訪れる	171
4. 数カ月に1回程度訪れる	69
5. ほとんど訪れない	112
無回答	24
合計	683



問27. 現在の職場は、性別や年齢に関係なく、働きやすい環境が整っていますか。

現在の職場の働きやすさについて、男女別で見ると、男性は「あまり整っていない」と「まったく整っていない」を合わせて約19%であり、全体と比べて高い。
 年齢別で見ると、生産年齢である10～50代は「働いていない」を除いた回答の6割以上が「整っている」または「ある程度整っている」と回答している。
 地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

	(件)
1. 整っている	68
2. ある程度整っている	179
3. あまり整っていない	70
4. まったく整っていない	26
5. どちらともいえない	58
6. 働いていない	241
無回答	41
合計	683

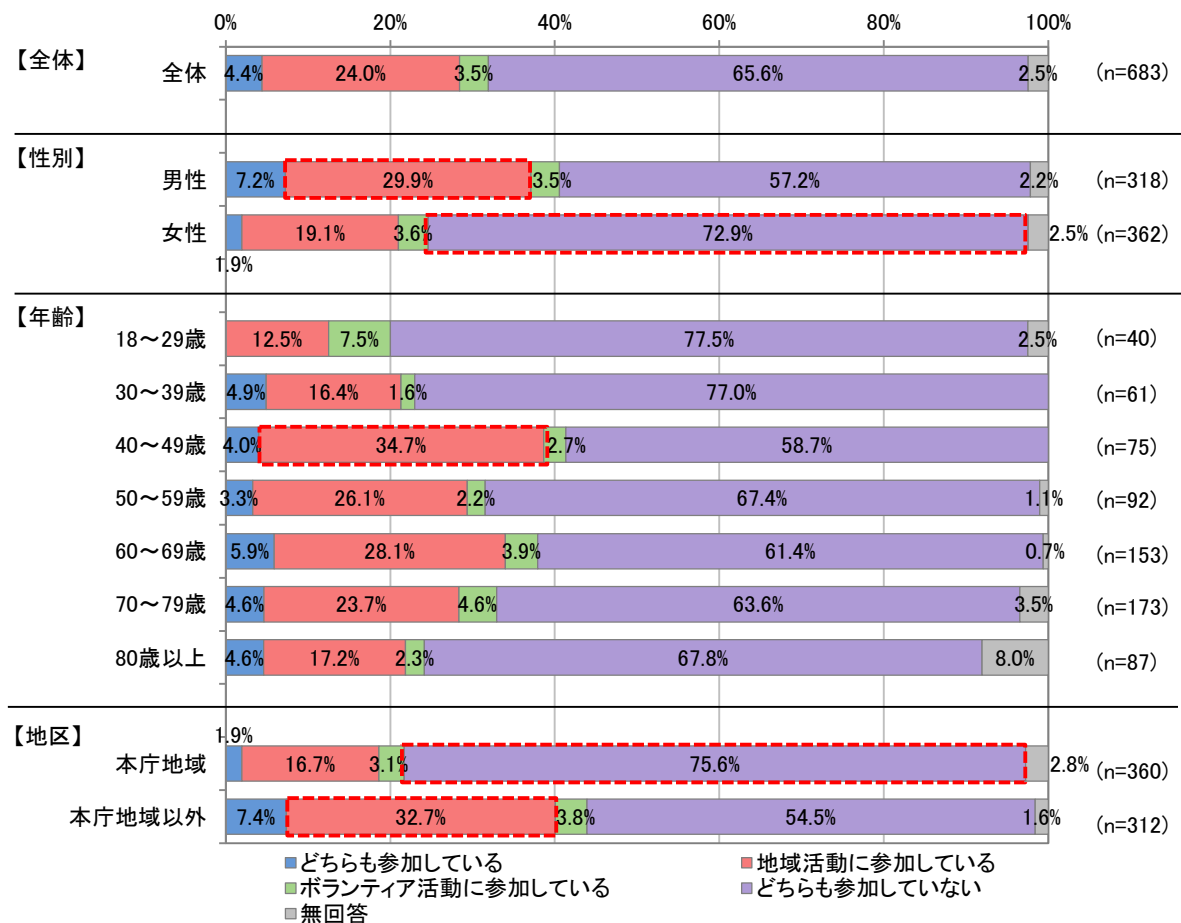


(5) 「市民活動・行政活動」について

問28. 地域活動（自治会・自主防災・子ども会など）やボランティア活動に参加していますか。

地域活動やボランティア活動の参加状況について、男女別で見ると、男性は「地域活動に参加している」が約30%、女性は「どちらも参加していない」が約73%でそれぞれ全体と比べて高い。
 年齢別で見ると、40代は「地域活動に参加している」が約35%で全体と比べて高い。
 地区別で見ると、本庁地域は「どちらも参加していない」が約76%、本庁地域以外は「地域活動に参加している」が約33%でそれぞれ全体と比べて高い。

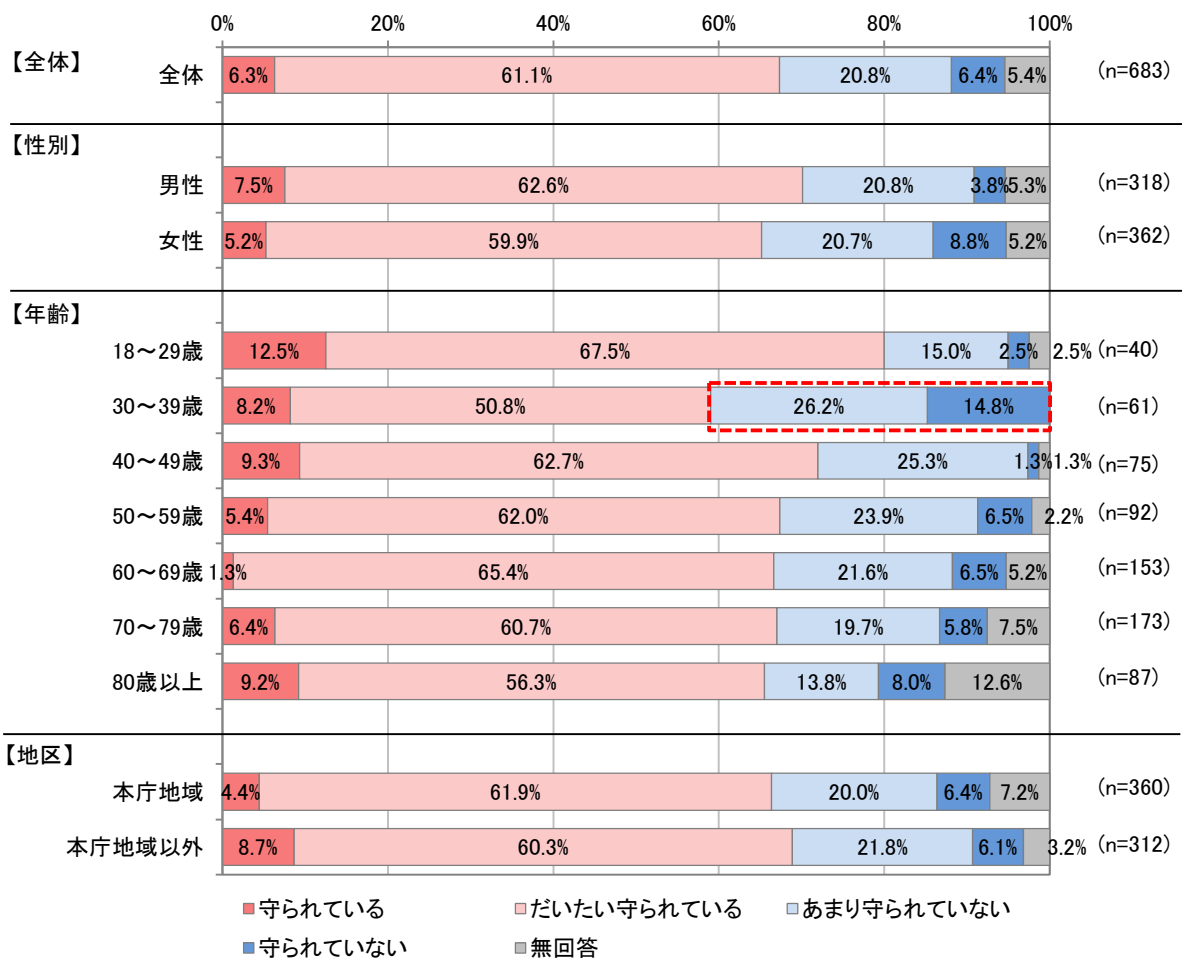
	(件)
1. どちらも参加している	30
2. 地域活動に参加している	164
3. ボランティア活動に参加している	24
4. どちらも参加していない	448
無回答	17
合計	683



問29. あらゆる差別や偏見のない人権が守られているまちだと思いますか。

差別や偏見のない人権が守られているかについて、年齢別で見ると、30代は「守られていない」と「あまり守られていない」を合わせて約41%であり、全体と比べて高い。男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

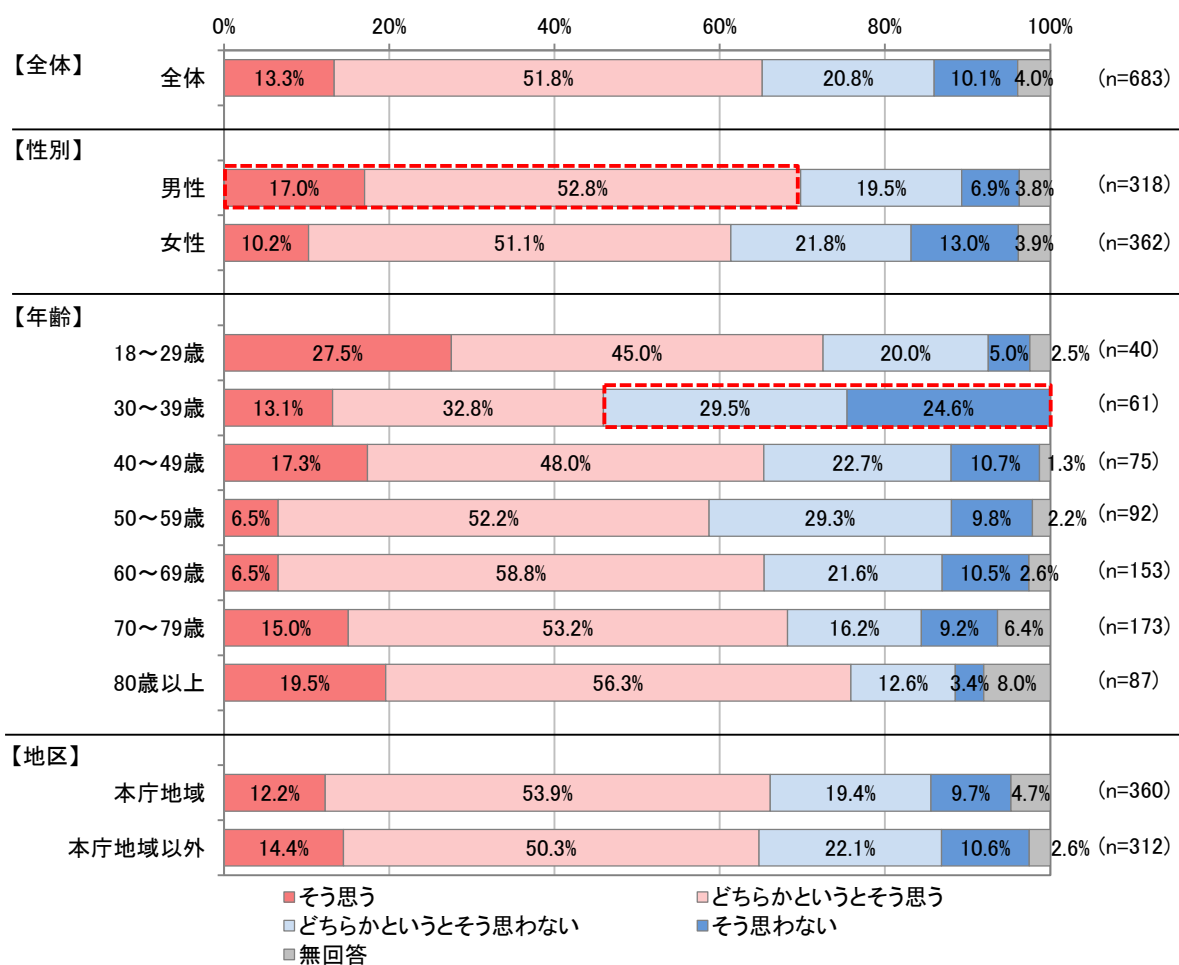
	(件)
1. 守られている	43
2. だいたい守られている	417
3. あまり守られていない	142
4. 守られていない	44
無回答	37
合計	683



問30. 性別に関係なく、だれもが平等に暮らしていけるまちだと思いますか。

だれもが平等に暮らしていけるまちかについて、男女別でみると、男性は「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせて約70%であり、全体と比べて高い。
 年齢別でみると、30代は「そう思わない」と「どちらかというと思う」を合わせて約54%であり、全体と比べて高い。
 地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

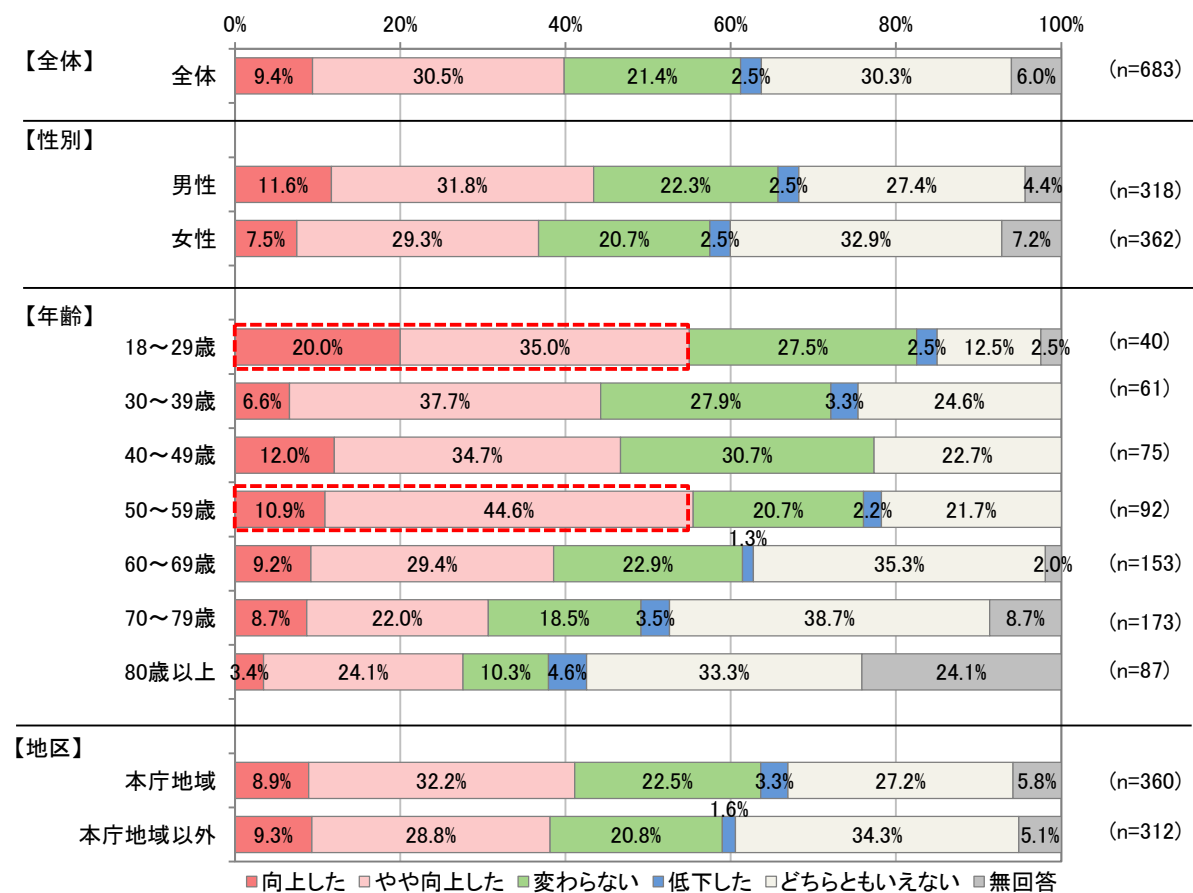
	(件)
1. そう思う	91
2. どちらかというと思う	354
3. どちらかというと思わない	142
4. そう思わない	69
無回答	27
合計	683



問31. スマートフォン・パソコンなどを用いた情報通信技術の活用により、行政サービスの利便性は向上しましたか。

情報技術の活用による行政サービスの利便性について、年齢別でみると、10・20・50代は「向上した」と「やや向上した」を合わせて約55%であり、全体と比べて高い。男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

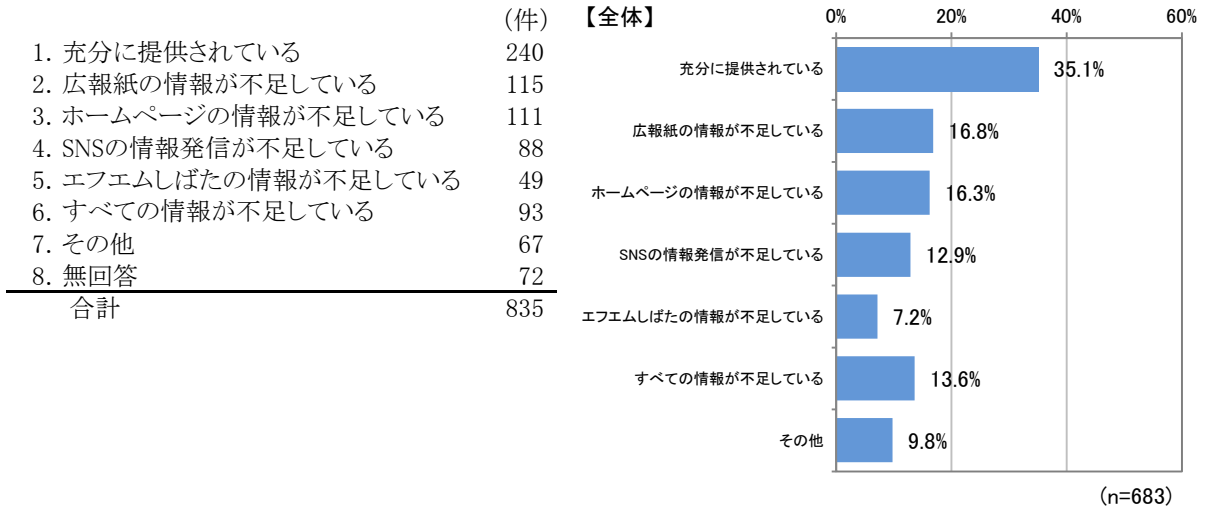
	(件)
1. 向上した	64
2. やや向上した	208
3. 変わらない	146
4. 低下した	17
5. どちらともいえない	207
無回答	41
合計	683



問32. 広報紙やホームページ・SNS・エフエムしばた等で、市政情報が十分に提供されていると思いますか。（3つまで選択）

市政情報に提供について、年齢別でみると、「不足している」の中では、10・20・40代は「SNSの情報発信が不足している」、30・50代は「ホームページの情報不足している」の割合がそれぞれ全体と比べて高い。

男女別と地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。

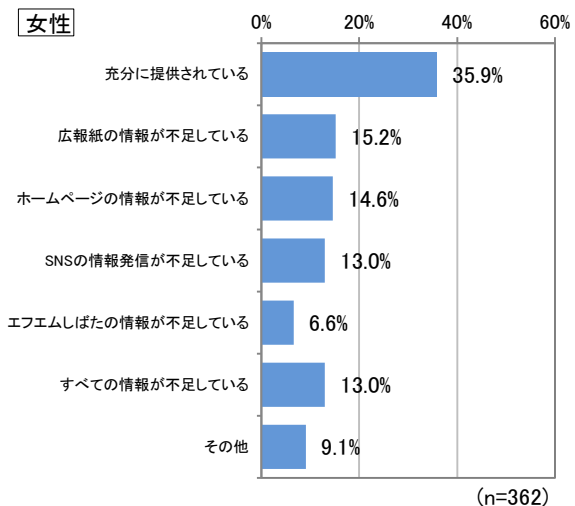
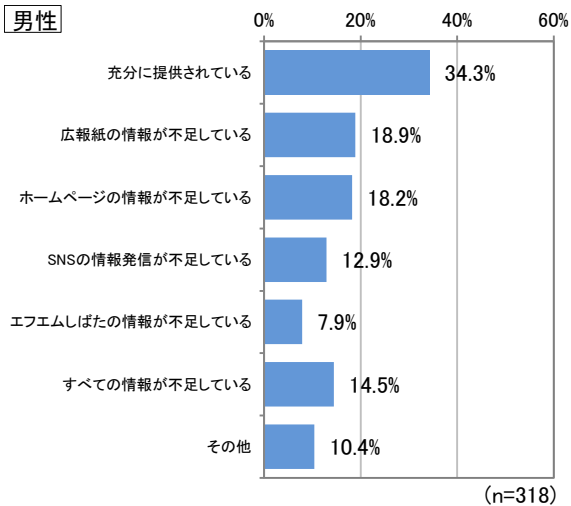


その他

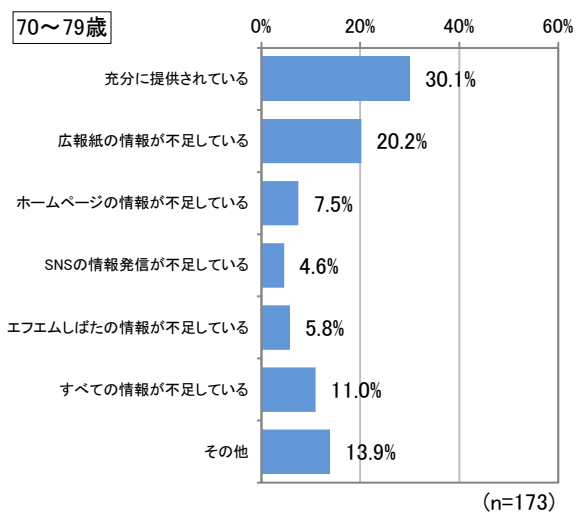
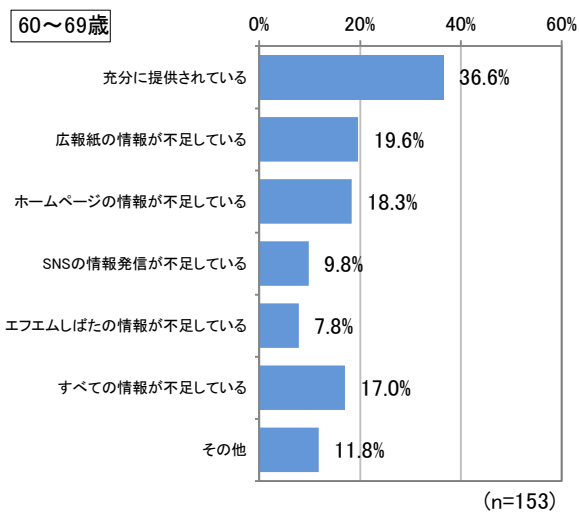
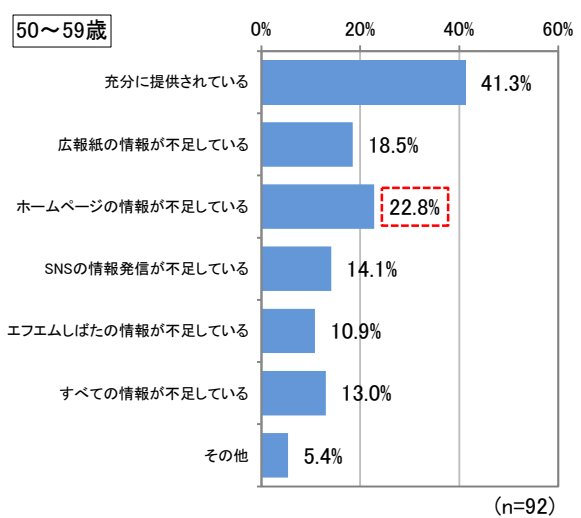
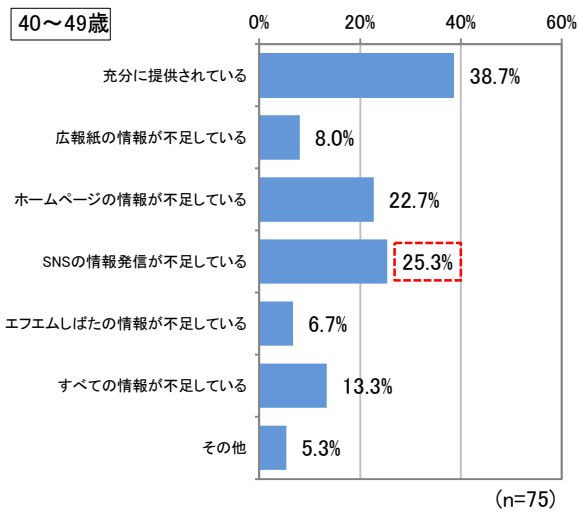
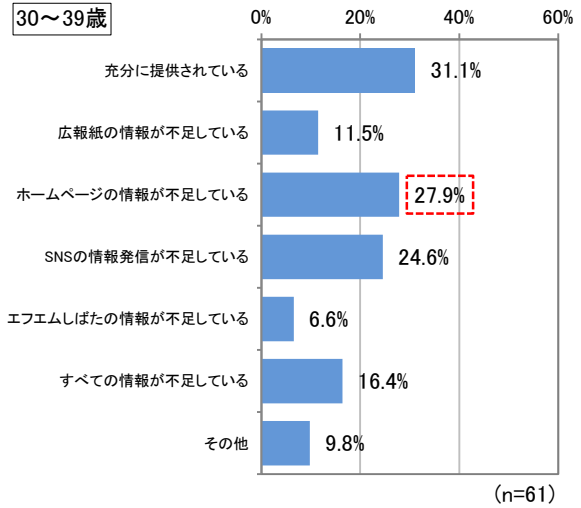
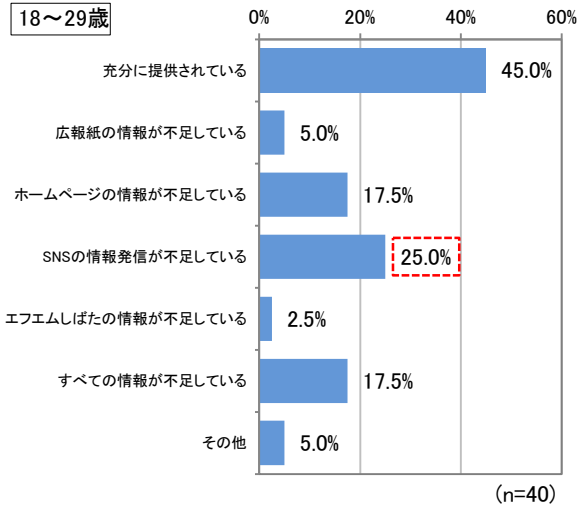
- ・ 普通またはそこそこ提供されている(3)
- ・ 市民に普及されていない(3)
- ・ 利用方法等がわかりにくい(3)
- ・ 利用しないのでわからない(43)

など

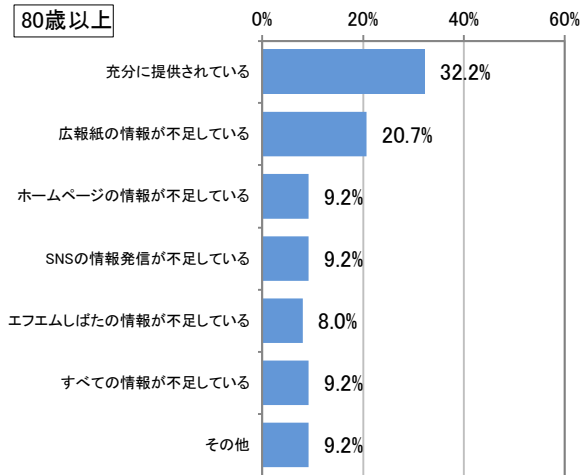
【性別】



【年齢】



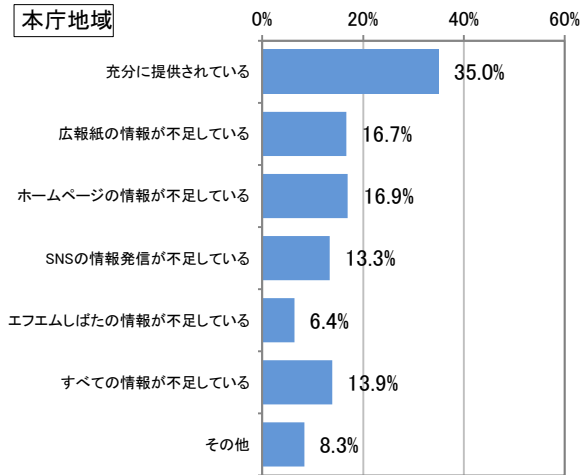
80歳以上



(n=87)

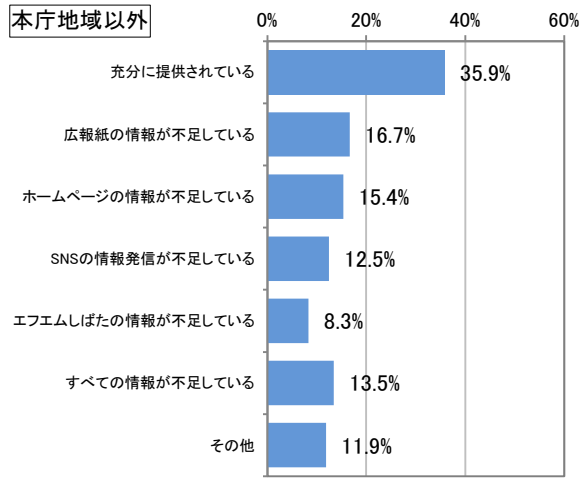
【地区】

本庁地域



(n=360)

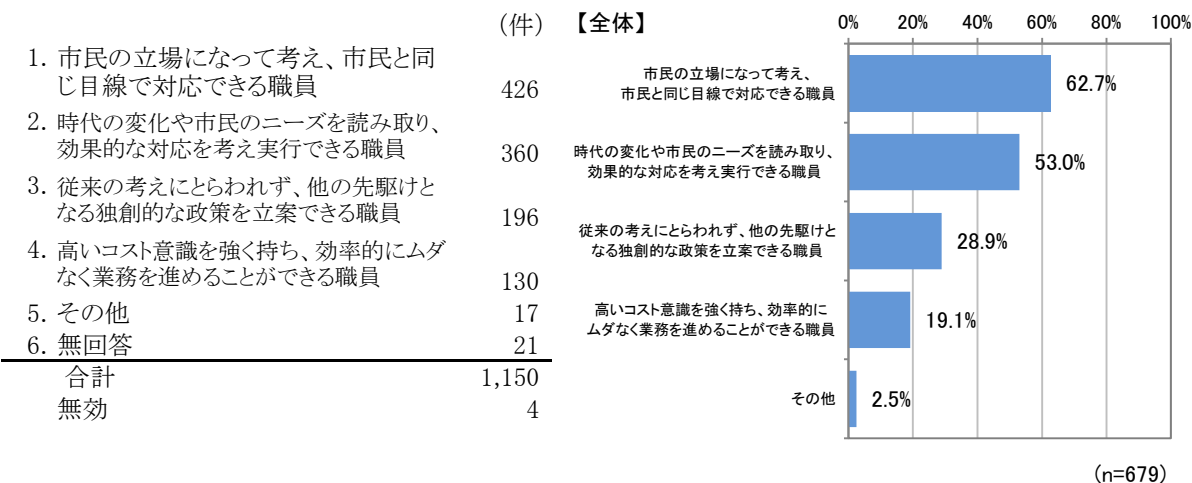
本庁地域以外



(n=312)

問33. これからの新発田市にどのような職員が特に必要だと思いますか。（2つまで選択）

これからの新発田市に必要な職員について、男女別でみると、女性は「時代の変化や市民のニーズを読み取り、効果的な対応を考え実行できる職員」が約60%であり、全体と比べて高い。
 年齢別でみると、10～30代は「時代の変化や市民のニーズを読み取り、効果的な対応を考え実行できる職員」の割合が最も高い。
 地区別では、全体と比べて目立った違いはみられない。



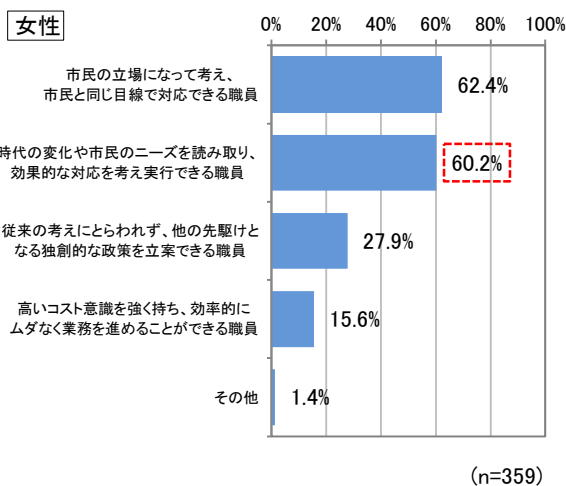
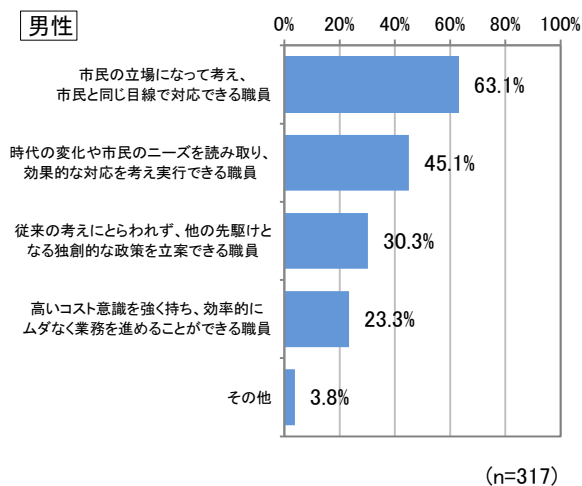
その他

- ・親切丁寧、元気など態度が良い(3)
- ・若手(2)
- ・中心地以外を考えて行動できる職員

- ・メディア露出の高い発信力のある職員
- ・成熟社会に知見のある職員

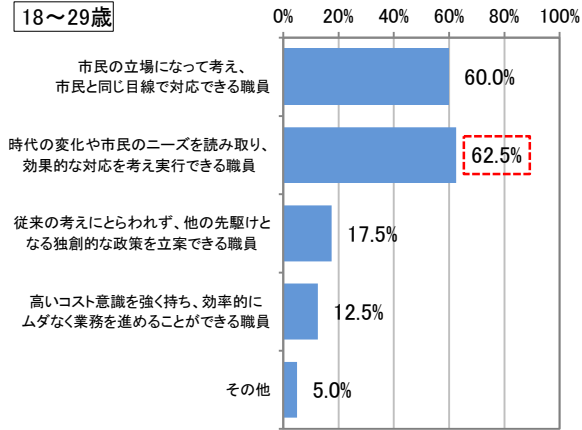
など

【性別】



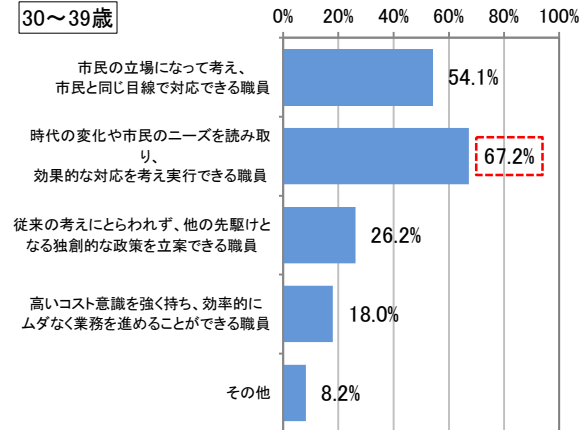
【年齢】

18～29歳



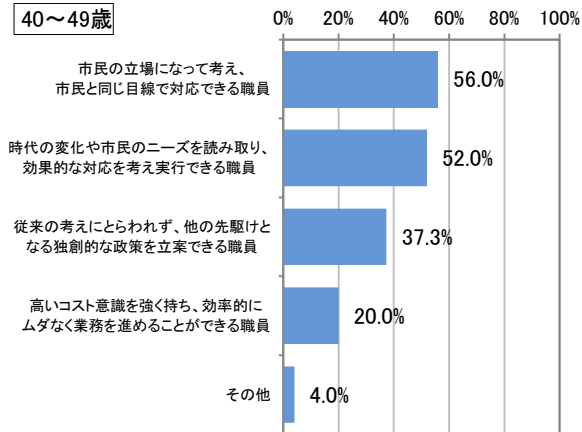
(n=40)

30～39歳



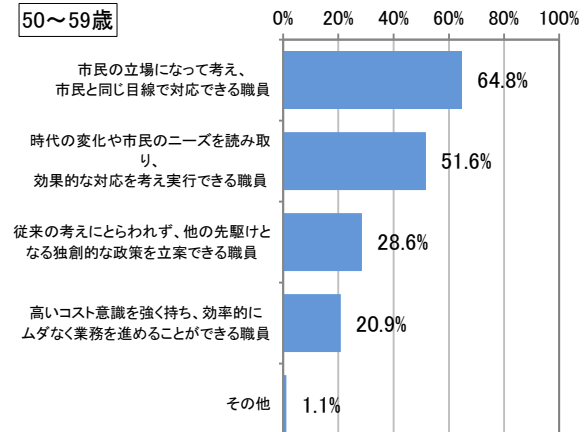
(n=61)

40～49歳



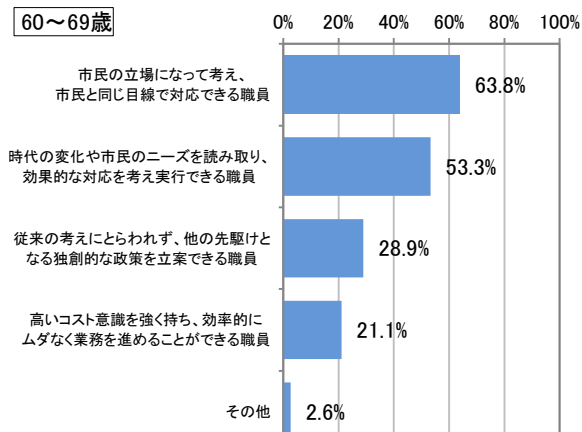
(n=75)

50～59歳



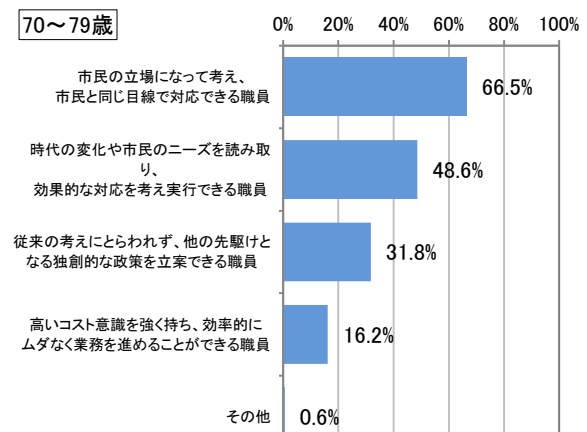
(n=91)

60～69歳



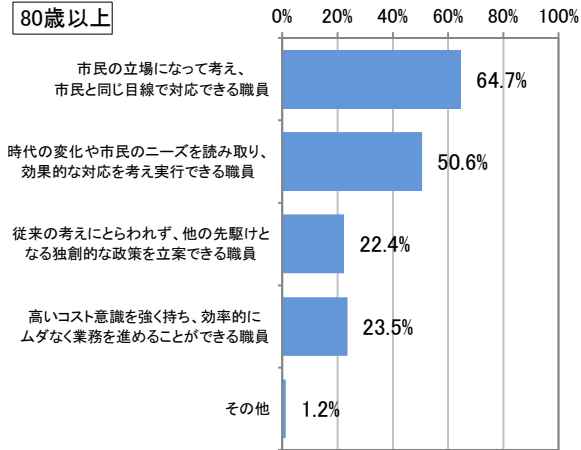
(n=152)

70～79歳



(n=173)

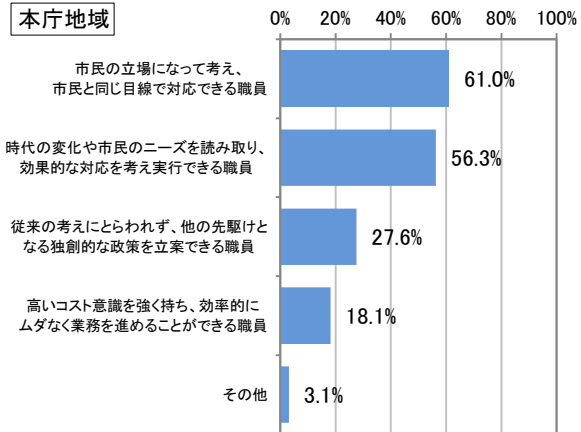
80歳以上



(n=85)

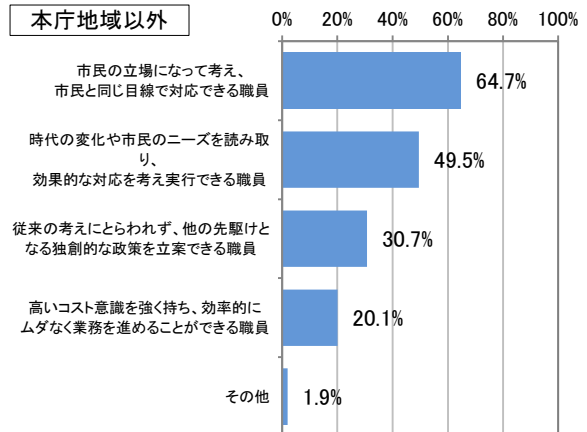
【地区】

本庁地域



(n=359)

本庁地域以外

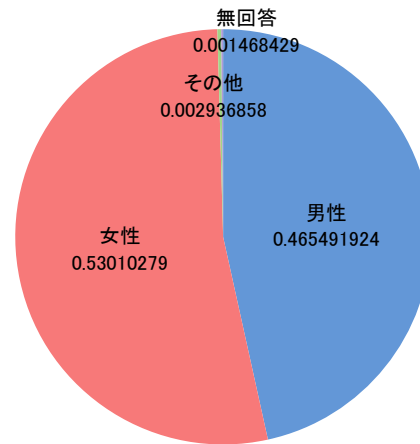


(n=309)

4. あなたご自身のことについて、おたずねします

問34. あなたの性別をお答えください。

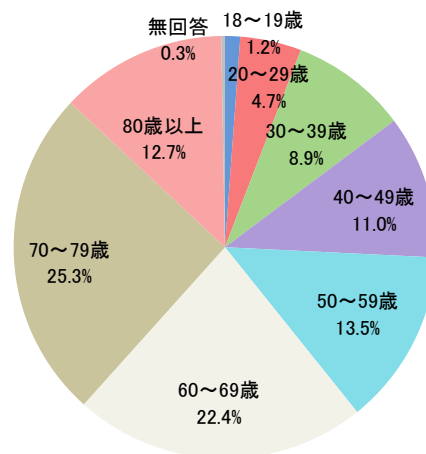
	(件)
1. 男性	318
2. 女性	362
3. その他	2
無回答	1
合計	683



(n=683)

問35. あなたの年齢をお答えください。

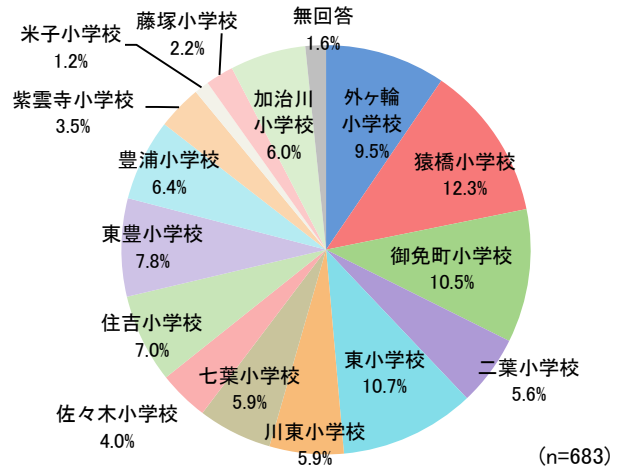
	(件)
1. 18～19歳	8
2. 20～29歳	32
3. 30～39歳	61
4. 40～49歳	75
5. 50～59歳	92
6. 60～69歳	153
7. 70～79歳	173
8. 80歳以上	87
無回答	2
合計	683



(n=683)

問36. あなたのお住まいの地区（小学校区）をお答えください。

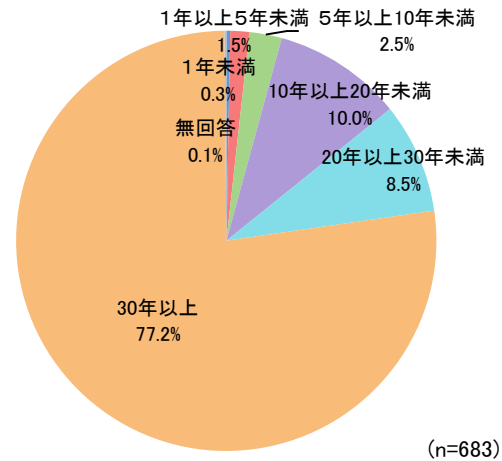
	(件)
1. 外ヶ輪小学校	65
2. 猿橋小学校	84
3. 御免町小学校	72
4. 二葉小学校	38
5. 東小学校	73
6. 川東小学校	40
7. 七葉小学校	40
8. 佐々木小学校	27
9. 住吉小学校	48
10. 東豊小学校	53
11. 豊浦小学校	44
12. 紫雲寺小学校	24
13. 米子小学校	8
14. 藤塚小学校	15
15. 加治川小学校	41
無回答	11
合計	683



※ 各設問の地区別結果では、「本庁地域(外ヶ輪小学校、猿橋小学校、御免町小学校、二葉小学校、住吉小学校、東豊小学校)」と「本庁地域以外」で集計している。

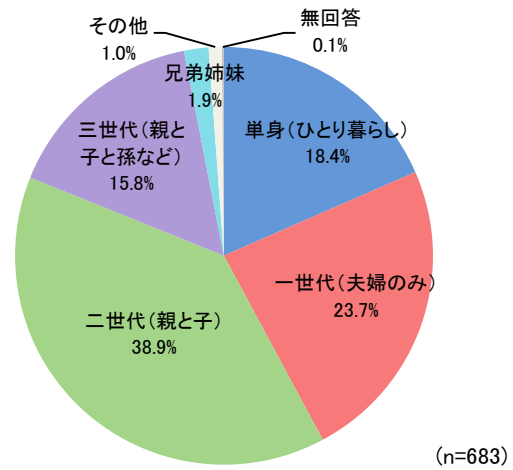
問37. 新発田市にお住まいの年数をお答えください。

	(件)
1. 1年未満	2
2. 1年以上5年未満	10
3. 5年以上10年未満	17
4. 10年以上20年未満	68
5. 20年以上30年未満	58
6. 30年以上	527
無回答	1
合計	683



問38. あなたの家族構成をお答えください。

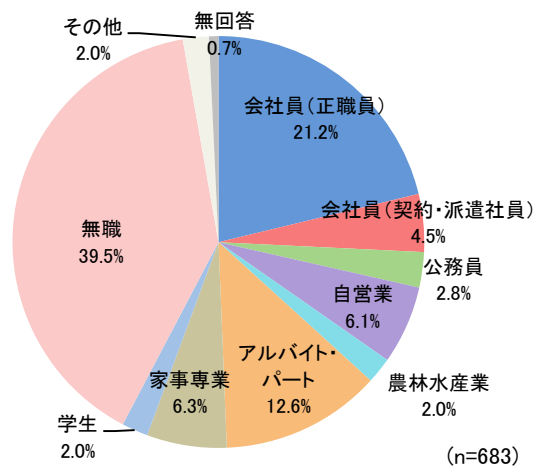
	(件)
1. 単身(ひとり暮らし)	126
2. 一世代(夫婦のみ)	162
3. 二世帯(親と子)	266
4. 三世帯(親と子と孫など)	108
5. 兄弟姉妹	13
6. その他	7
無回答	1
合計	683



その他
 ・ 四世代(2)
 ・ 施設入所(2)
 など

問39. あなたの主な職業をお答えください。

	(件)
1. 会社員(正職員)	145
2. 会社員(契約・派遣社員)	31
3. 公務員	19
4. 自営業	42
5. 農林水産業	14
6. アルバイト・パート	86
7. 家事専業	43
8. 学生	14
9. 無職	270
10. その他	14
無回答	5
合計	683



その他
 ・ 障がい者就労支援(2)
 ・ 医療・介護職(2)
 ・ 介護・医療従事者(2)
 ・ 団体職員
 など